

平成25年度
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書

平成26年3月
能代市 市民福祉部 子育て支援課

目 次

1. 調査概要	1
2. 未就学児童（小学校に入る前のお子さん）の調査結果	2
お住まいの地域について	2
お子さんとご家族の状況について	2
子どもの育ちをめぐる環境について	4
母親・父親の就労状況について	7
平日の幼稚園・保育所等の利用状況について	12
地域の子育て支援事業の利用状況について	19
土曜・休日や長期休暇中の 定期的な幼稚園・保育所等の利用希望について	25
お子さんの病気の際の対応について	27
不定期や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	32
小学校就学後の放課後の過ごし方について	38
育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	43
子育ての環境や支援への満足度	51
3. 就学児童（小学校1～3年生のお子さん）の調査結果	52
お住まいの地域について	52
お子さんとご家族の状況について	52
子どもの育ちをめぐる環境について	54
母親・父親の就労状況について	57
放課後の過ごし方について	62
お子さんの病気の際の対応について	68
ファミリー・サポート・センターの利用について	73
夜間及び宿泊を伴う一時預かり等の利用について	76
子育ての環境や支援への満足度	80
4. 未就学児童調査と就学児童（1～3年生）調査の 同一設問結果比較	81

1. 調査概要

(1) 調査目的

市内の未就学児童及び就学児童の保護者に対してアンケート調査を行うことにより、子ども・子育て支援に関する意向やニーズを把握し、市の子ども・子育て支援事業計画策定時の基礎資料とします。

(2) 調査期間

平成25年12月5日（木）～12月28日（土）

※平成26年1月17日（金）まで延長

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(4) 調査対象

平成25年11月1日現在で住民登録している次の児童の世帯

①0～5歳児の未就学児童のいる世帯

②小学校1～3年生の児童がいる世帯

(5) 回収結果

	送付数	回収数	回収率
①未就学児童票（0～5歳児）	1,684件	1,009件	59.9%
②就学児童票（小学1～3年）	1,115件	690件	61.9%
合計	2,799件	1,699件	60.7%

◎未就学児童と小学校1～3年生が両方いる世帯を1とした場合の世帯数

⇒ 2,357世帯

※割合のグラフの合計は、端数処理の関係で100%にならない場合があります。

※表やグラフの中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。

「SA」：選択肢から1つの回答（シングルアンサー）を選ぶ設問

「MA」：選択肢から複数の回答（マルチアンサー）を選ぶ設問

「N」：その設問に対する総回答数

2. 未就学児童（小学校に入る前のお子さん）の調査結果

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

回 答	回答数	割合	回 答	回答数	割合
湊城西小学校区	163	16.2%	浅内小学校区	53	5.3%
湊城南小学校区	129	12.8%	崇徳小学校区	7	0.7%
第四小学校区	239	23.7%	鶴形小学校区	11	1.1%
第五小学校区	83	8.2%	常盤小学校区	16	1.6%
向能代小学校区	143	14.2%	二ツ井小学校区	115	11.4%
朴瀬小学校区	12	1.2%	無回答	24	2.4%
竹生小学校区	14	1.4%	合 計	1,009	100.0%

N=1,009 (SA)

お子さんとご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

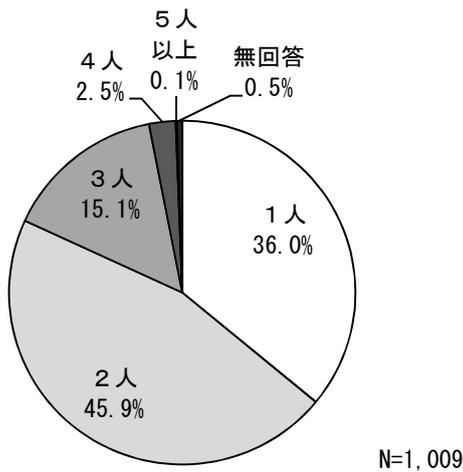
回 答	回答数	割合
19年4月～20年3月（5歳児）	179	17.7%
20年4月～21年3月（4歳児）	190	18.8%
21年4月～22年3月（3歳児）	160	15.9%
22年4月～23年3月（2歳児）	154	15.3%
23年4月～24年3月（1歳児）	129	12.8%
24年4月～25年3月（0歳児）	132	13.1%
25年4月～（0歳児）	63	6.2%
無回答	2	0.2%
合 計	1,009	100.0%

N=1,009

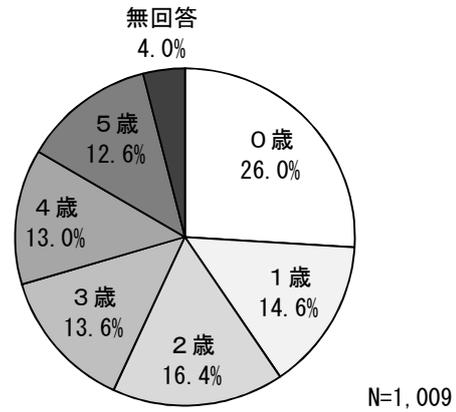
問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

子どもの人数は、「2人」が45.9%と最も多く、次いで「1人」の36.0%、「3人」が15.1%となっています。

【子どもの人数】

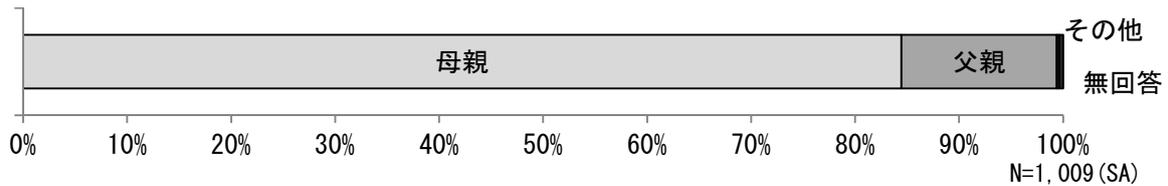


【末子の年齢】



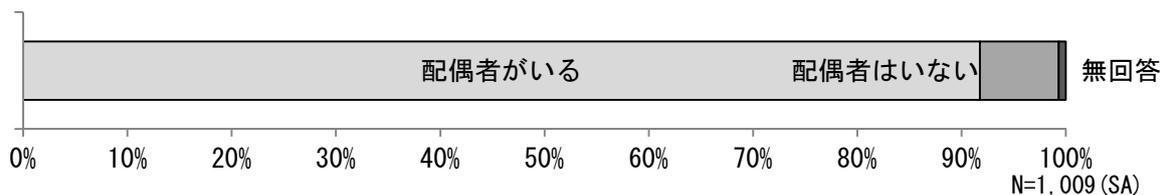
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査に回答していただいた方は、「母親」が最も多く84.4%となっています。



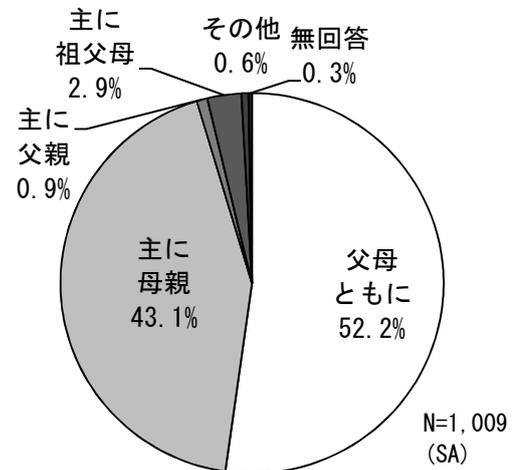
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が91.8%となっており、7.5%がひとり親世帯となっています。



問6 日常的に子どもの面倒をみているという意味での子育てとは区別し、家庭において主体的に子育てや教育を行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が52.2%と半数以上を占め、「主に母親」が43.1%と続いています。

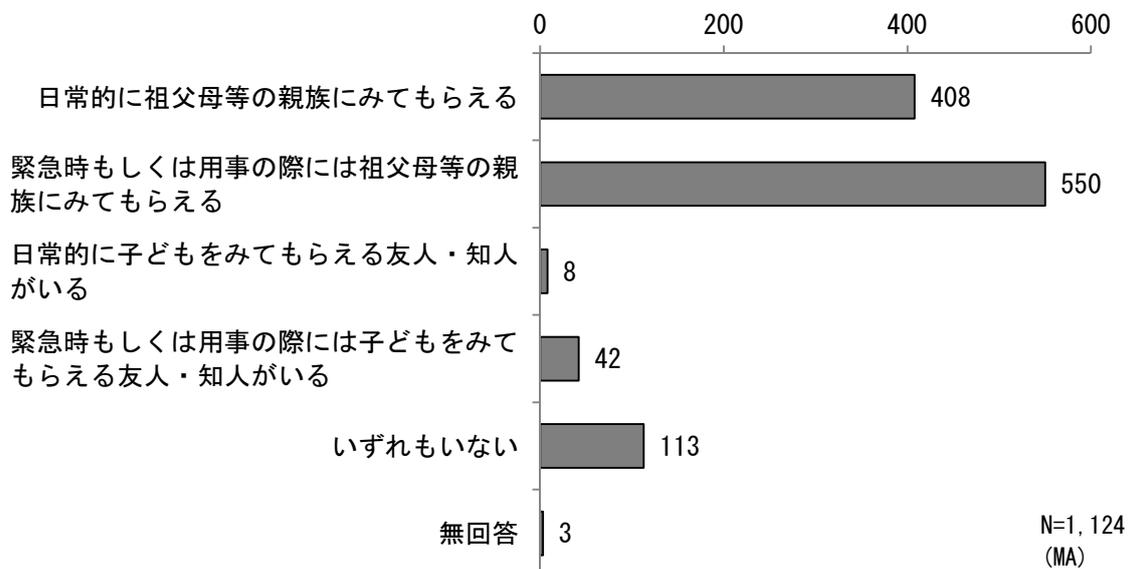


子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

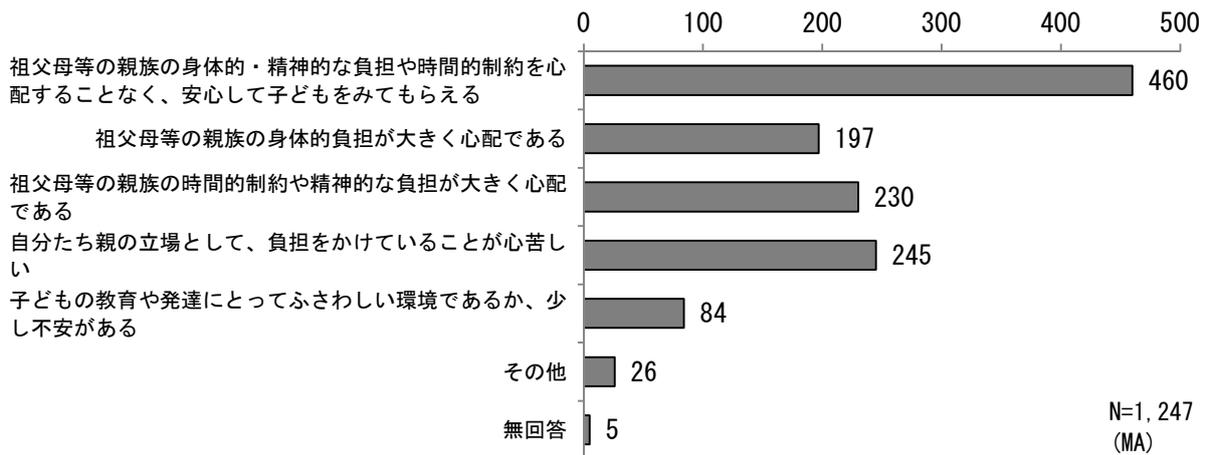
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」となっています。

また、「いずれもない」という回答が全体の1割となっています。



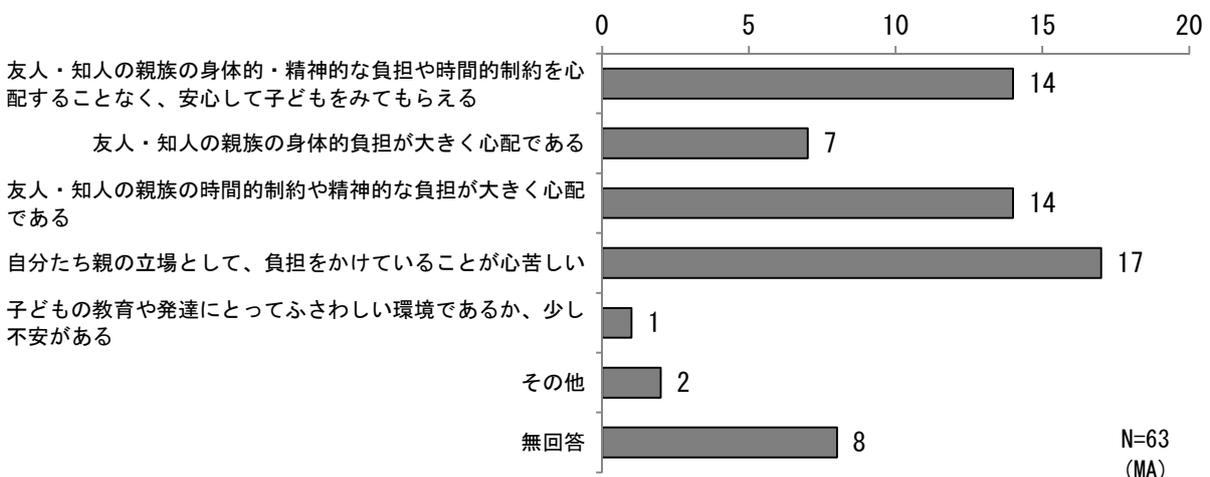
問 7-1 問 7 で「1」または「2」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」となっています。



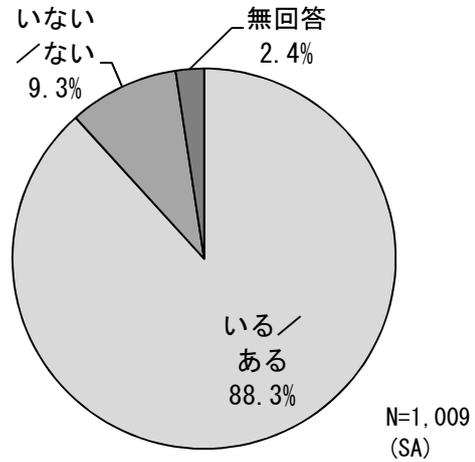
問 7-2 問 7 で「3」または「4」に○をつけた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が最も多く、「友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と「友人・知人の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が同数で続いています。



問 8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

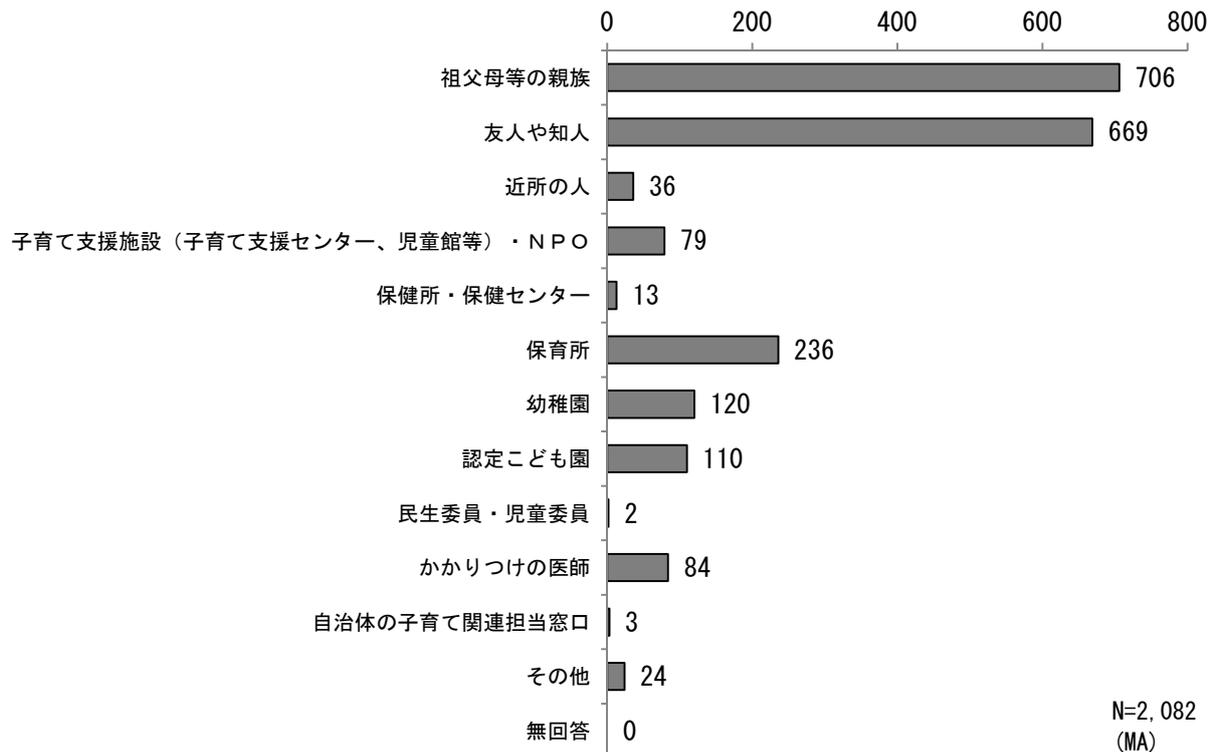
相談できる人が「いる」または「ある」という回答が88.3%を占め、「いない」または「ない」という回答は1割程度となっています。



問 8-1 問 8 で「1. いる／ある」に○をつけた方に伺います。相談先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

最も多かったのが「祖父母等の親族」となり、次いで「友人や知人」となっています。この2つで回答数の66%を占めています。

また、その他では、「職場の人」や「インターネットの子育てサイト」といった回答が多くありました。



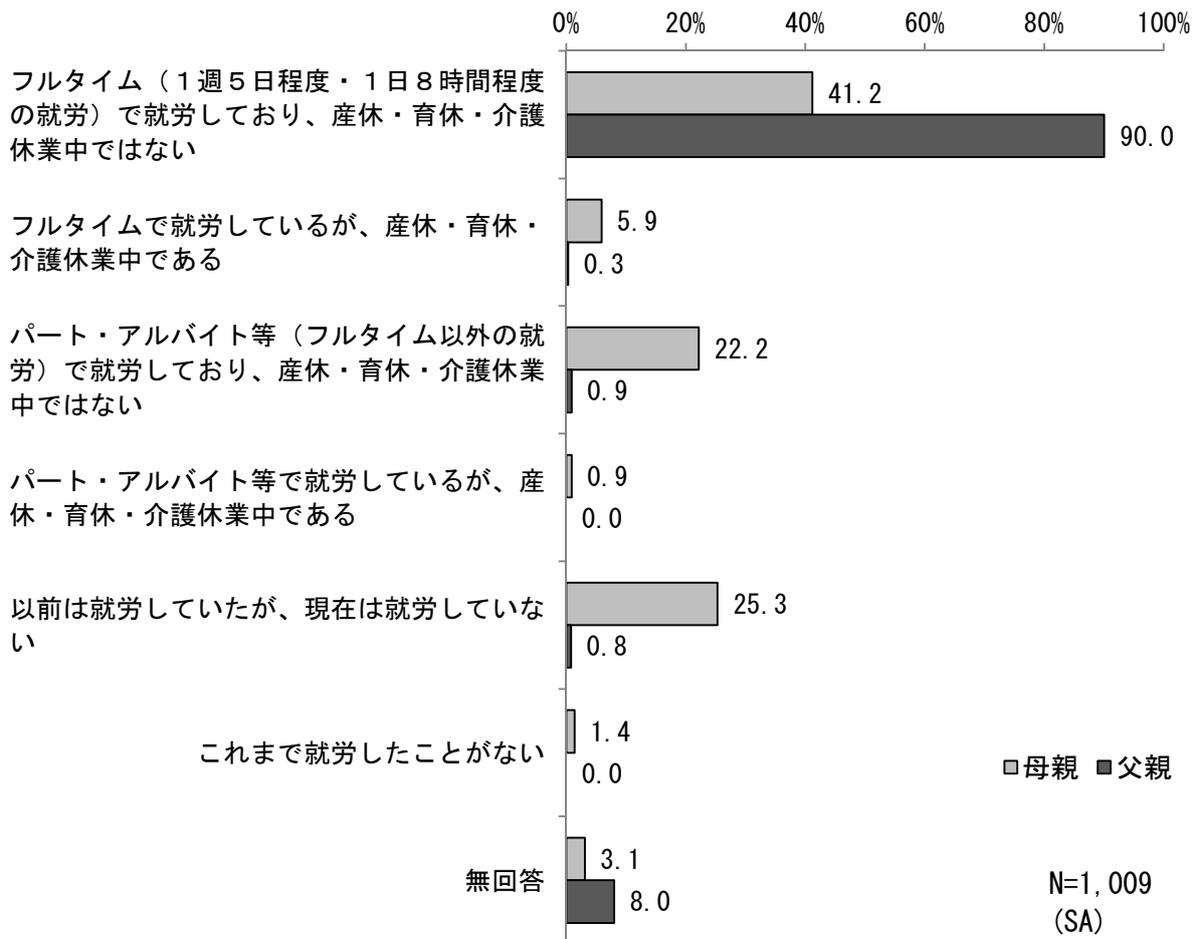
母親・父親の就労状況について

問9 宛名のお子さんの母親・父親の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

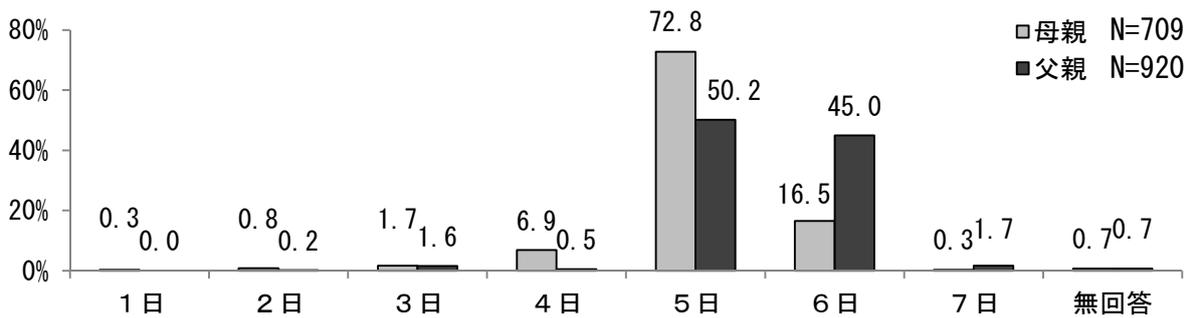
母親の就労状況は、最も多かったのはフルタイムで41.2%でしたが、パート・アルバイト就労も2割を超えており、就労していない方についても全体の4分の1となっています。就労している方については、1週当たり5日、1日当たり7～8時間の勤務が最も多くなっています。

父親の就労状況については、9割がフルタイム就労となっており、そのうちの9割以上が週5～6日、1日7～12時間勤務となっています。また、半数近くが午後7時以降の帰宅となっています。

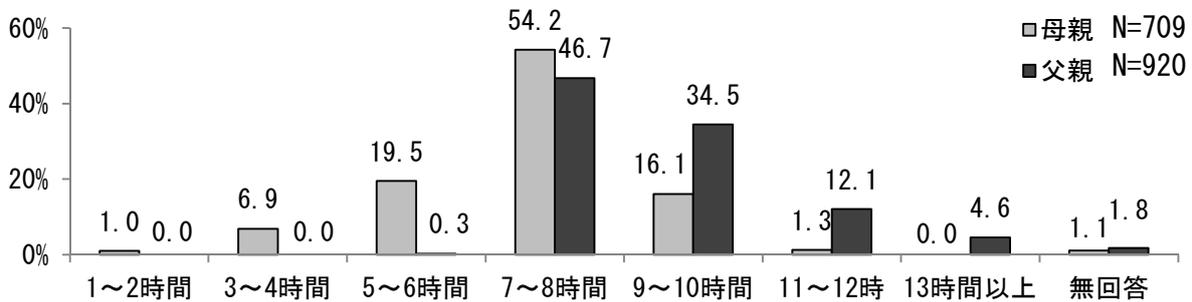
【就労状況】



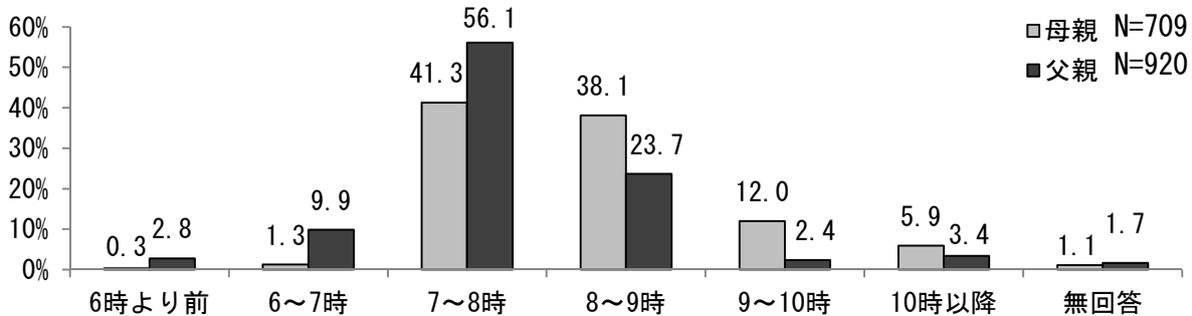
【1週当たりの就労日数】



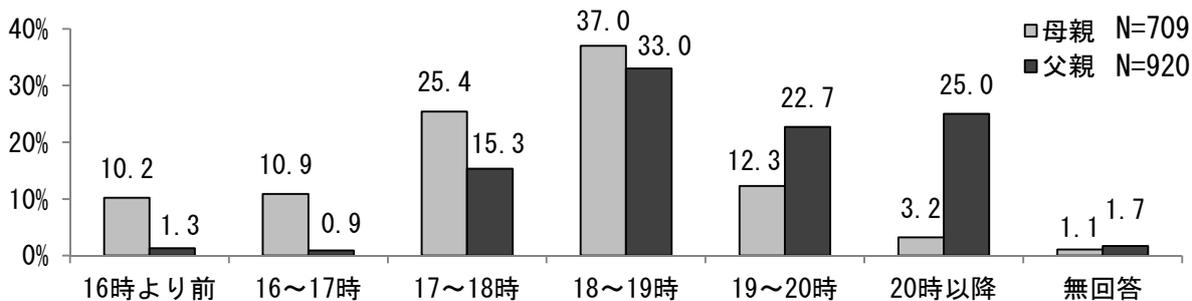
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時刻】



【帰宅する時刻】



※夜勤明け等の午前中の帰宅は 20:00 以降に含める。

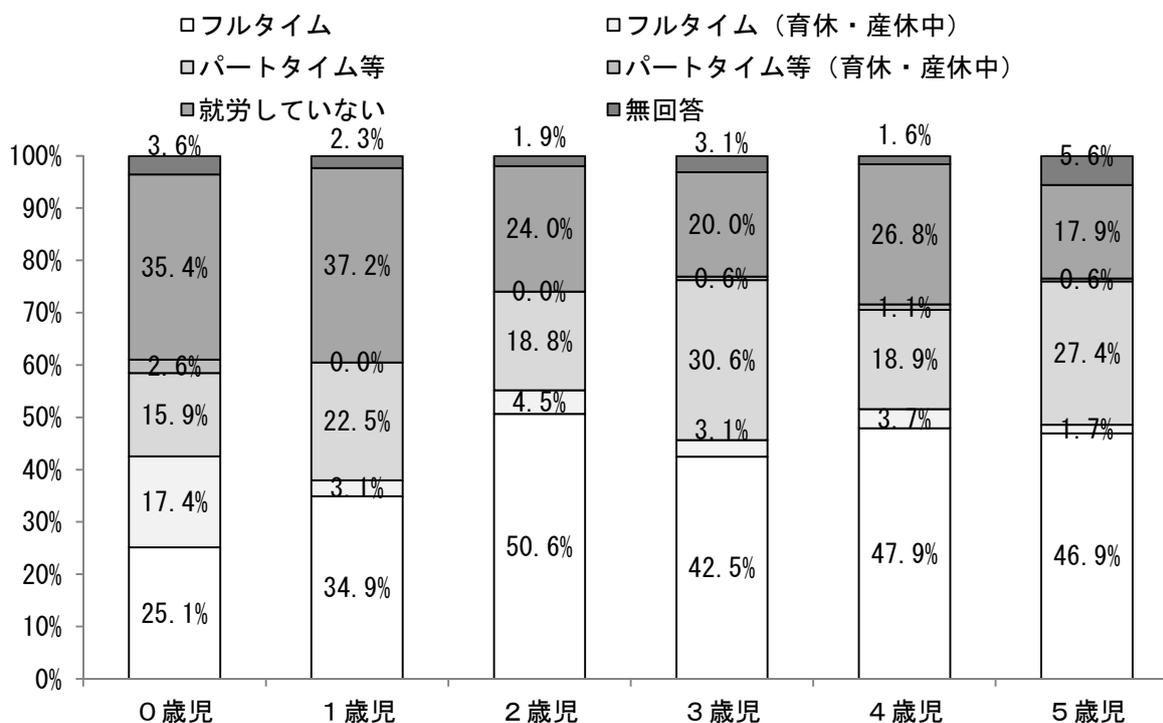
<父親と母親を合わせた世帯の就労状況>

父親と母親の就労状況から、対象世帯の就労状況を区分分けすると、両親ともにフルタイムの共働き世帯は43.1%となっています。また、両親のいずれか一方または両親ともパートタイム等で就労している世帯も含めると、64.8%が共働き世帯となっています。

父親 \ 母親	フルタイム	パート タイム等	就労して いない	無回答	合 計
フルタイム	435 (43.1%)	213 (21.1%)	251 (24.9%)	12 (1.2%)	911 (90.3%)
パートタイム等	1 (0.1%)	5 (0.5%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	9 (0.9%)
就労していない	3 (0.3%)	1 (0.1%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	8 (0.8%)
無回答	37 (3.7%)	14 (1.4%)	11 (1.1%)	19 (1.9%)	81 (8.0%)
合 計	476 (47.2%)	233 (23.1%)	269 (26.7%)	31 (3.1%)	1,009 (100%)

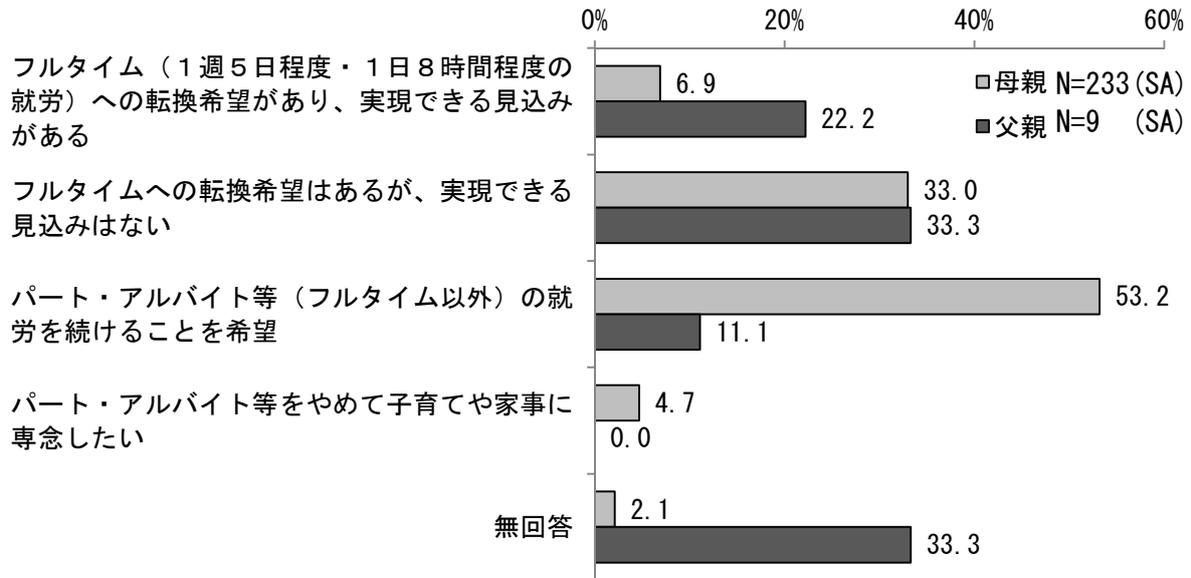
<子どもの年齢と母親の就労状況>

産休・育休中も含めた子どもの年齢別の母親の就労割合は、0歳児が61%、5歳児が77%と子どもの年齢が上がるにつれて増えています。



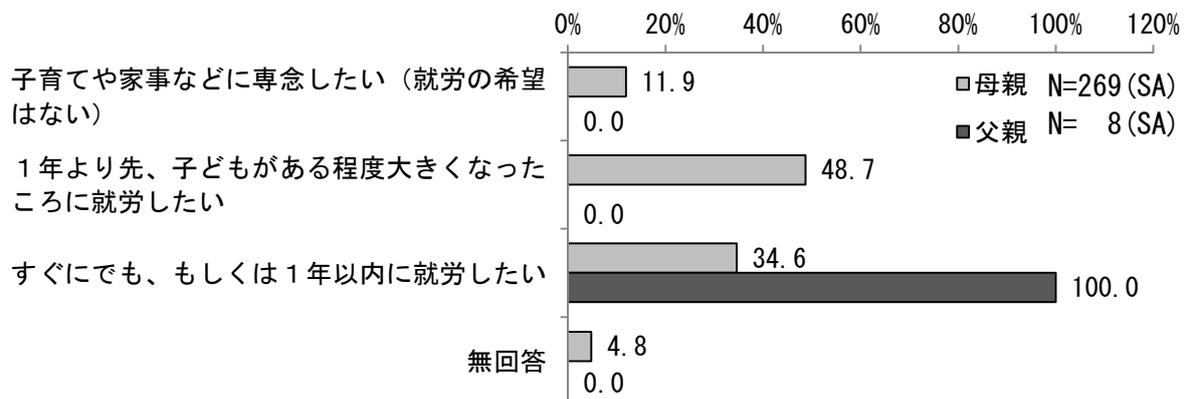
問10 問9で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望について、母親は、半分以上の53.2%がパート・アルバイト等続けることを希望するとなっています。また、転換希望はあるが実現できる見込みはないが3割となっています。

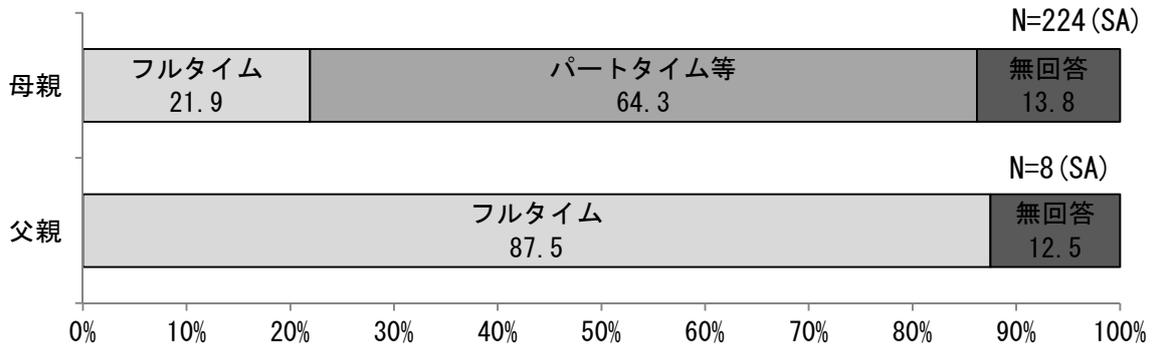


問11 問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

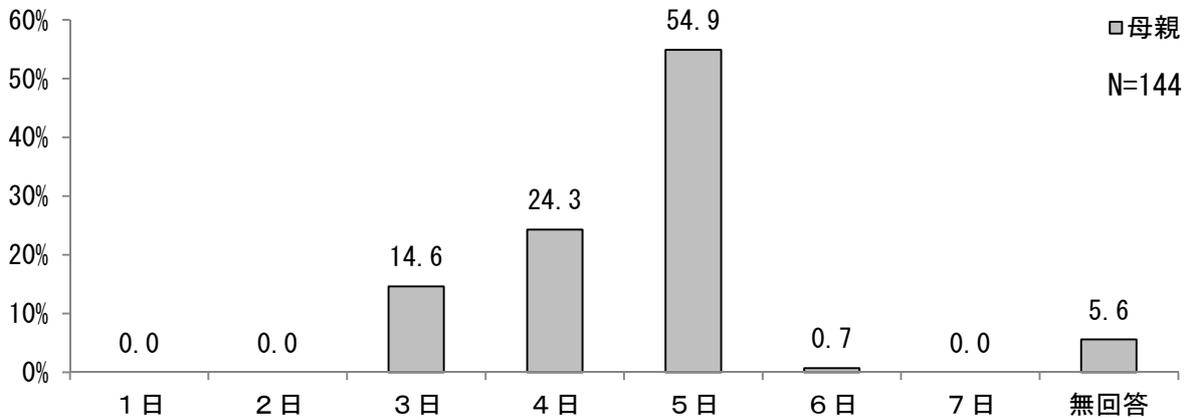
現在就労していない方の今後の就労希望については、就労を希望する母親が合わせて83.3%となっています。また、就労したい場合の希望する就労形態は、パートタイム就労等が64.3%となっています。



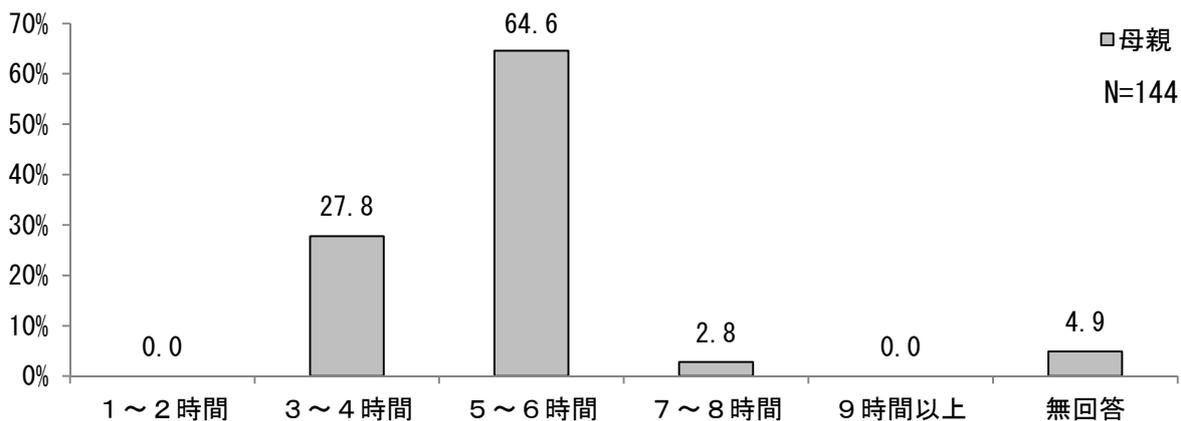
【就労したい場合の希望する就労形態】



【パートタイム等を希望する場合の1週当たり就労日数】



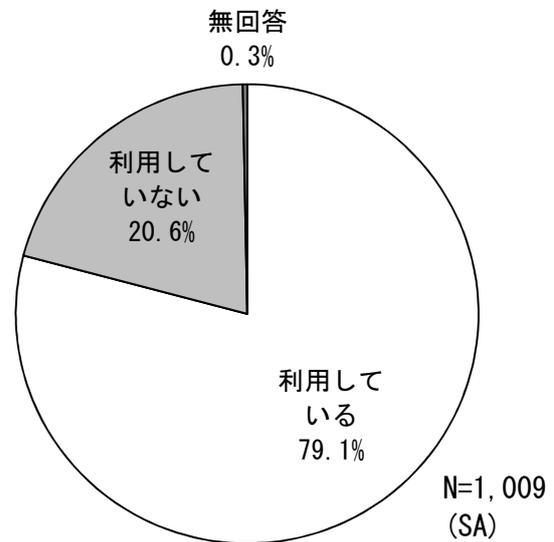
【パートタイム等を希望する場合の1日当たり就労時間】



平日の幼稚園・保育所等の利用状況について

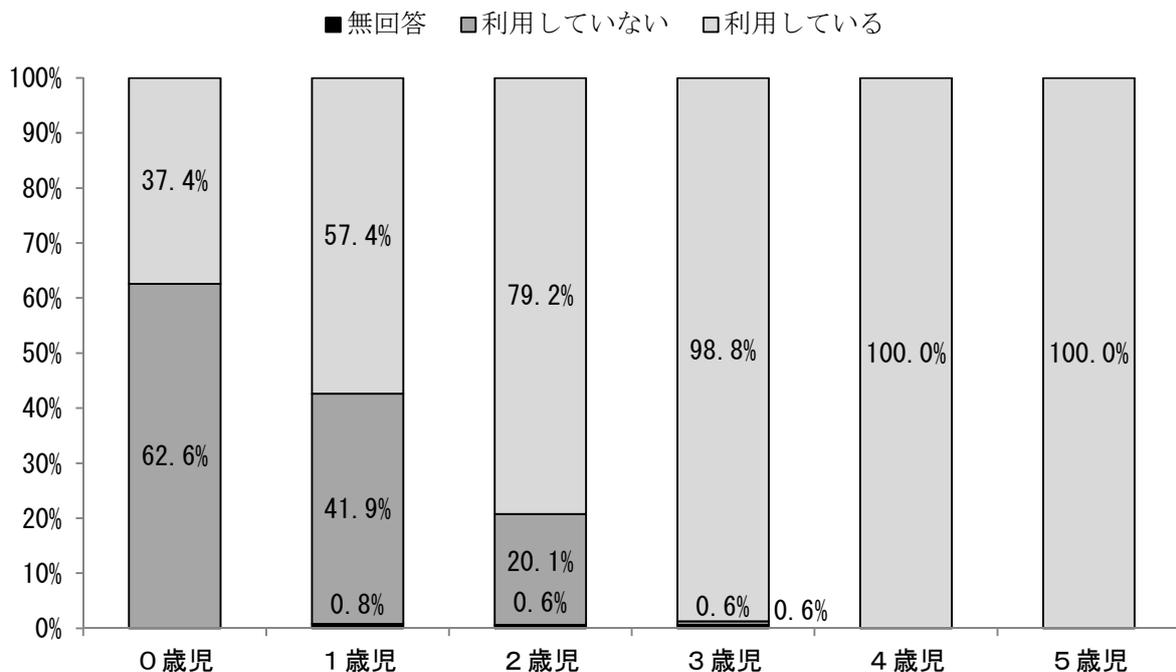
問 12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所等を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

幼稚園や保育所等の利用割合は、「利用している」が79.1%となっています。



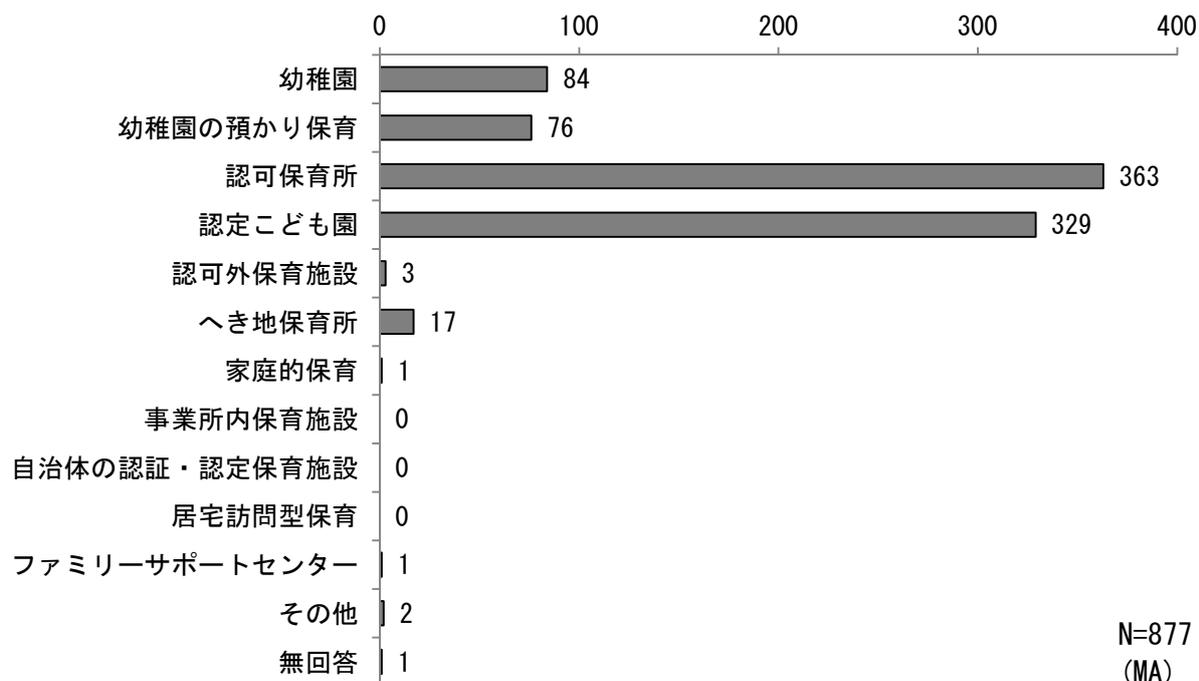
<幼稚園・保育所等の年齢別の利用状況>

子どもの年齢別の利用率を見ると、年齢が上がるに連れて利用率が高くなり、3歳以上児では、ほぼすべての子どもが何らかの施設や事業を利用しているという結果になっています。



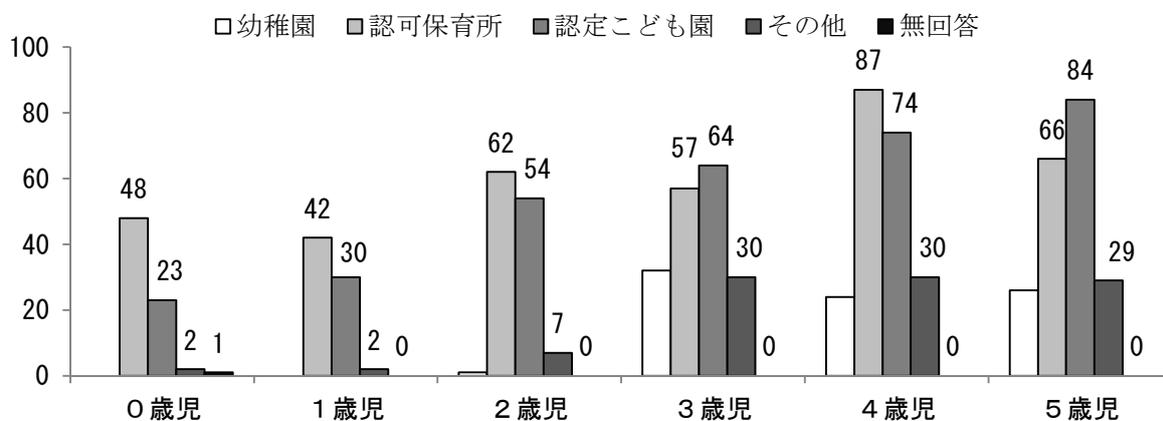
問 12-1 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業の番号すべてに○をつけてください。

幼稚園や保育所等を利用している場合の施設別の内訳は、最も多かったのが「認可保育所」となり、次いで多かったのは「認定こども園」となっています。



<年齢別の利用状況>

子どもの年齢別に施設の利用状況を見ると、3歳未満児では認可保育所の利用が多くなっていますが、3歳以上児になると幼稚園と認定こども園の利用が多くなっています。



※その他は、幼稚園、認可保育所、認定こども園以外の利用すべて。

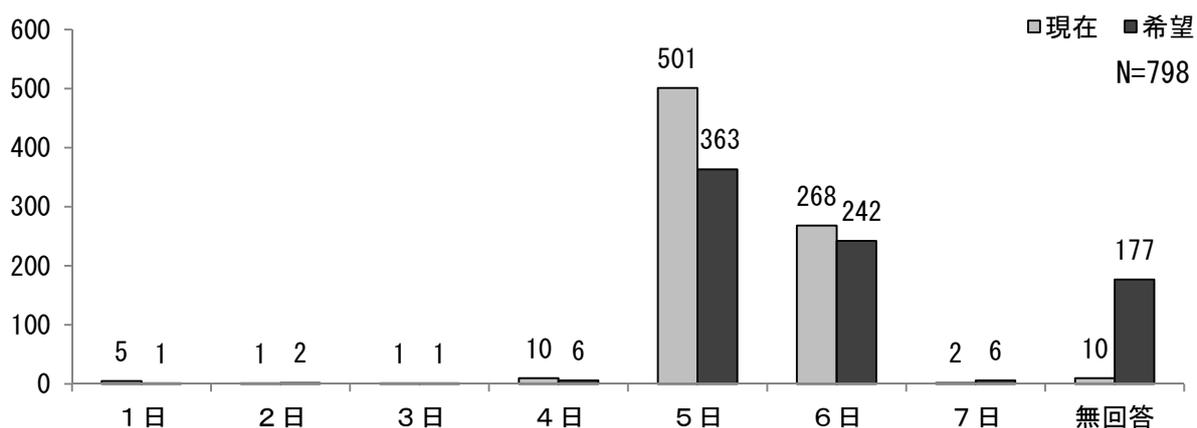
※子どもの年齢不詳の2件を除く。

問 12-2 定期的に利用している幼稚園・保育所等について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを具体的な数字でご記入ください。

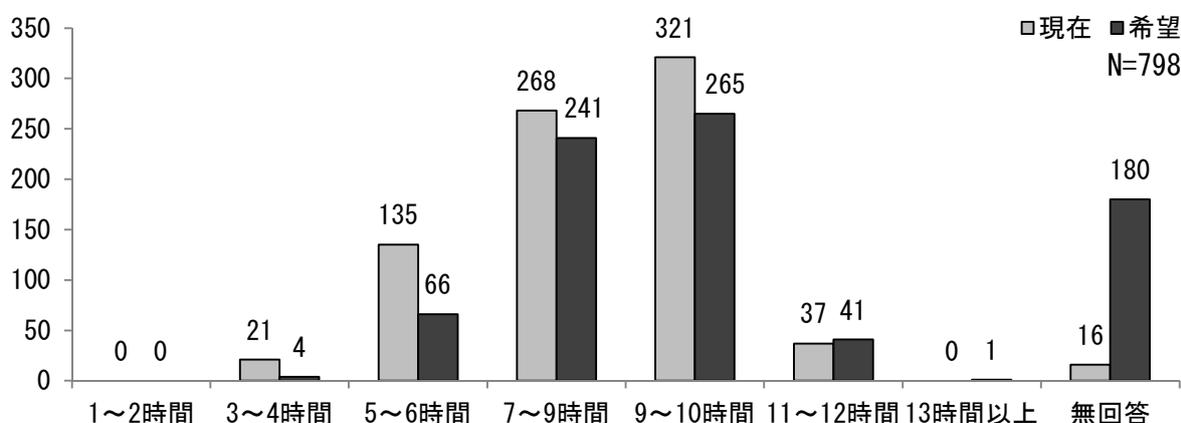
幼稚園・保育所等の現在の利用状況について、週当たりの利用日数は5日が最も多くなっています。1日当たりの利用時間は9～10時間が最も多く、次いで7～9時間となっています。利用開始時刻は8～10時の間に集中しており、終了時刻は17～18時が最も多くなっています。

また、希望としては、1日当たり11～12時間の利用希望が現状を上回っており、利用終了時刻でも、15～16時までと19時以降までの利用希望が現状を上回っています。

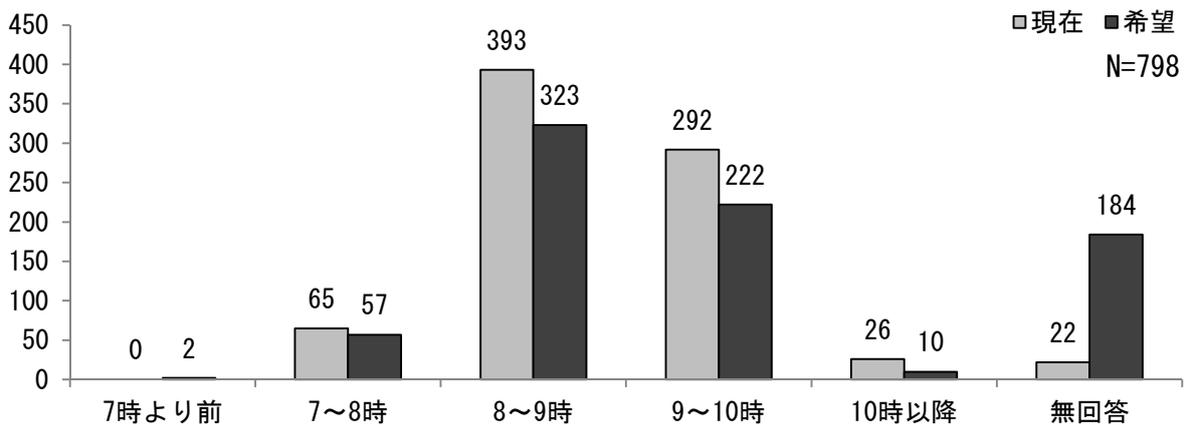
【1週当たりの利用日数】



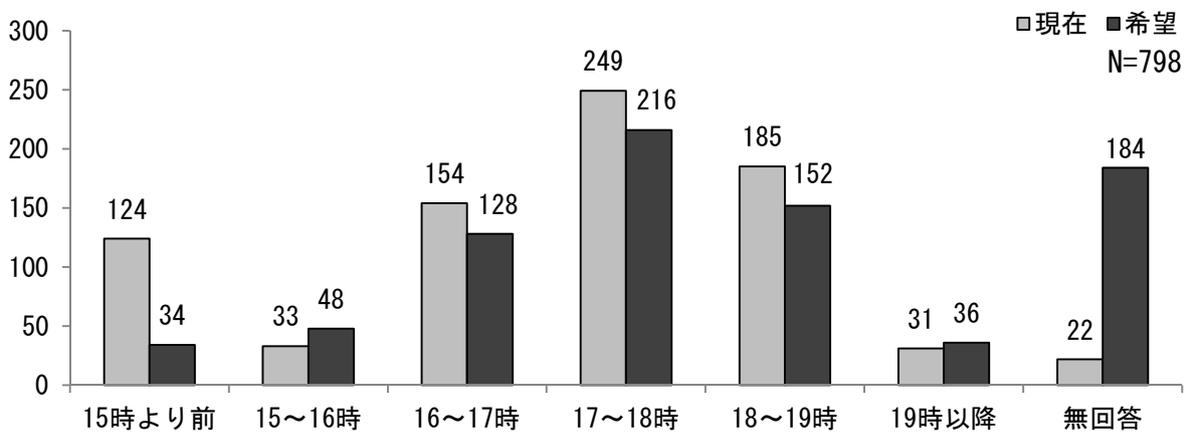
【1日当たりの利用時間】



【利用開始時刻】

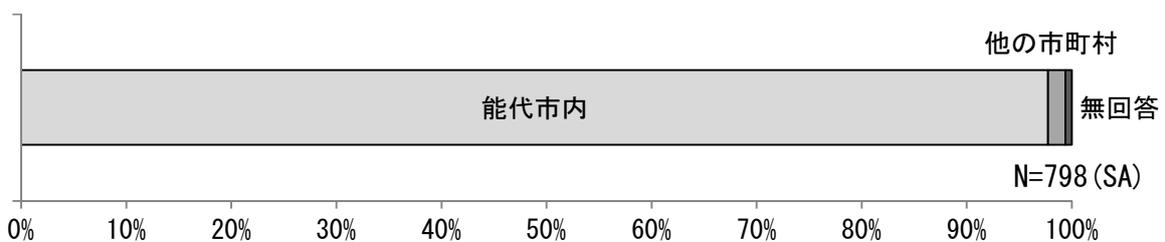


【利用終了時刻】



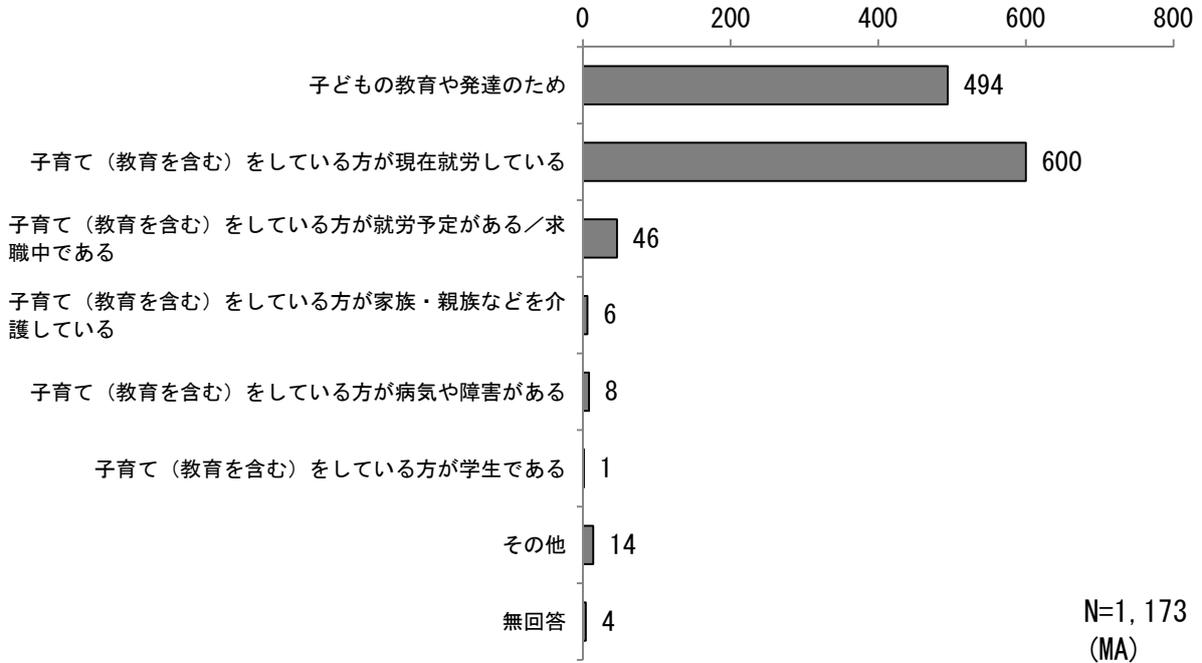
問 12-3 現在、利用している幼稚園・保育所等の場所（施設の住所）についてお伺いします。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在利用している幼稚園・保育所等は、97.7%が能代市内となっています。



問 12-4 幼稚園・保育所等を利用している理由についてお伺いします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

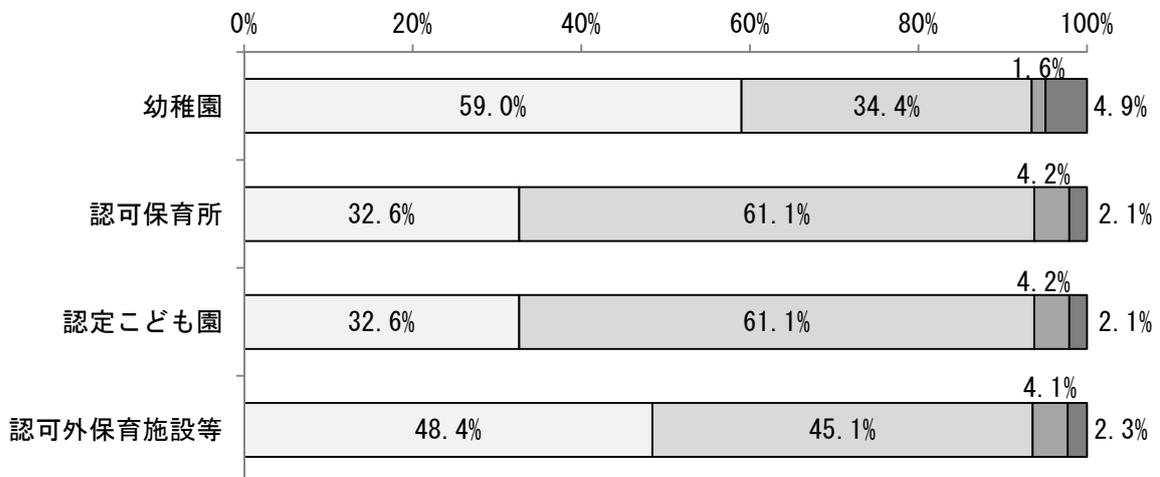
理由については、「子育てをしている方が現在就労している」が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が続いています。



<利用施設別の理由>

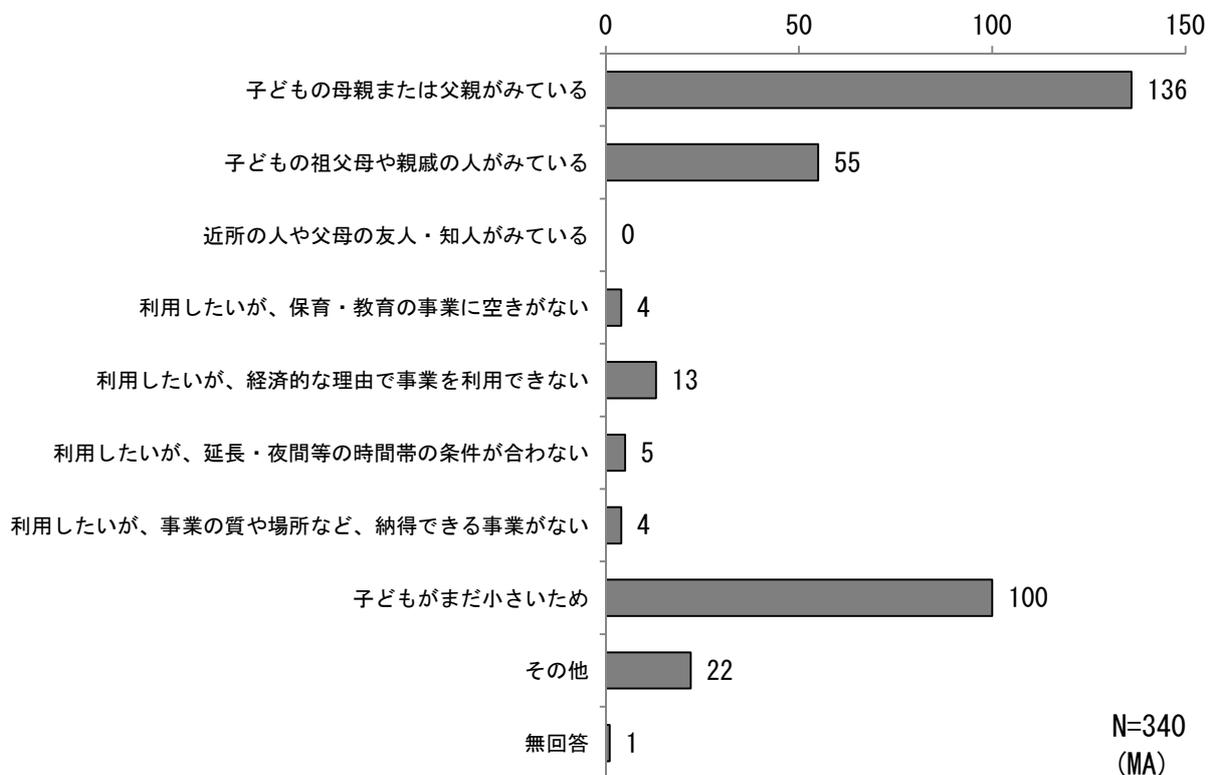
幼稚園・保育所等の利用施設別では、「子どもの教育や発達のため」は、幼稚園で半分以上を占め、認可保育所や認定こども園でも3割近くになっています。また、幼稚園においても、利用している理由が就労しているという方が3割となっています。

□子どもの教育や発達のため □現在就労している □就労予定がある／休職中である □その他



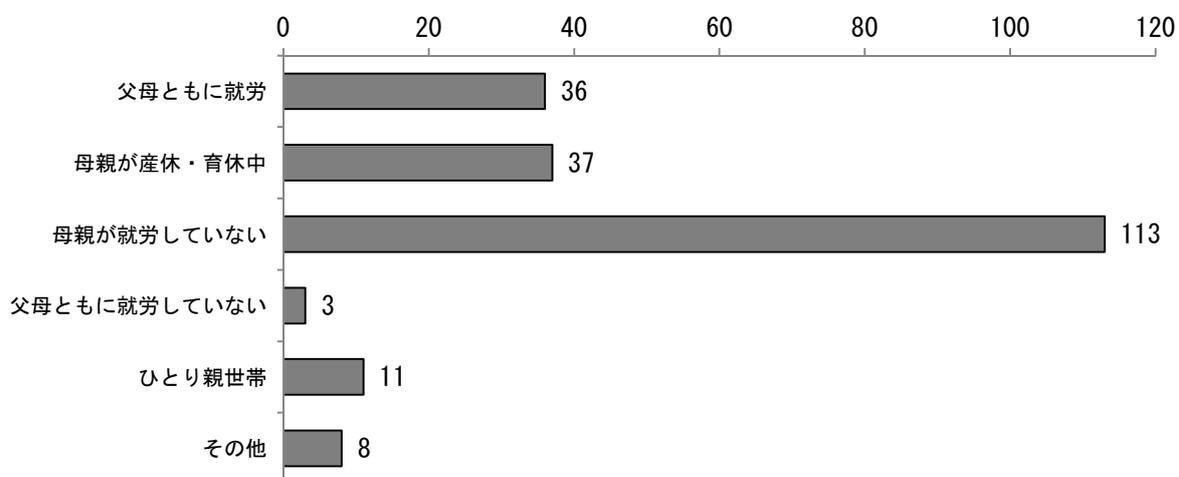
問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用していない理由としては、「こどもの母親または父親がみている」が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」となっています。



<利用していない場合の世帯の状況>

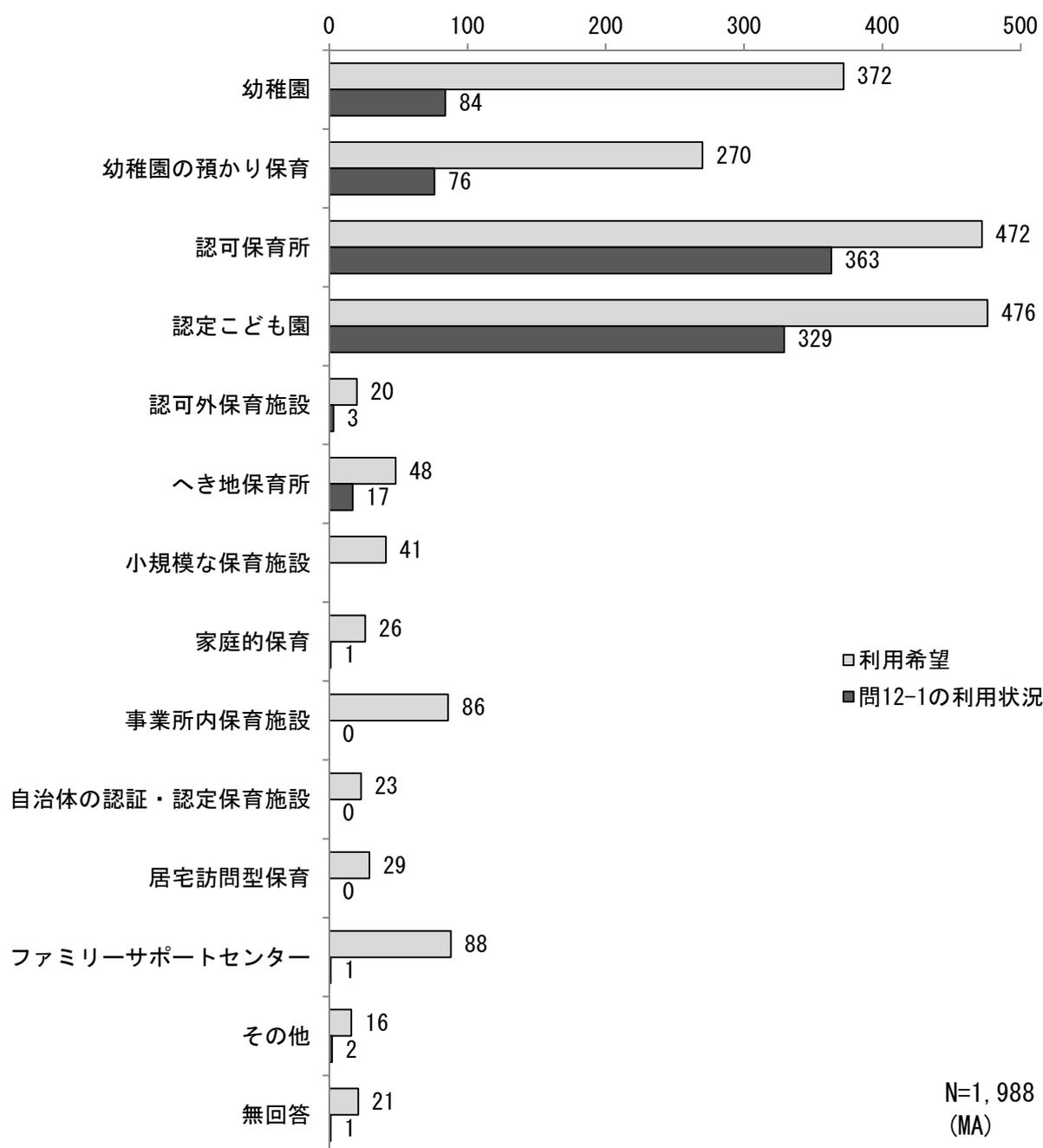
利用していない場合の世帯の状況については、母親が就労していない場合が最も多くなっています。



問 13 すべての方にお伺いします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、幼稚園・保育所等の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

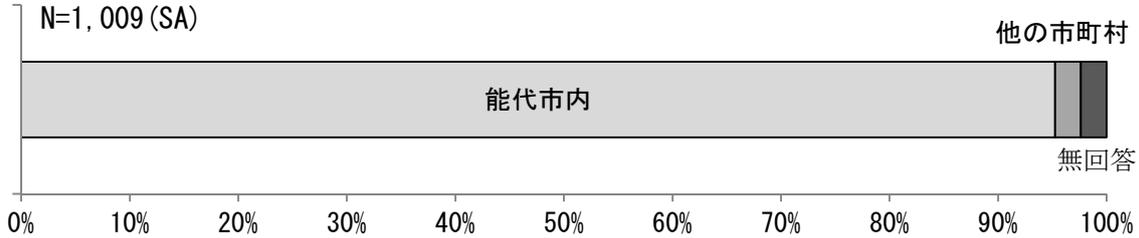
利用したい事業については、「認定こども園」と「保育所」が、ほぼ同数で多くなっています。

また、問 12-1 の利用状況と対比した場合、幼稚園と幼稚園の預かり保育の希望が現状に比べ大きくなっています。



問 13-1 幼稚園・保育所等を利用したい場所についてお伺いします。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

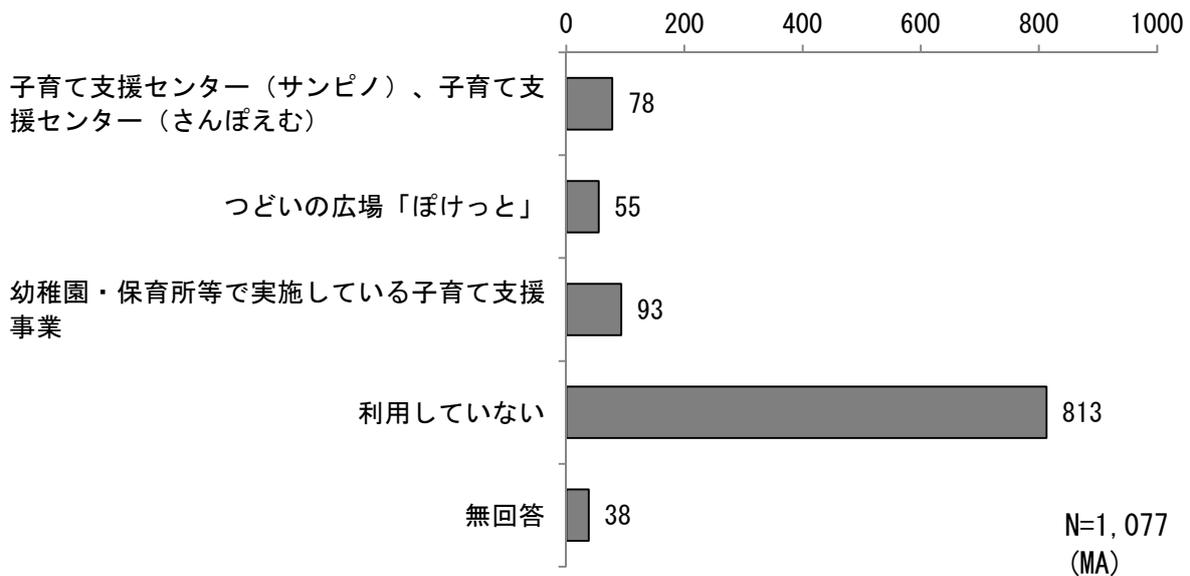
能代市内の幼稚園・保育所等の希望が 95.5%となっています。



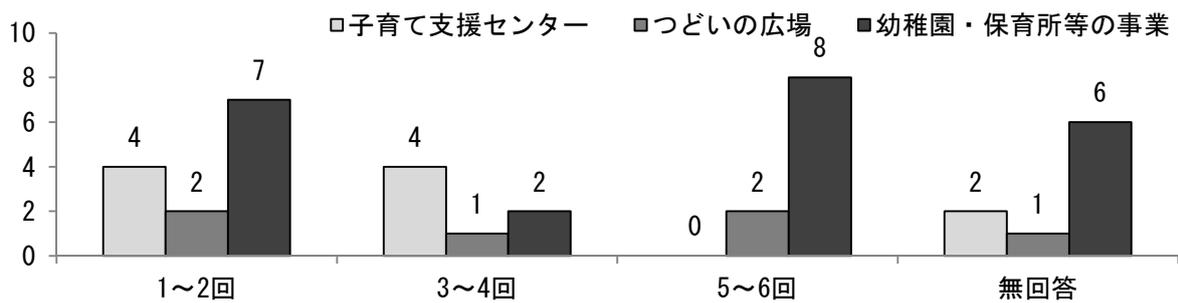
地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場である「子育て支援センター」「つどいの広場」などの事業や、幼稚園・保育所等で実施している園開放や育児相談、地域交流等の事業を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

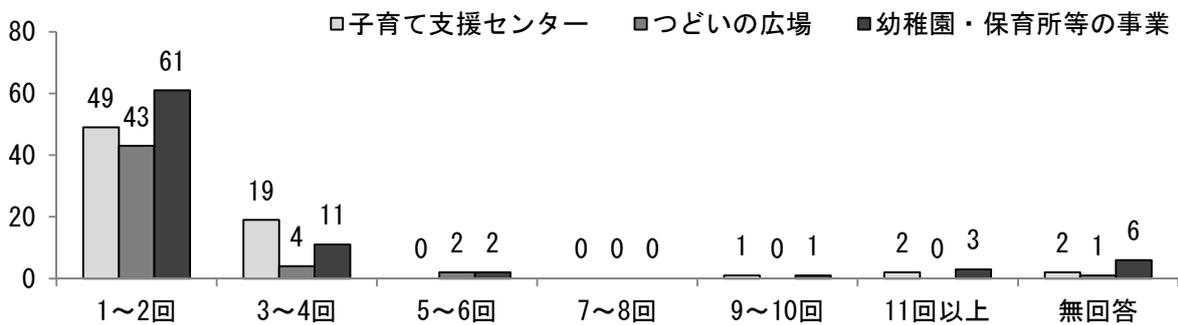
子育て支援事業の利用状況については、利用していない方が多く、回答数に対する割合は 75.5%となっています。利用頻度については、1 週当たりで 1～2 回、1 カ月当たりでも 1～2 回が多くなっています。



【各事業の利用頻度（1週当たり）】

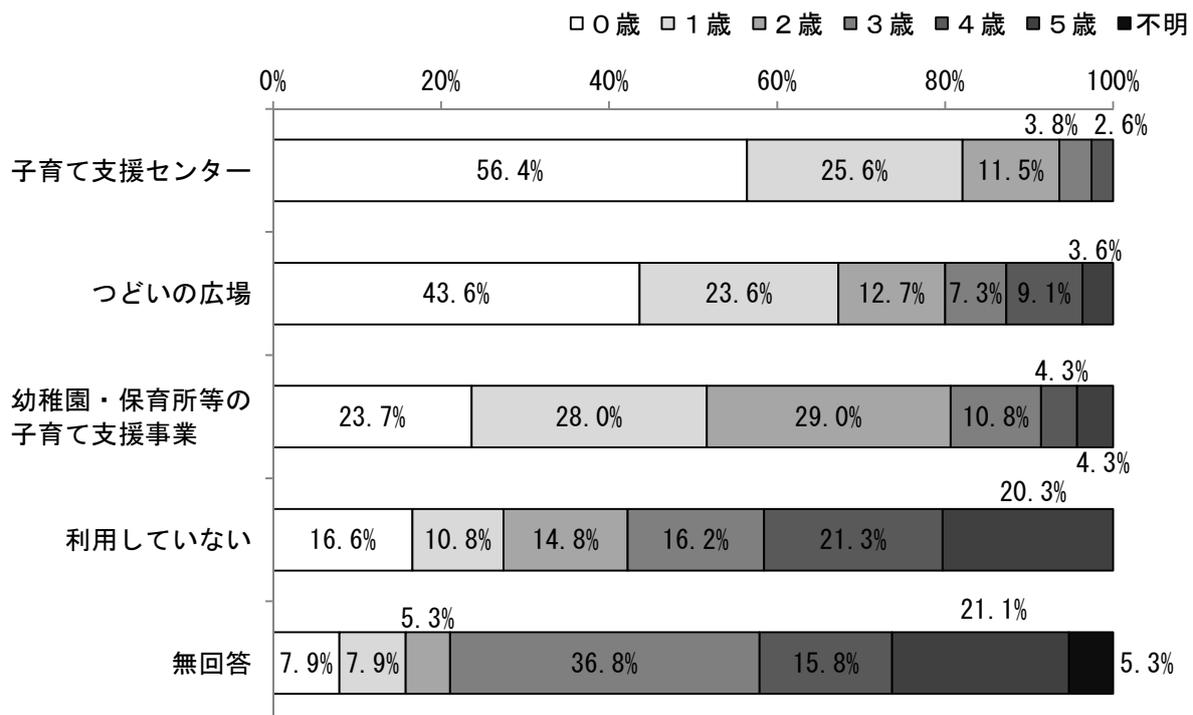


【各事業の利用頻度（1カ月当たり）】



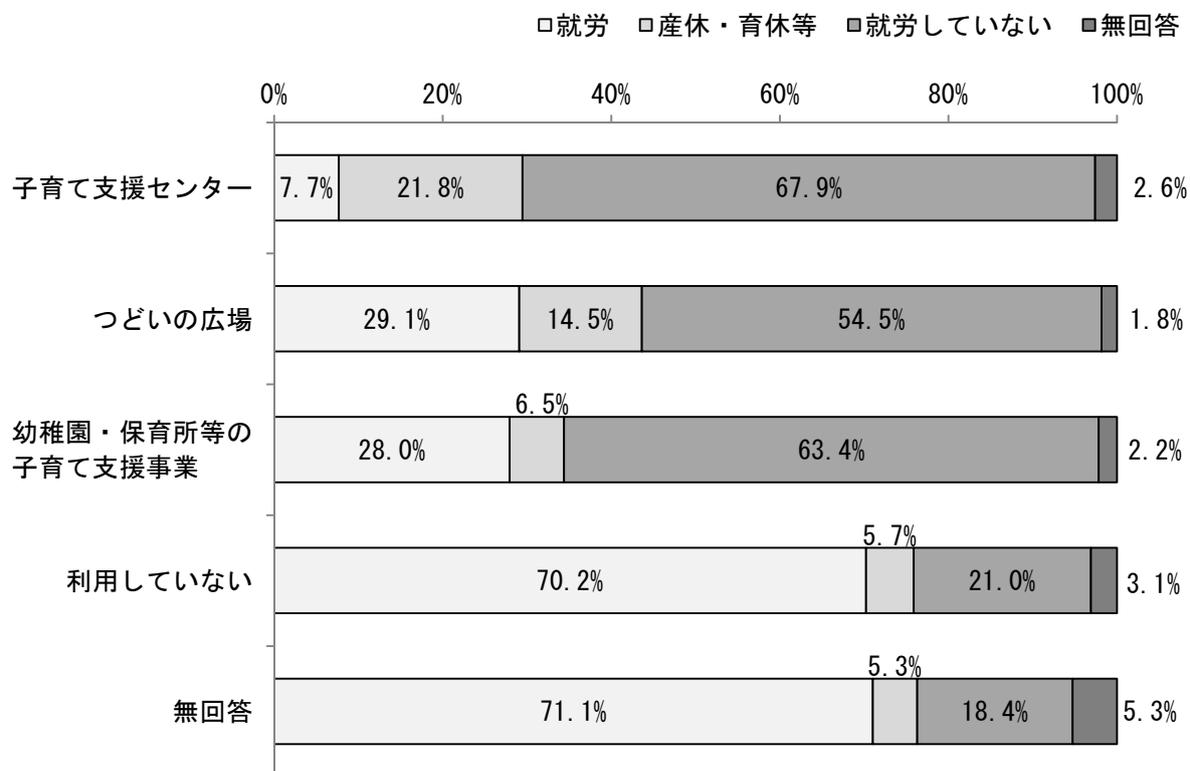
＜子育て支援事業の利用状況と子どもの年齢＞

子育て支援事業の利用状況の子どもの年齢割合については、子育て支援センターやつどいの広場は、主に0～1歳児の子どもが多いですが、幼稚園・保育所等の子育て支援事業では、2～3歳の利用も多くなっています。



<子育て支援事業の利用状況と母親の就労状況>

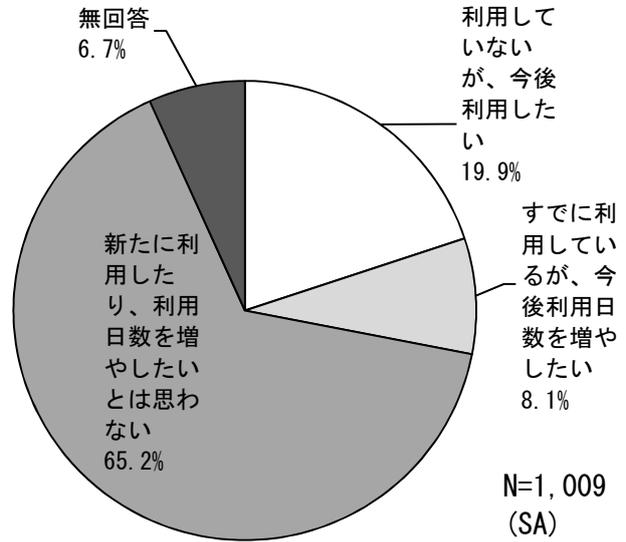
子育て支援事業の利用状況を母親の就労状況の割合で見ると、子育て支援事業を利用している場合は、母親が就労していない割合が高く、利用していない場合は、母親が就労している割合が高くなっています。



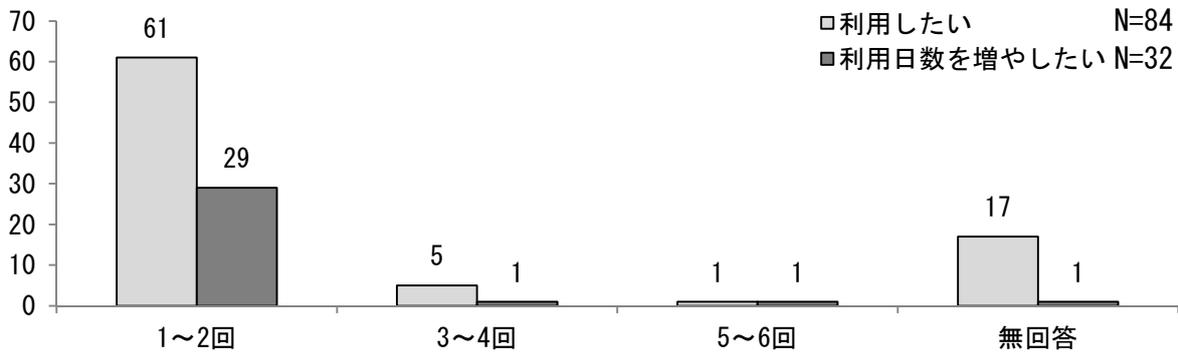
問 15 問 14 のような子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

子育て支援事業の利用希望については、「今後利用したい」と「利用日数を増やしたい」が合わせて 28% となっており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 65.2% と多くなっています。

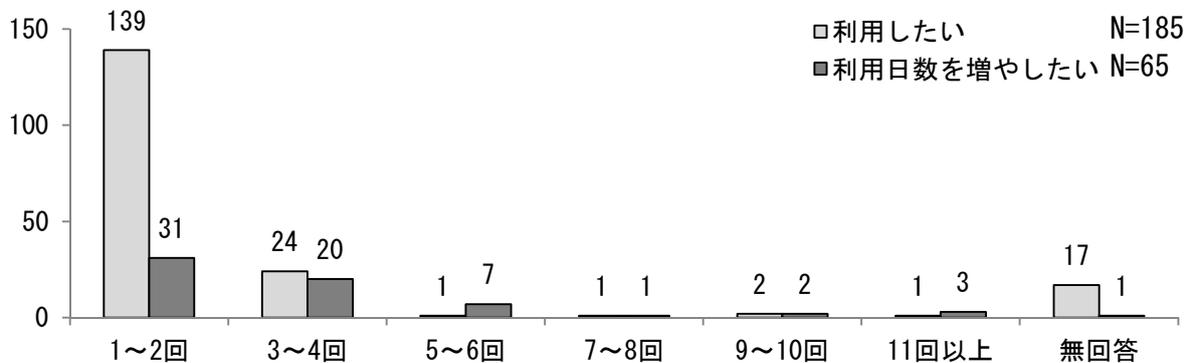
また、利用したい、利用日数を増やしたい場合の利用頻度については、1 週当たりで 1～2 回の利用、1 カ月当たりでも 1～2 回の利用希望が最も多くなっています。



【利用したい、利用日数を増やしたい場合の利用頻度（1 週当たり）】



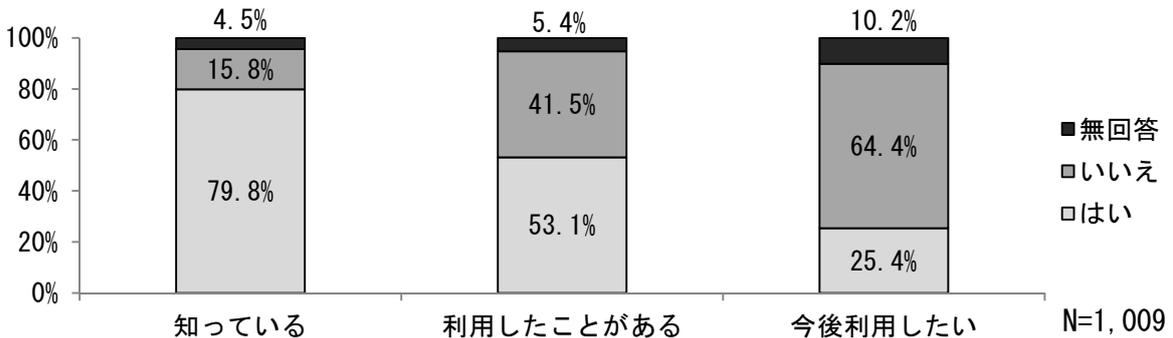
【利用したい、利用日数を増やしたい場合の利用頻度（1 カ月当たり）】



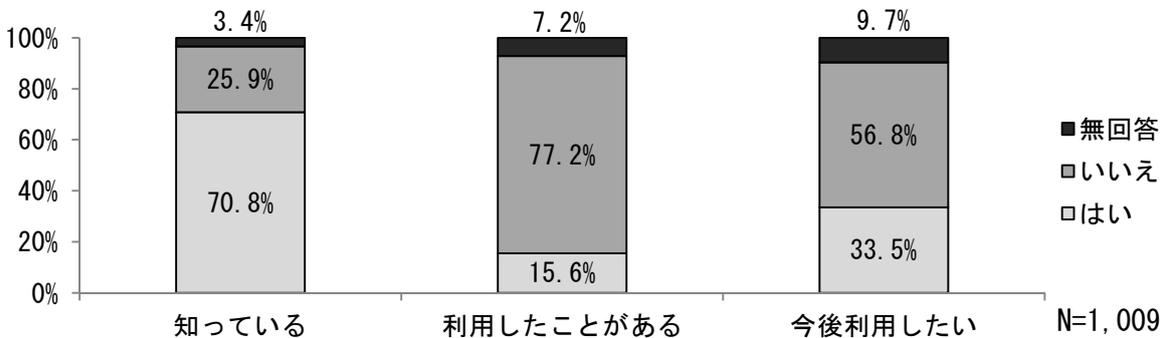
問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

いずれの事業についても、知っているが利用したことがある方は少なく、「知っている」の割合と「利用したことがある」の割合の差が大きく開いています。

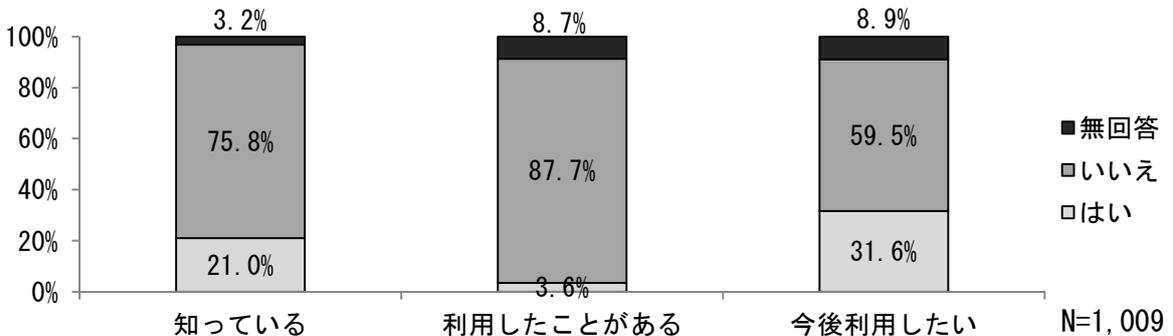
【①マミークラス（母親学級）】



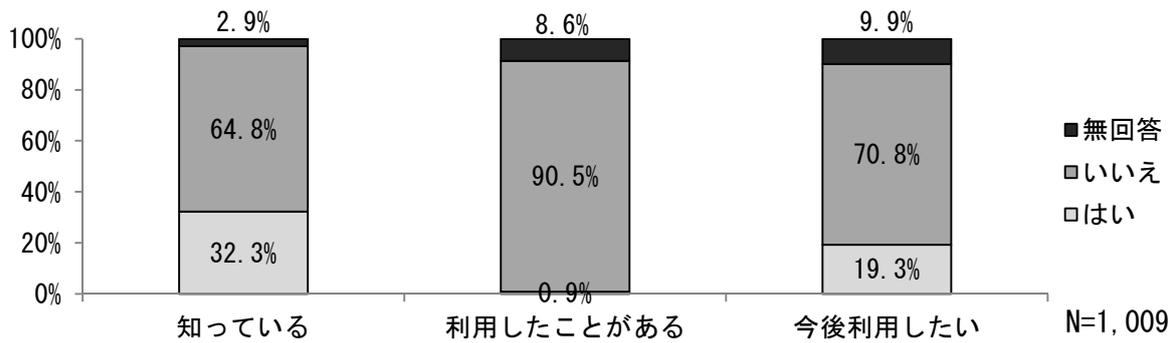
【②保健センターの相談事業】



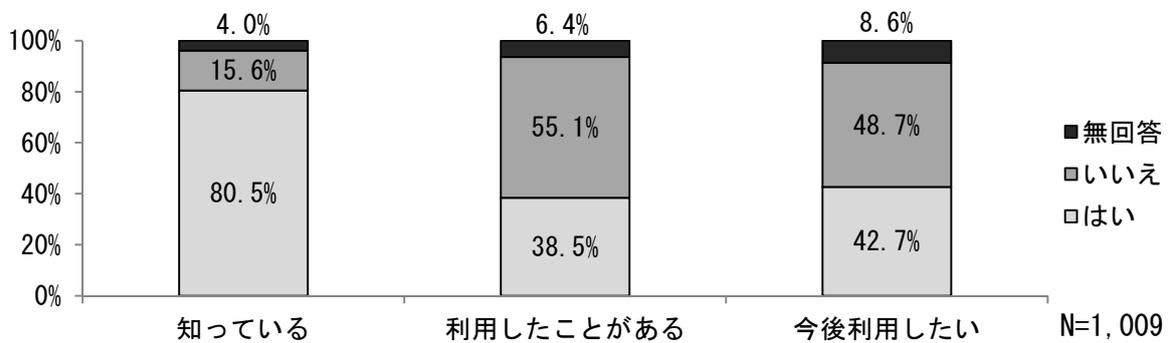
【③家庭教育に関する講座】



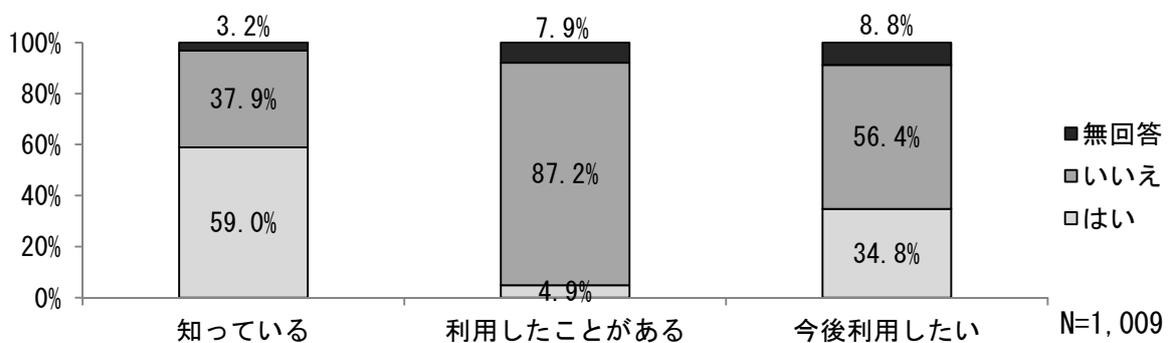
【④市民教育相談（風の子電話）】



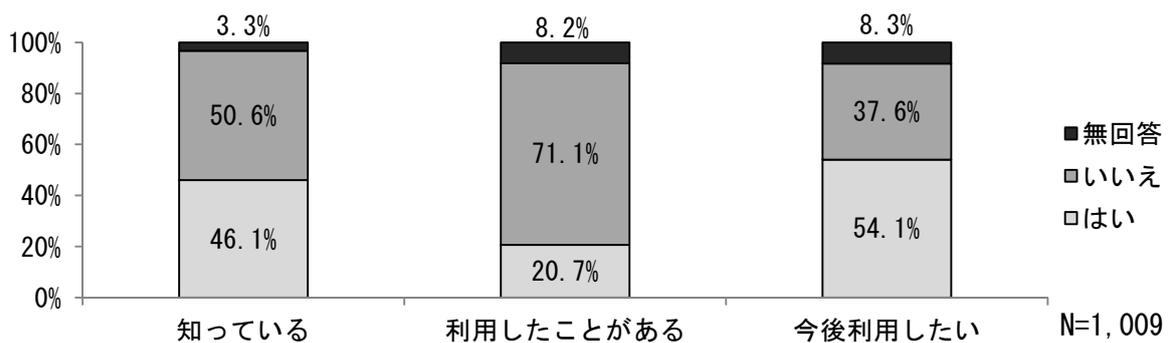
【⑤保育所や幼稚園の園開放】



【⑥子育ての相談窓口】



【⑦市の子育て支援情報誌】



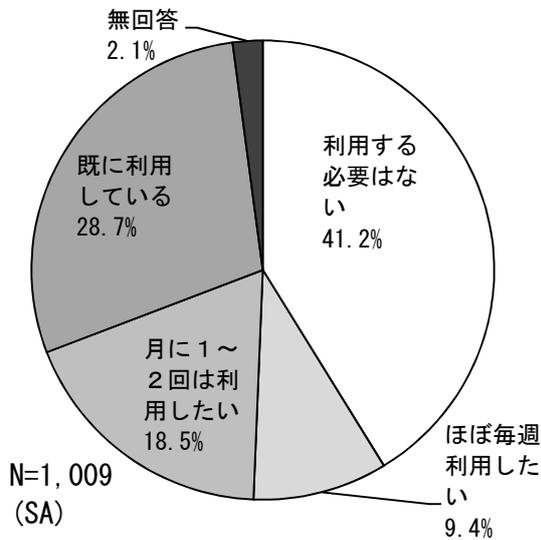
土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育所等の利用希望について

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

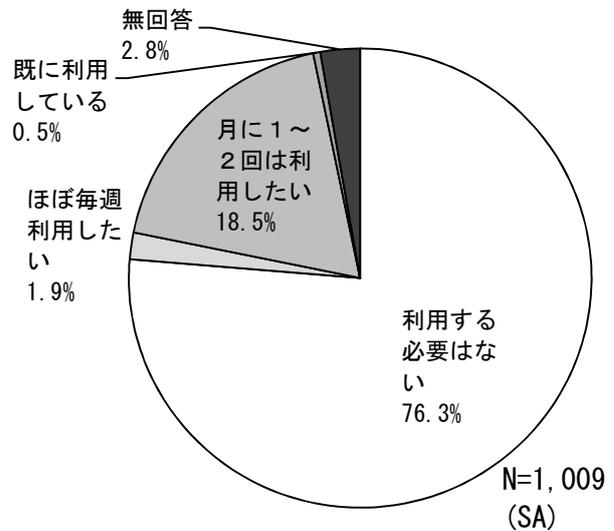
土曜日については、既に利用している場合も含め、利用希望が 56.6%と半分以上となっていますが、日曜日・祝日については、76.3%が「利用する必要はない」となっています。

また、利用したい場合の時間帯については、土曜日と日曜日・祝日ともに、開始時間は 8～9時の時間帯が多く、終了時間は 17～18時の時間帯が最も多くなっています。

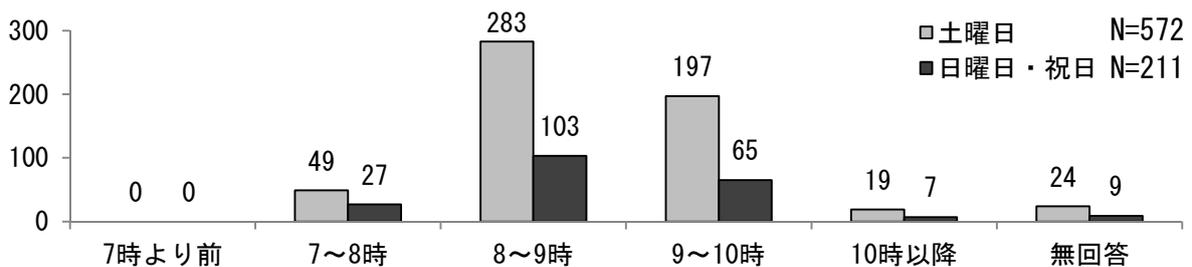
【土曜日】



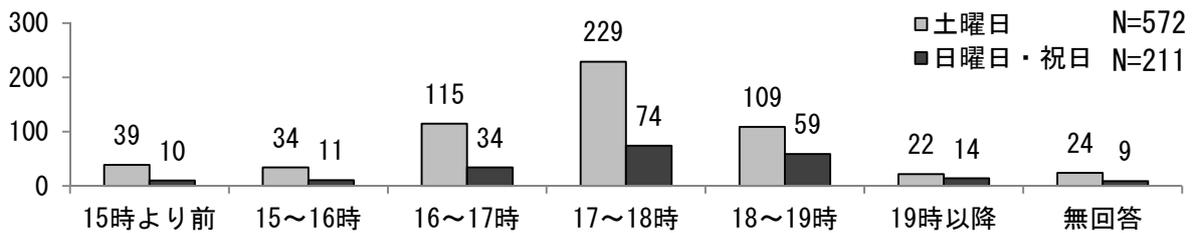
【日曜日・祝日】



【利用したい時間帯の開始時刻】



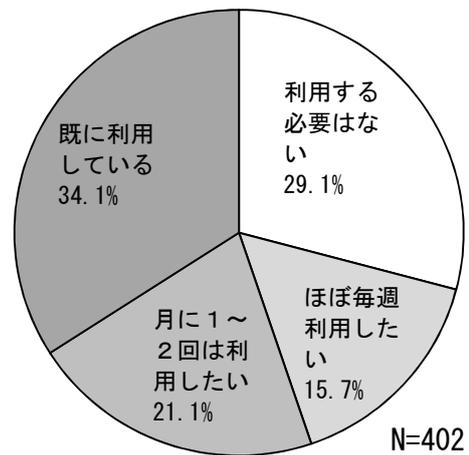
【利用したい時間帯の終了時刻】



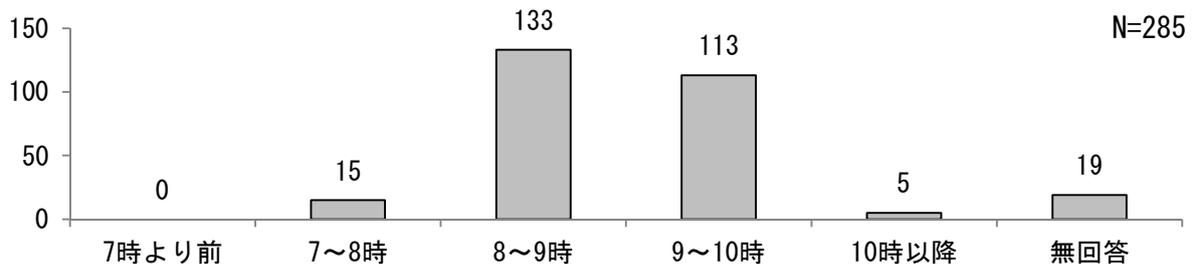
問 18 「幼稚園」を利用している方にお伺いします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

幼稚園での夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望について、既に利用している場合も含めた利用希望が7割以上となっています。

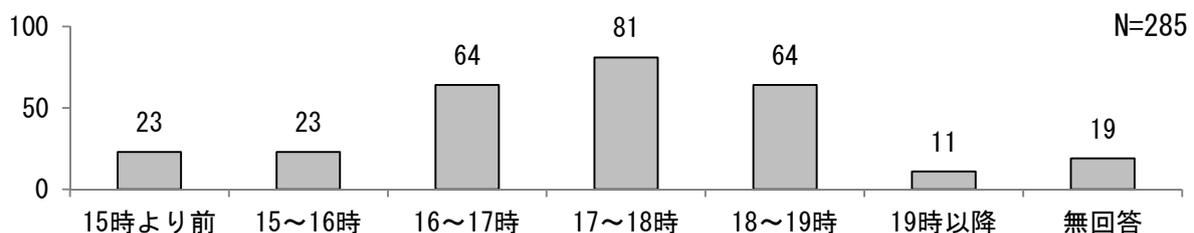
また、利用したい場合の時間帯については、開始時間は8～9時の時間帯が最も多く、終了時間は17～18時の時間帯が最も多くなっています。



【利用したい時間帯の開始時刻】



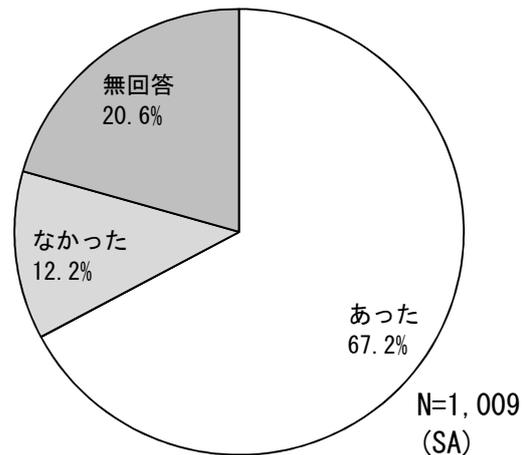
【利用したい時間帯の終了時刻】



お子さんの病気の際の対応について

問 19 平日の幼稚園・保育所等を利用していると答えた保護者の方（問 12 で 1 に○をつけた方）にお伺いします。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかったことはありますか。

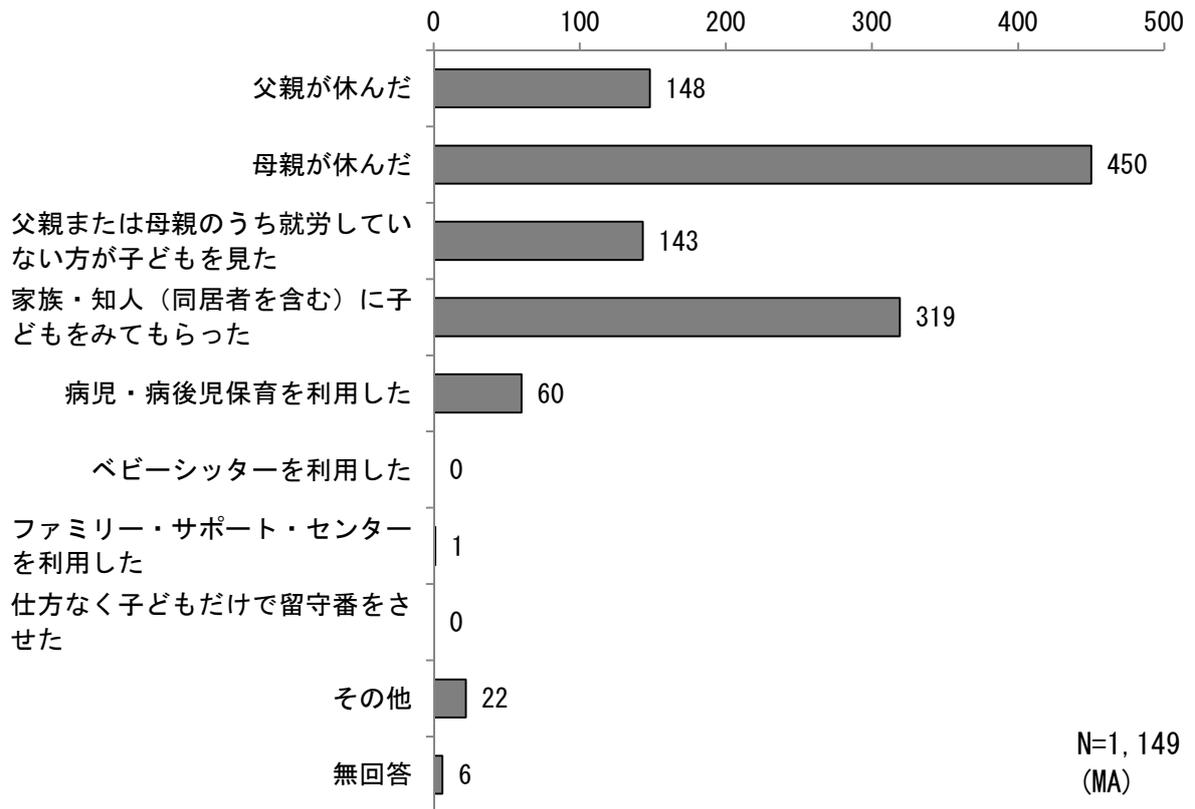
子どもが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかったかについて、「あった」が 67.2%となっています。



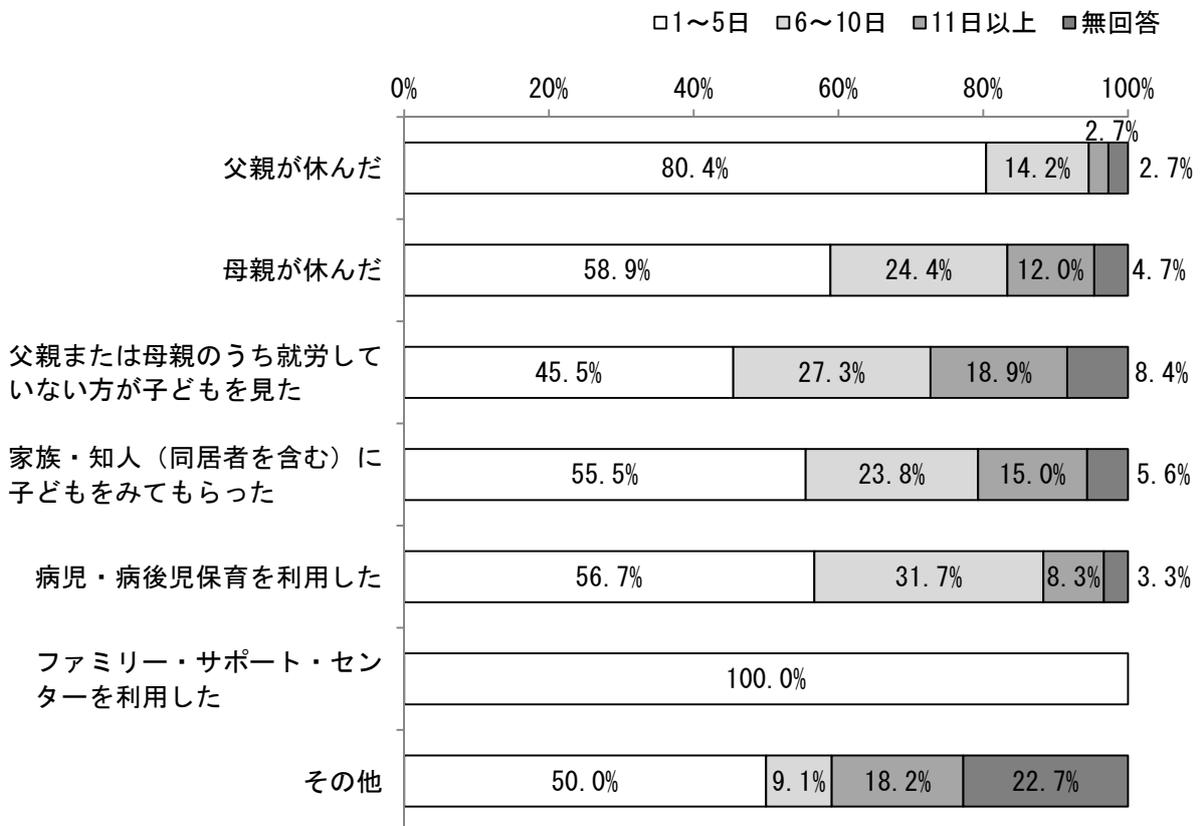
問 19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の場合も 1 日としてください。）

子どもが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかった場合に、その対処方法としては、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「家族・知人に子どもをみてもらった」となっています。

それぞれの対処した日数については、いずれの対処方法も 1～5 日が最も多くなっています。



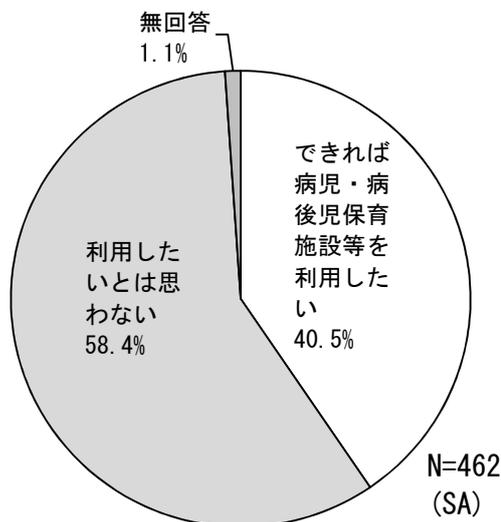
【対処方法の日数】



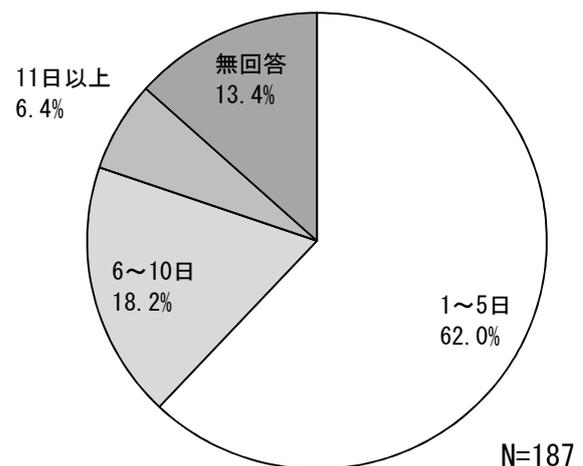
問 19-2 問 19-1 で「ア. 母親が休んだ」「イ. 父親が休んだ」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 40.5%となっており、その場合の利用日数は、年間 1～5 日が 62%と最も多くなっています。

【利用希望】

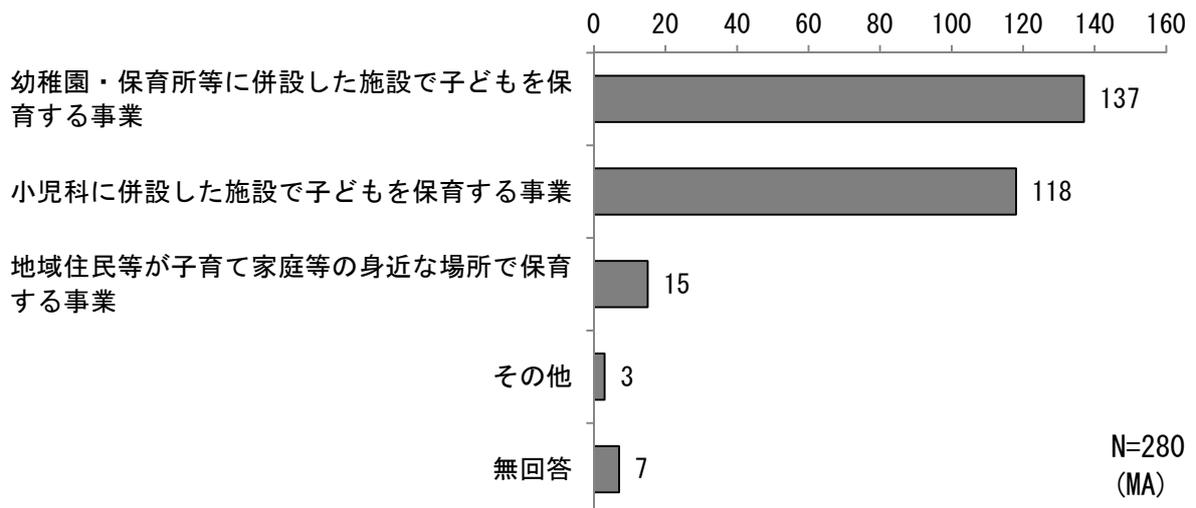


【利用したい場合の利用日数】



問 19-3 問 19-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

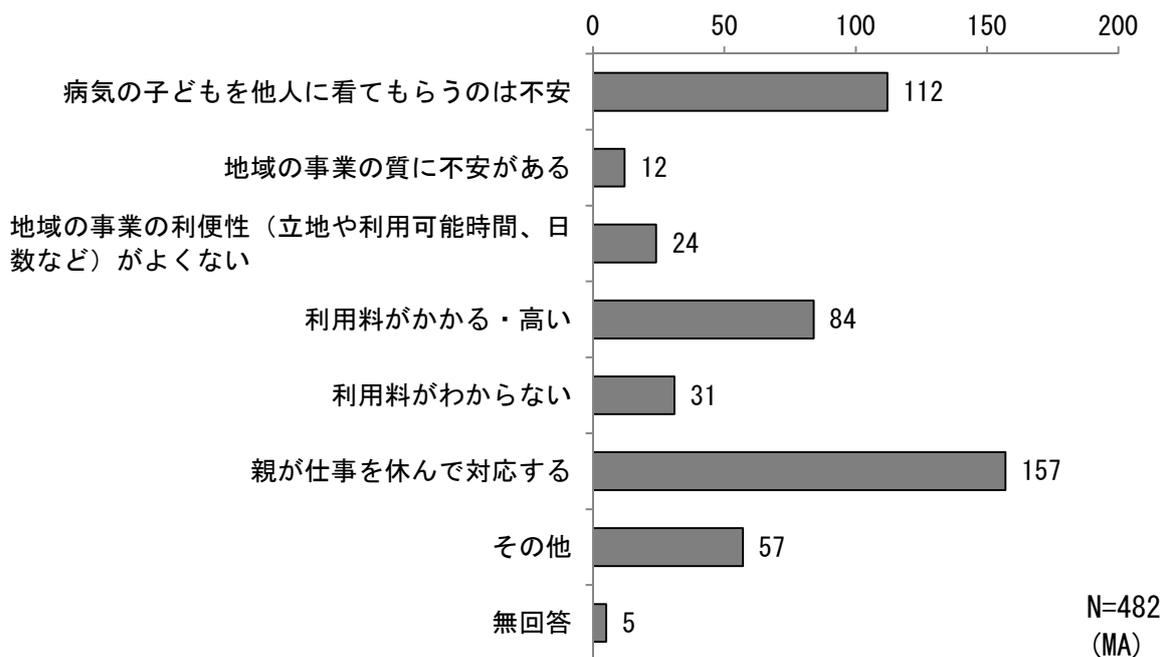
病児・病後児保育施設等を利用したい場合の事業形態については、「幼稚園・保育所等に併設した施設」が最も多く、次いで「小児科に併設した施設」となっており、この 2 つで全体の 9 割以上を占めています。



問 19-4 問 19-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。そうと思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

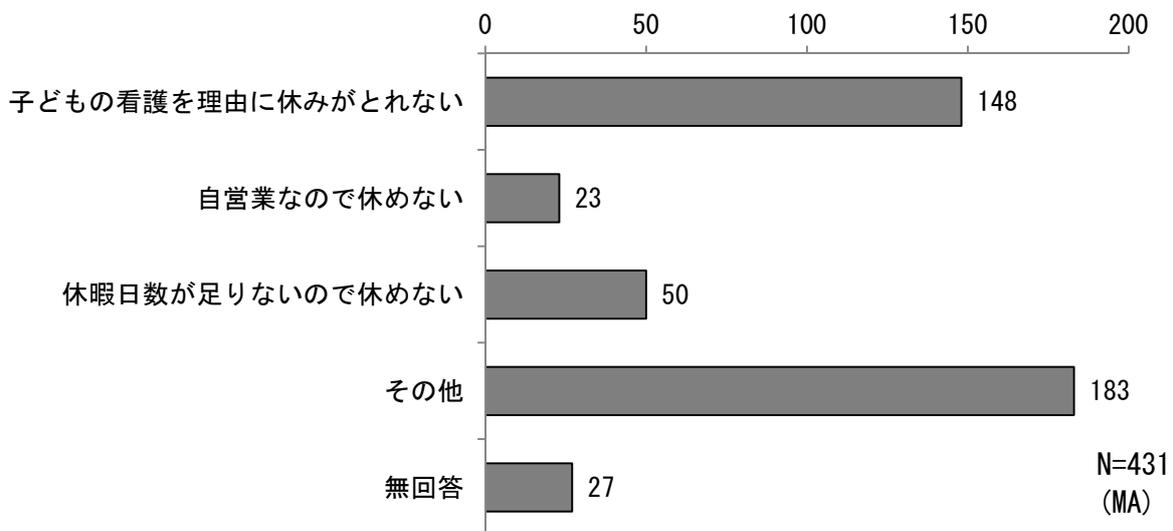
病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が最も多く、次いで「病気の子どもを他人に看てもらうのは不安」という理由が続いています。

なお、4番目に多かった「その他」の主な内容については、「家族で対応できるから」、「子どもを看病してあげたいから」、「子どもが嫌がるから」といった回答が多くなっています。



問 19-5 問 19-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに回答した方にお伺いします。父親または母親がお子さんを看ることができなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

父親または母親が子どもを看ることができなかった理由で最も多かったのは「その他」ですが、その中でも多く書かれていた内容は「仕事が休みづらい」というものでした。また、次に多かった理由が「子どもの看護を理由に休みがとれない」となっています。



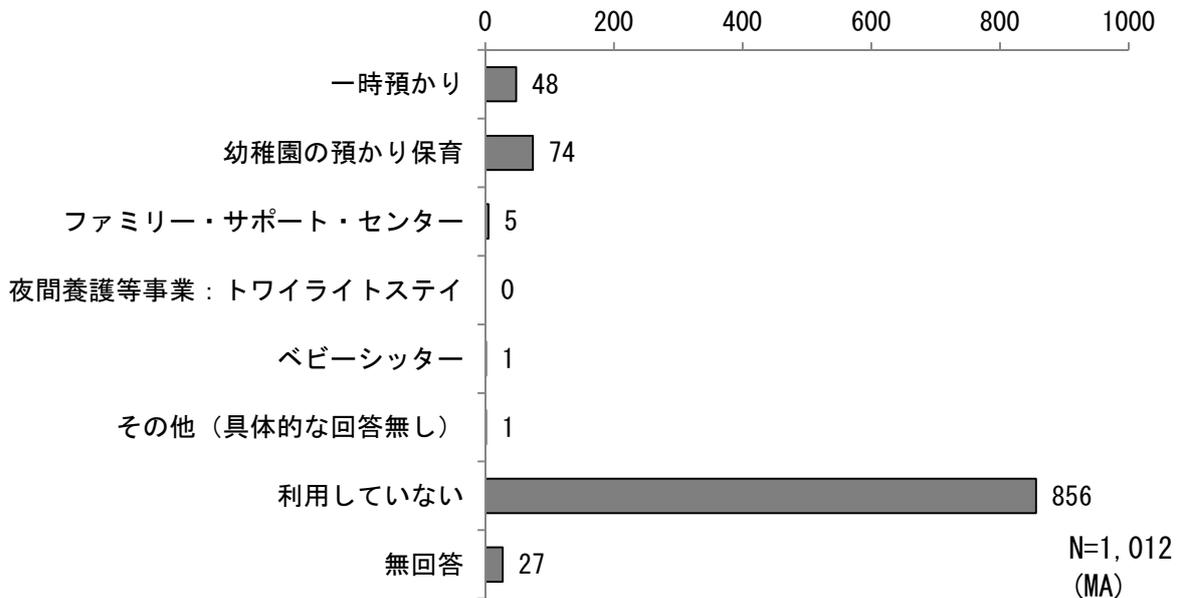
(その他の主な内容)

- ・仕事が休みづらい（職場の人員不足、同僚への負担など） 72 件
- ・祖父母が見てくれるから 47 件
- ・有給がないため収入が減る（日給、時給など） 5 件 等

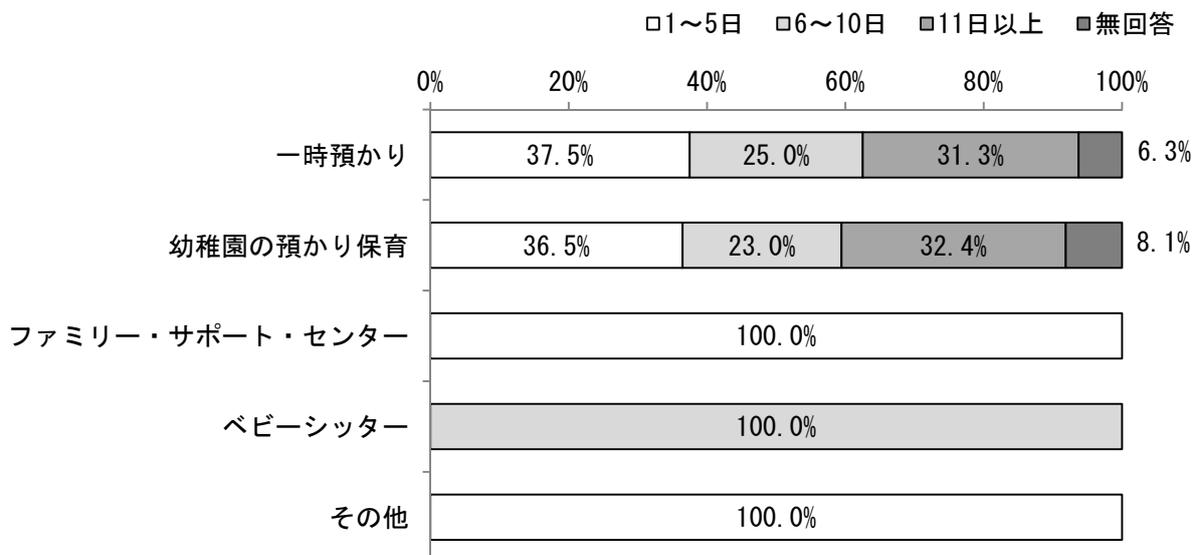
不定期や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数もご記入ください。

一時預かり等の利用状況については、「利用していない」が最も多く、回答数の85%近くとなっていますが、利用している場合では、「幼稚園の預かり保育」と「一時預かり」が主な事業となっています。

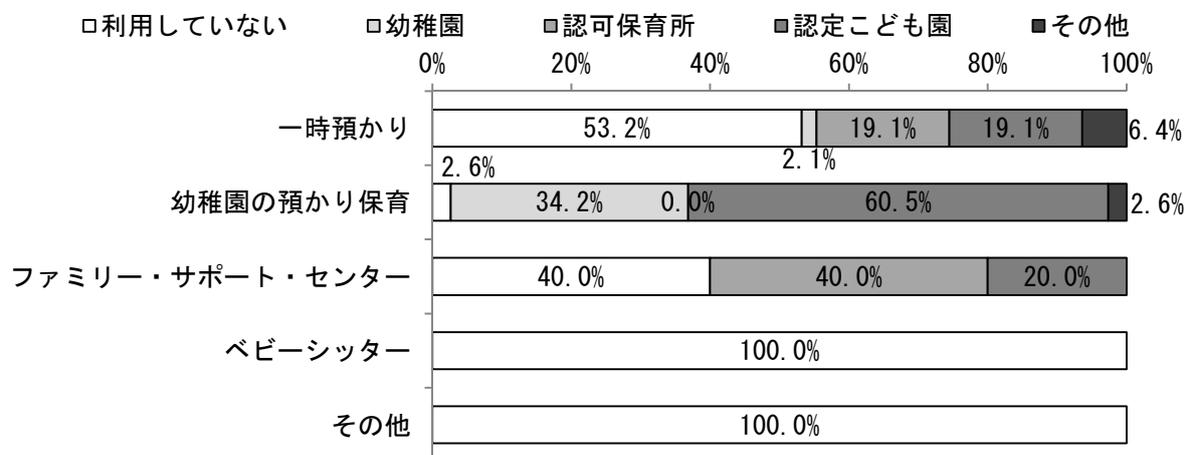


【利用日数】



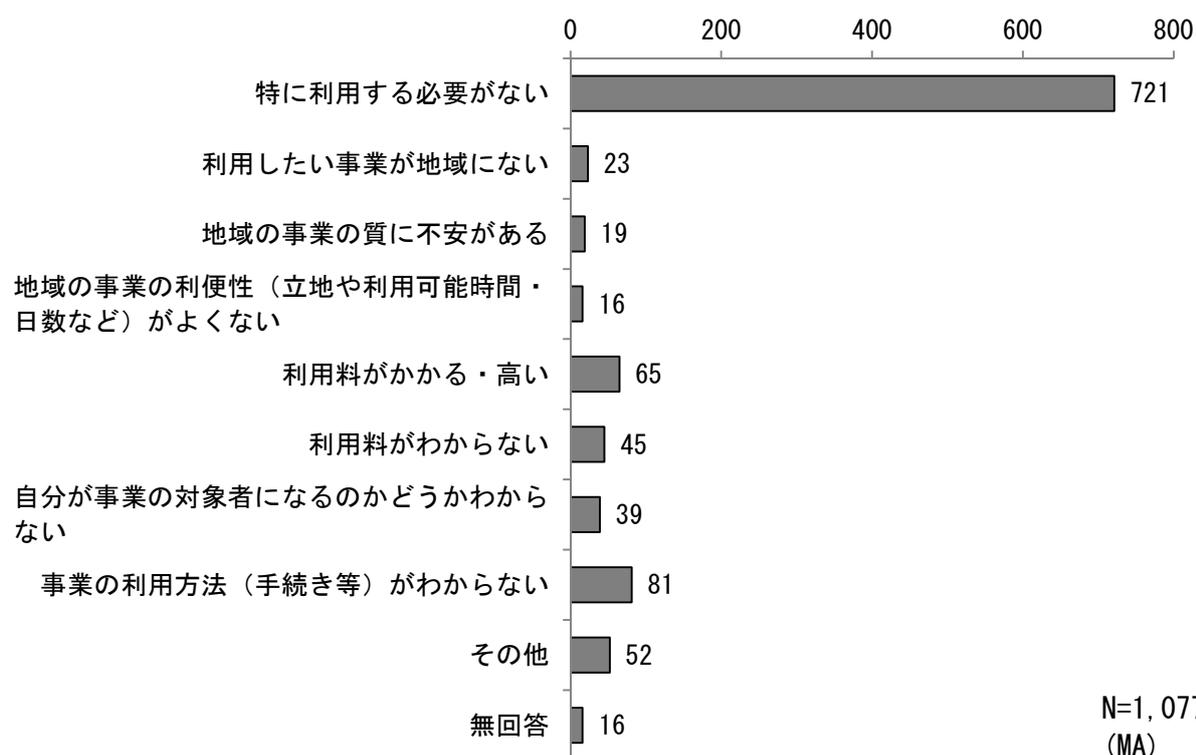
<定期的に利用している施設別の利用状況>

定期的に利用している施設別の割合では、一時預かりは普段施設を利用していない方が半数以上を占め、幼稚園の預かり保育については、幼稚園や認定こども園を利用している方で9割以上となっています。



問 20-1 問 20 で「7. 利用していない」と回答した方にお伺いします。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

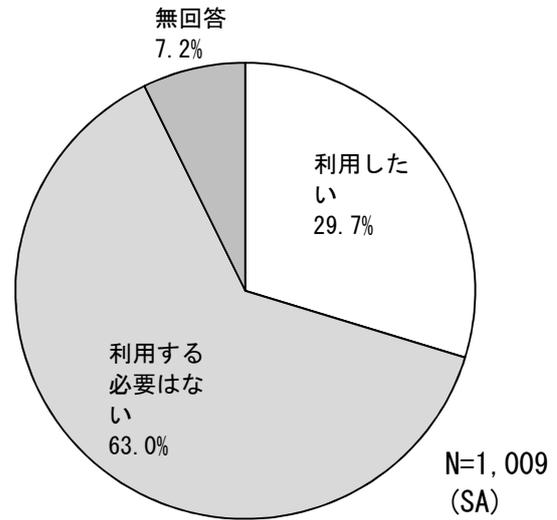
不定期の一時預かり等を利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」が最も多く、回答数の 67% を占めています。



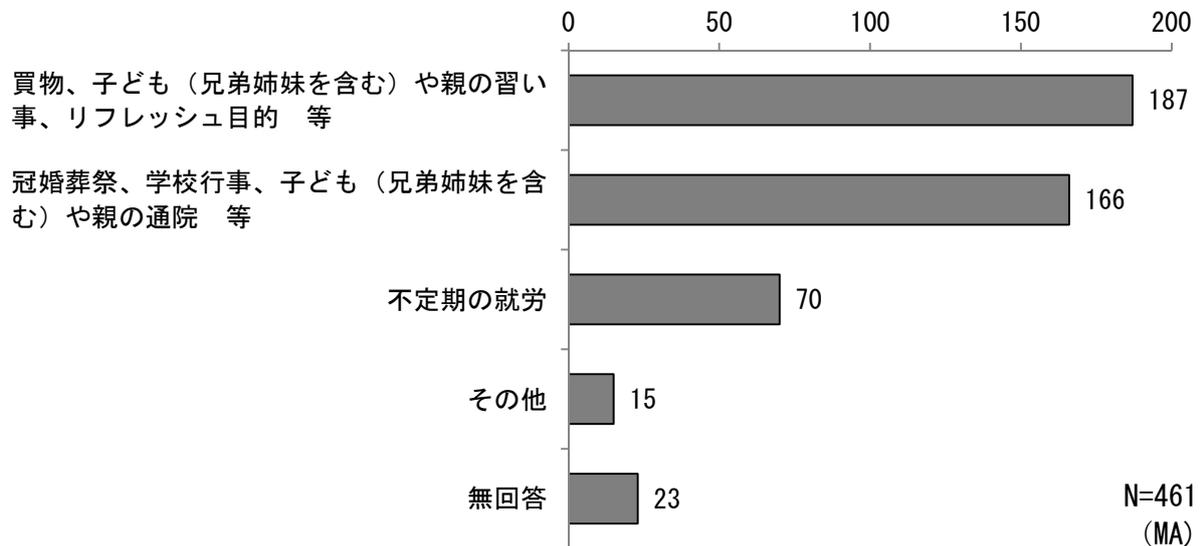
問 21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

不定期の一時預かり等の利用希望については、利用したいが29.7%となり、利用する必要はないが63%となっています。

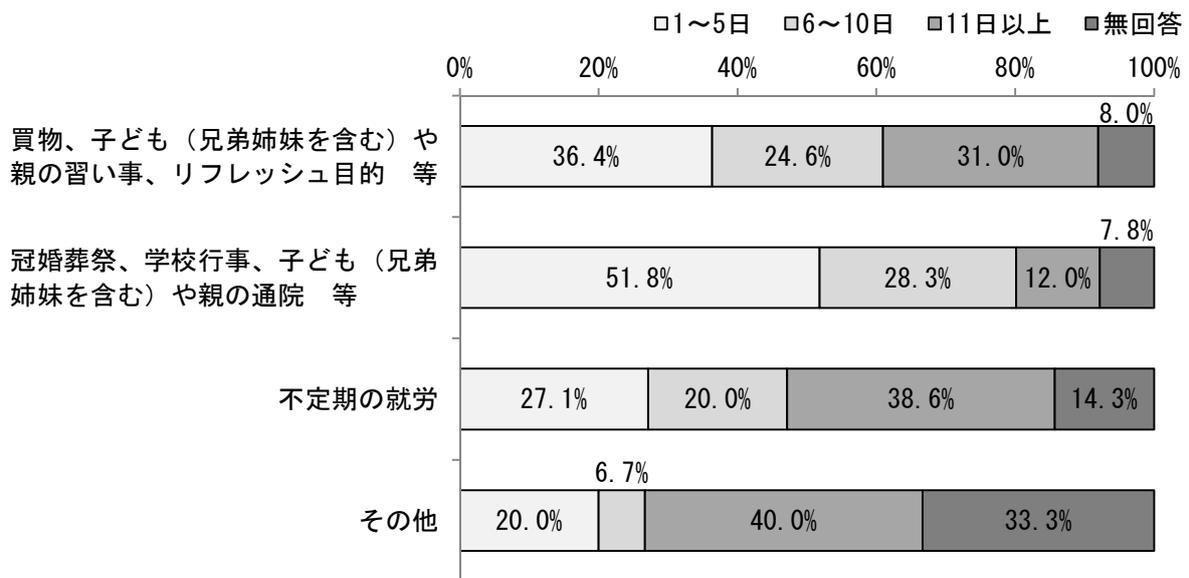
また、利用目的では、「買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等」がもっとも多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」となっています。



【利用したい場合の利用目的】

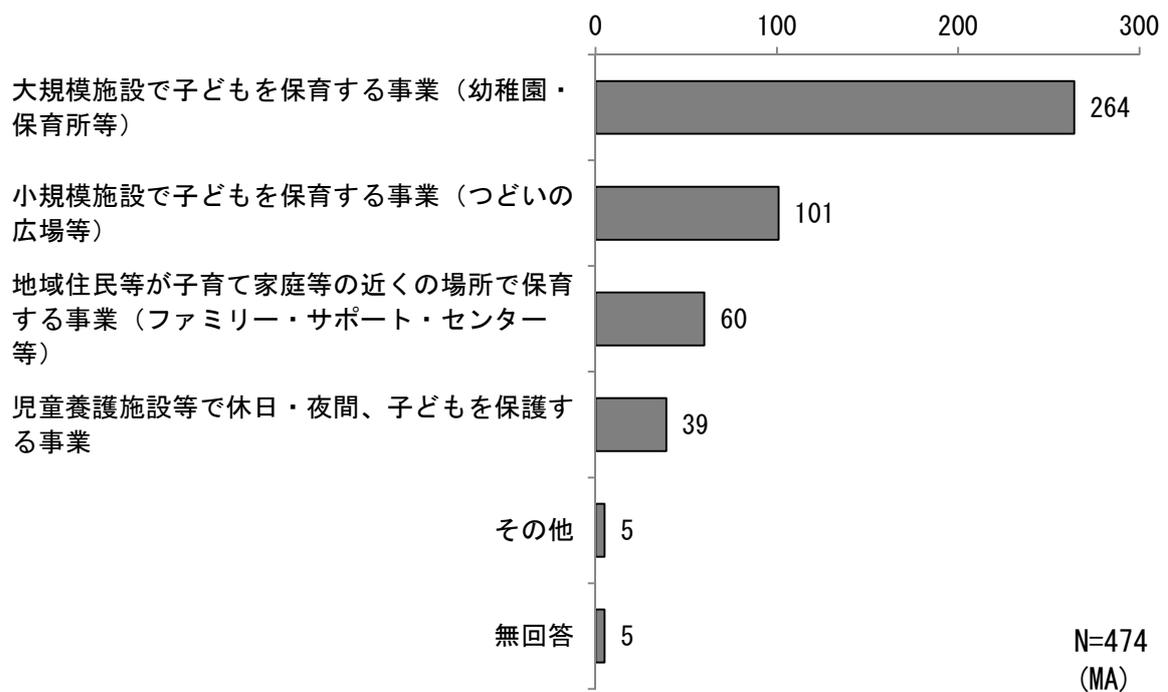


【利用目的別の希望する日数】



問 21-1 問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の一時預かり等の事業形態については、幼稚園・保育所等の「大規模施設で子どもを保育する事業」が最も多く回答数の5割以上となっています。

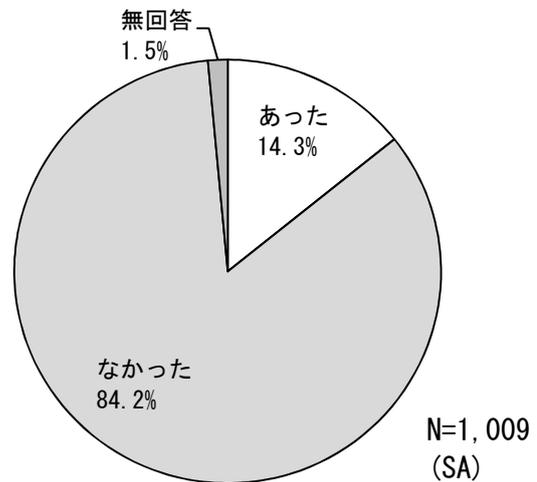


問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

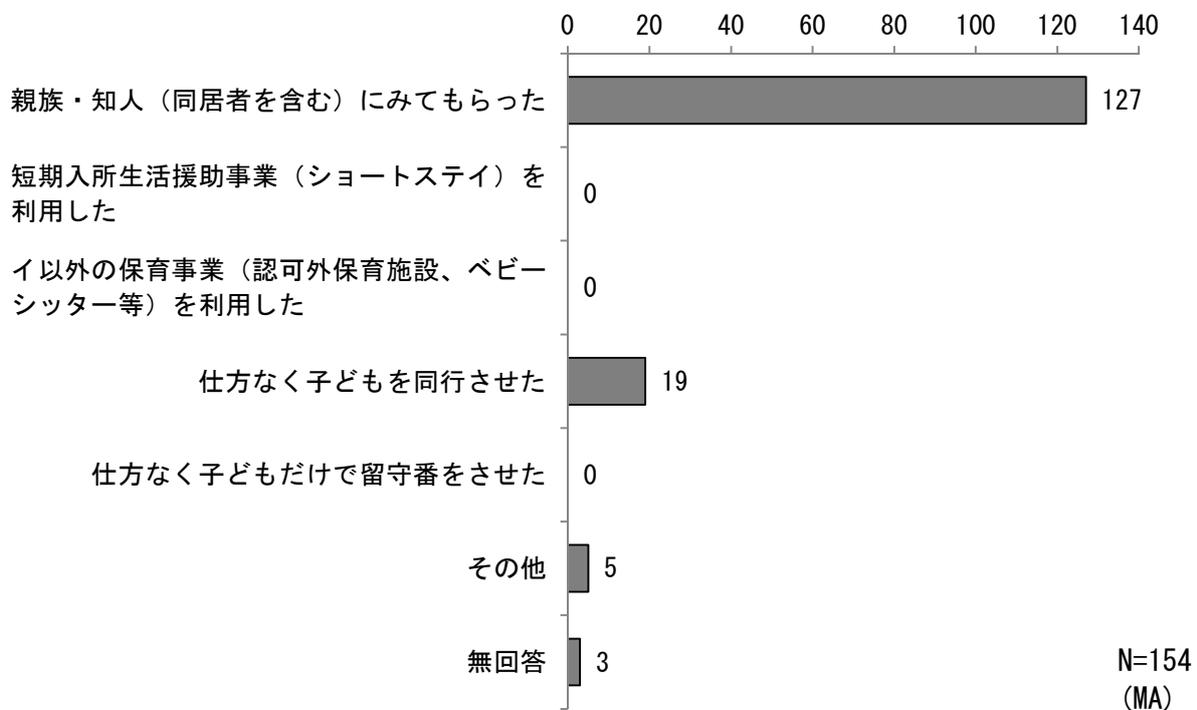
泊りがけで子どもを預けなければならないことはあったかについて、「あった」が14.3%、「なかった」が84.2%となっています。

預けなければならなかった場合の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が回答数の8割以上を占めています。

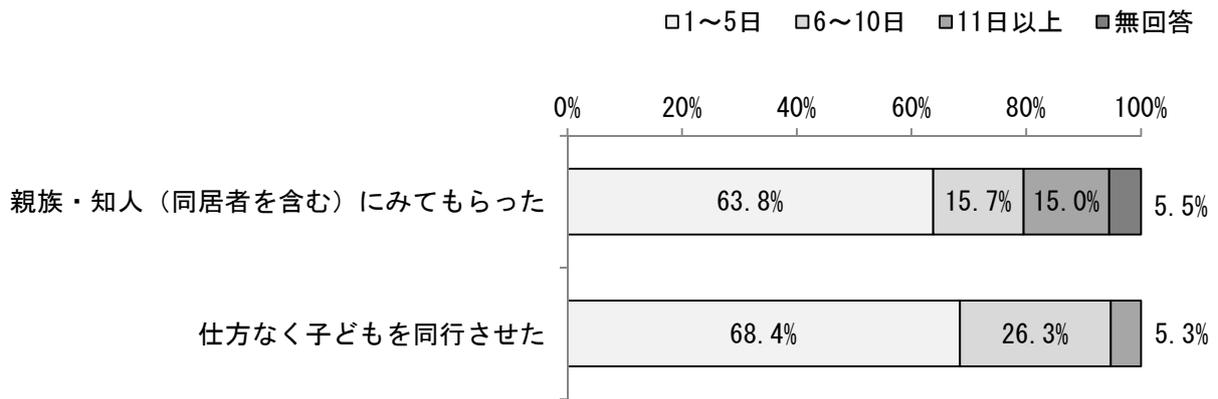
対処した日数については、1～5日が6割以上となっています。



【預けなければならなかった場合の対処方法】

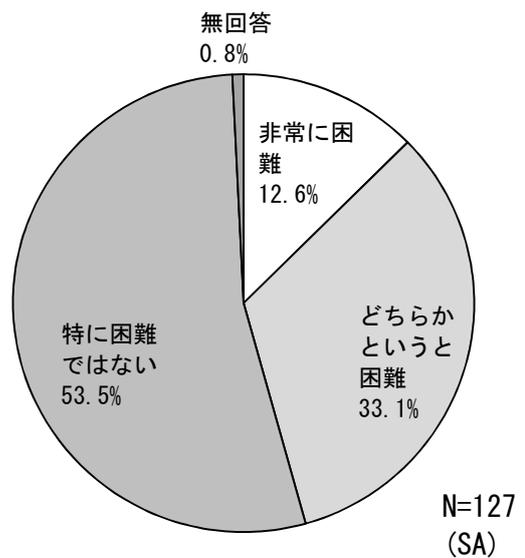


【対処方法と日数】



問 22-1 問 22 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

泊りがけでお子さんを親族・知人に預けなければならなかった場合の困難度については、「非常に困難」と「どちらかという困難」が合わせて 45.7% に対し、「特に困難ではない」が 53.5% となっています。



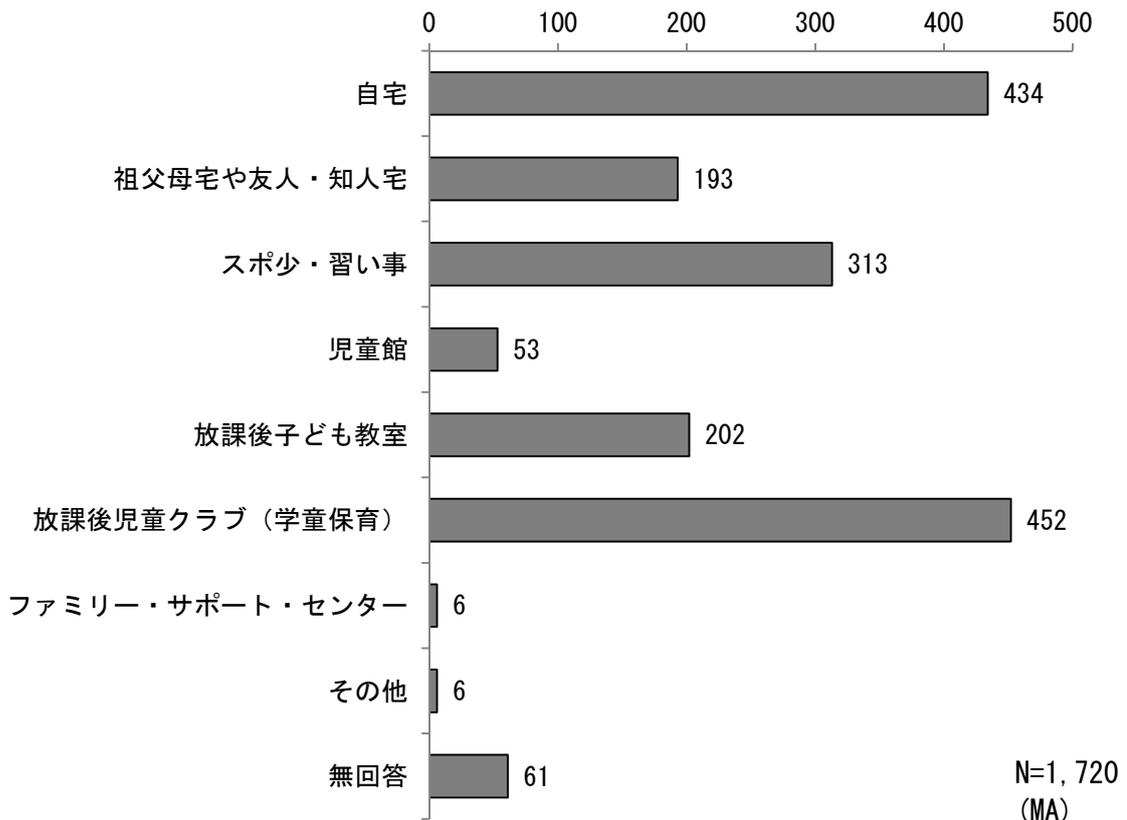
小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

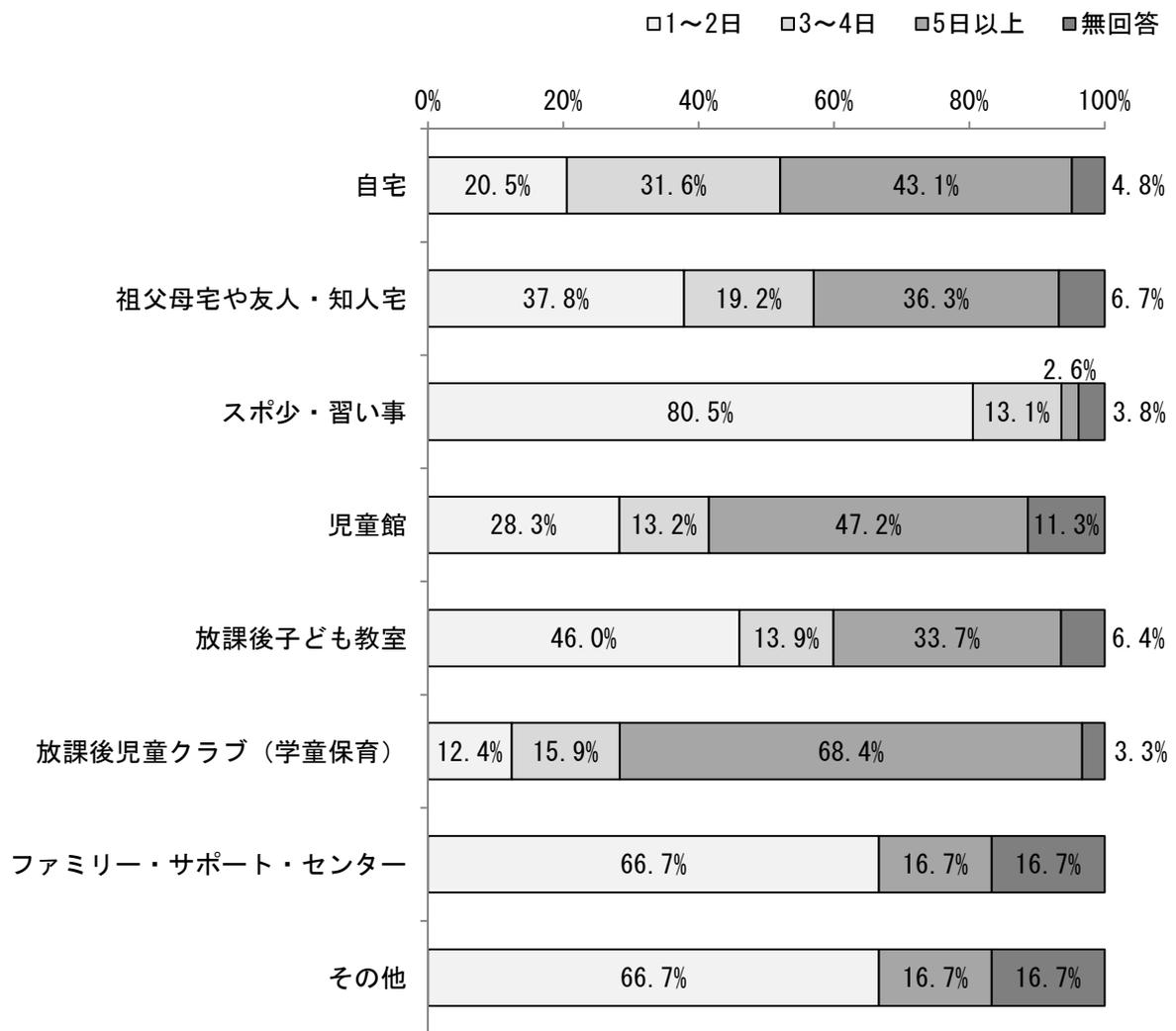
小学校就学後の放課後の過ごし方の希望は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も多く、「自宅」、「スポ少・習い事」と続いています。

1週間のうちの希望日数については、週当たり1～2日の割合が最も多いのが、「スポ少・習い事」となっており、週当たり5日以上割合が最も多かったのが「放課後児童クラブ（学童保育）」となっています。

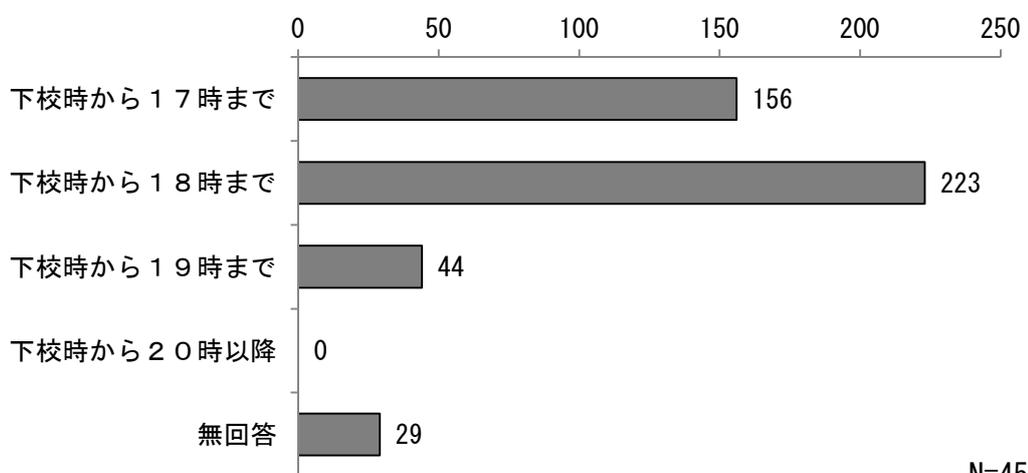
また、放課後児童クラブを希望する場合の利用時間は、「下校時から18時まで」が最も多くなっています。



【放課後の過ごし方の希望日数】



【放課後児童クラブを希望する場合の利用時間】

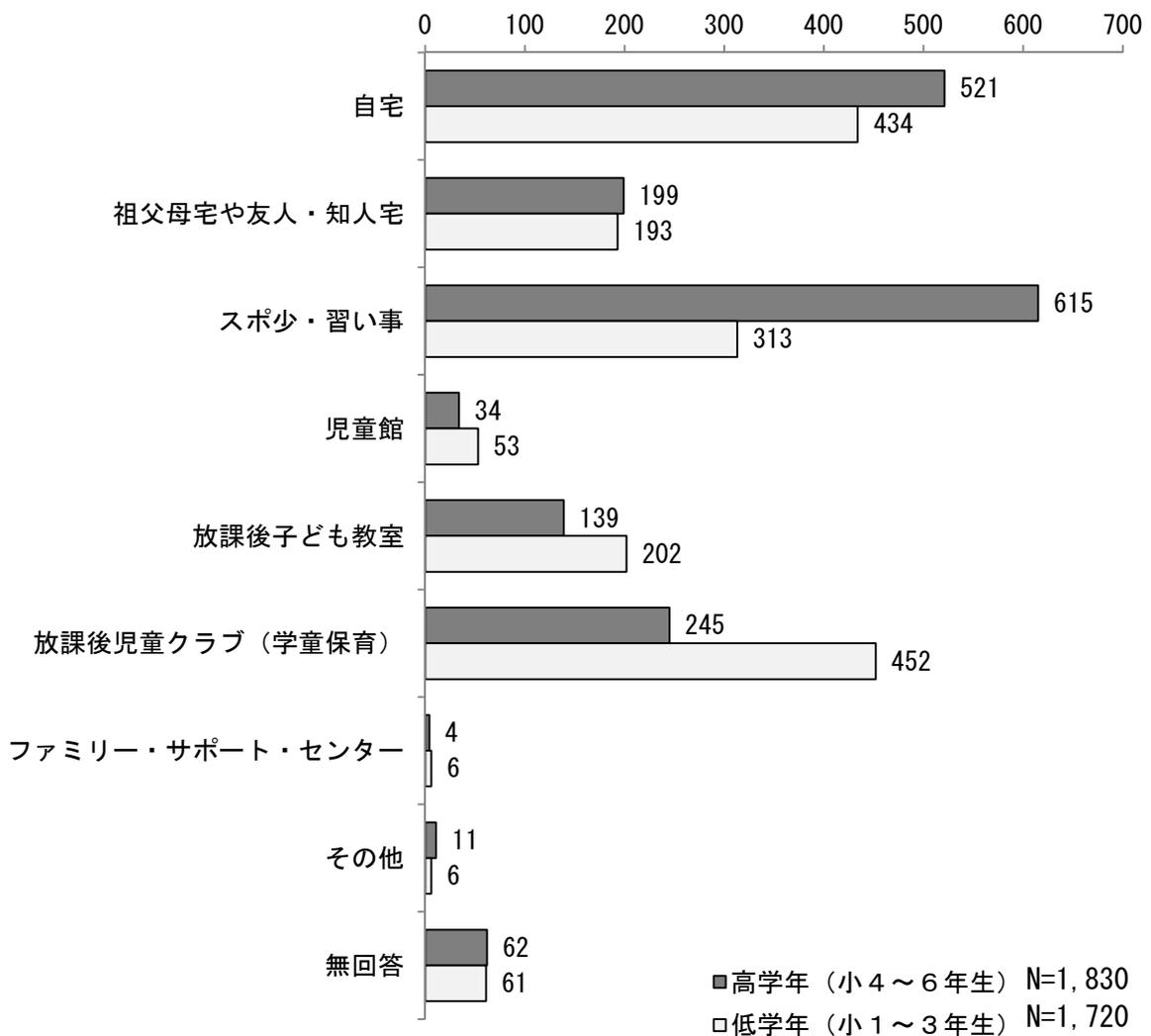


N=452

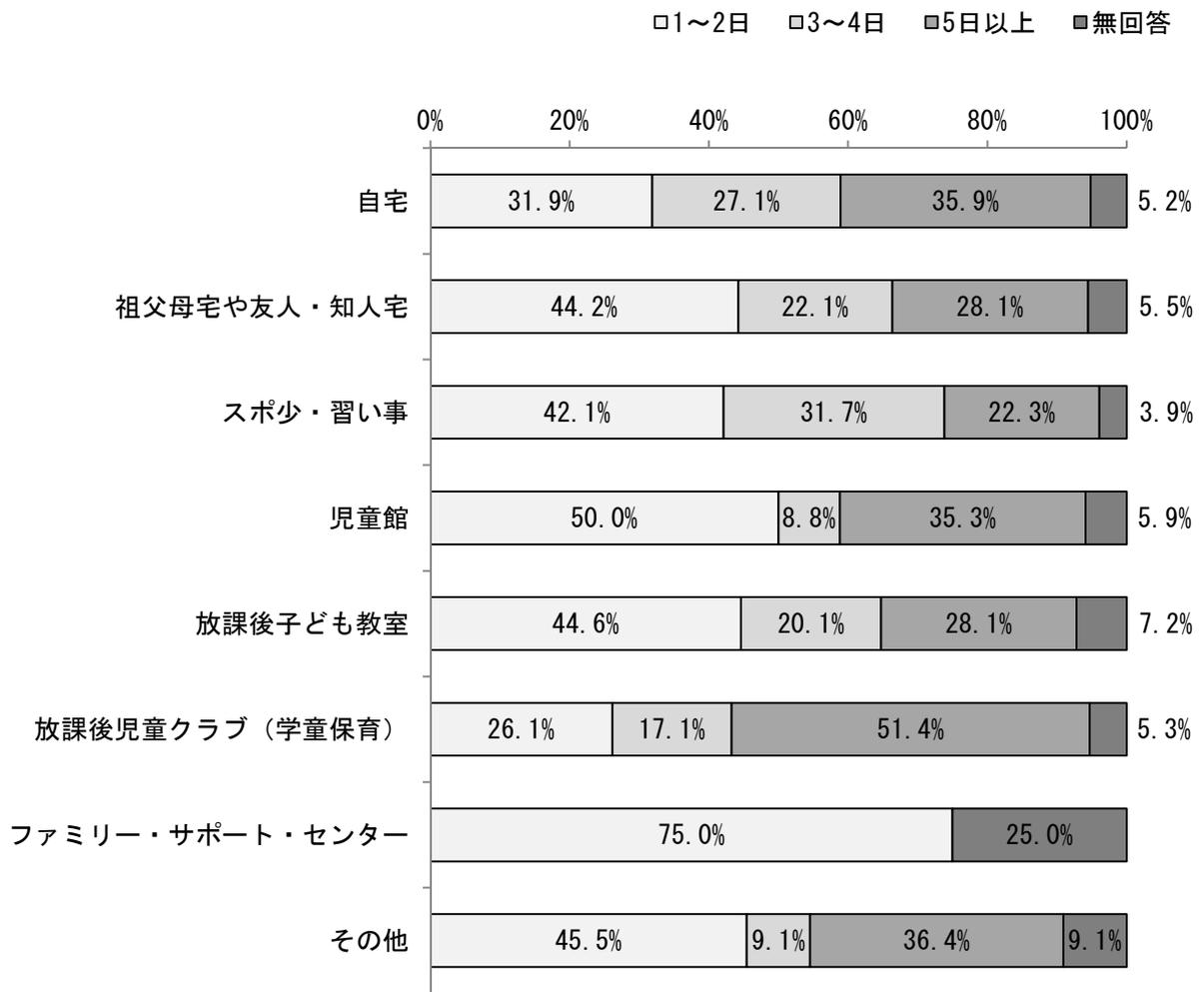
問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になった時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間をご記入ください。

小学4～6年生の高学年になった時の放課後の過ごし方の希望は、「スポ少・習い事」が最も多く、次いで「自宅」となっています。

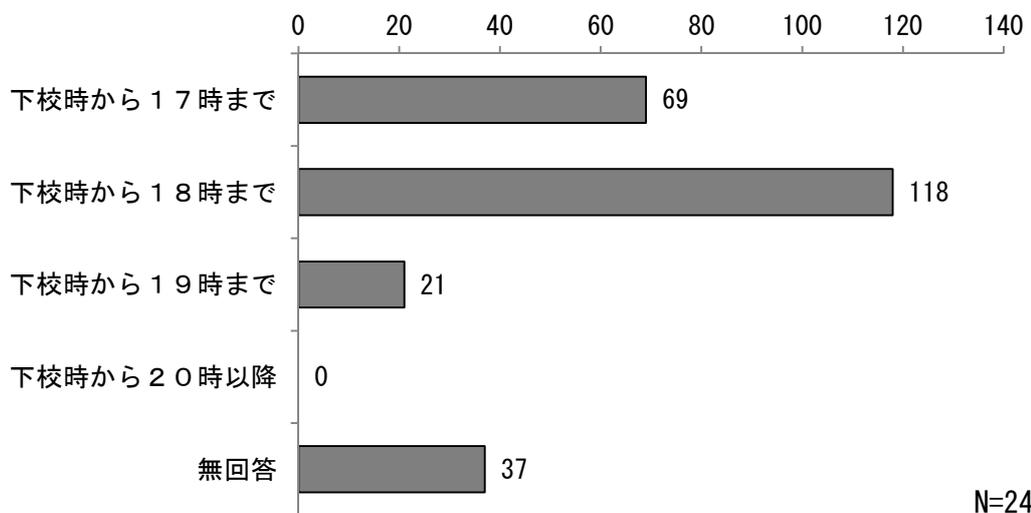
問23の小学校低学年（1～3年生）の時の希望と比較すると、「自宅」や「スポ少・習い事」の回答が増え、反対に「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ（学童保育）」の回答が減っています。



【放課後の過ごし方の希望日数】



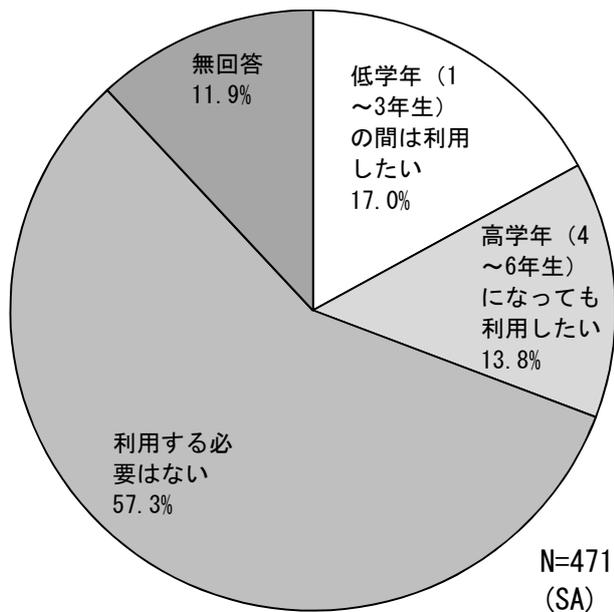
【放課後児童クラブを希望する場合の利用時間】



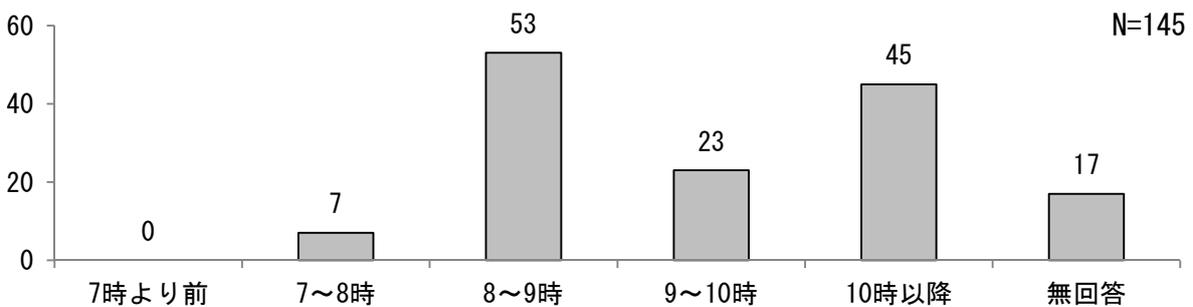
問 25 問 23 または問 24 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が57.3%と最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が17%となっています。

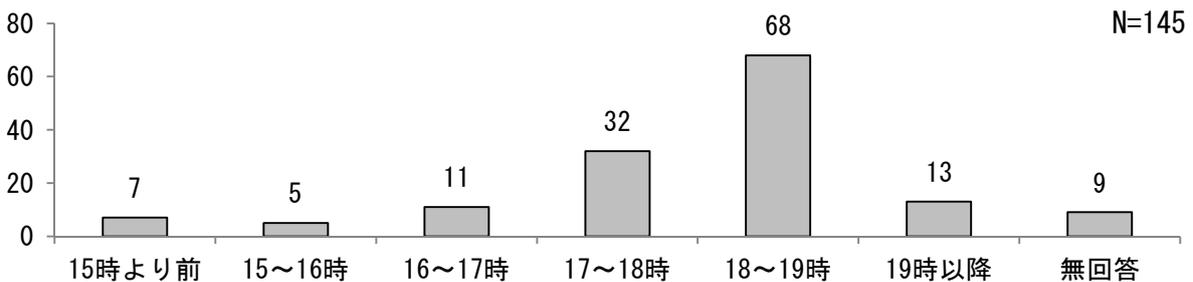
利用したい場合の時間帯では、開始時刻は8～9時が最も多く、終了時刻は18～19時が最も多くなっています。



【利用したい時間帯の開始時刻】



【利用したい時間帯の終了時刻】



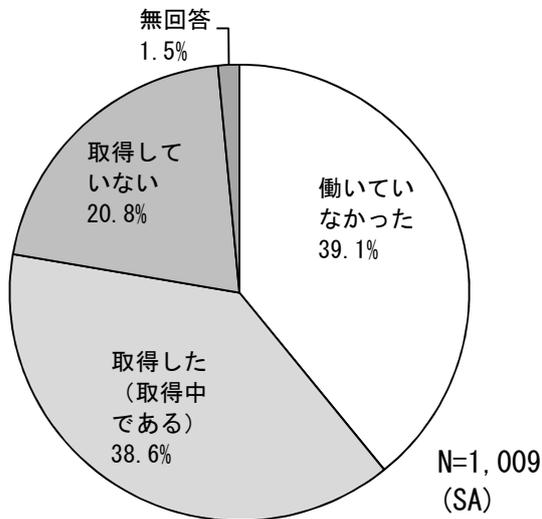
育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問 26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

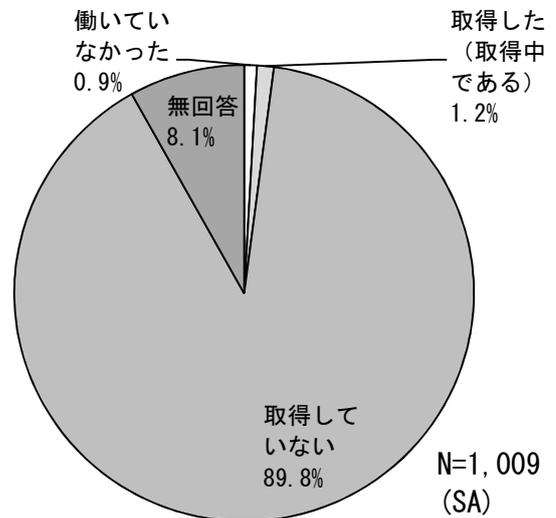
育児休業の所得状況は、母親については、「働いていなかった」が最も多く 39.1% となっており、次いで「取得した（取得中である）」の 38.6% となっています。父親については、9 割近くが「取得していない」となっています。

また、育児休業を取得していない場合の理由については、母親では「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」、「職場に育児休業の制度がなかった」が上位を占めています。父親では、これらに加え、「仕事が忙しかった」、「配偶者が育児休業制度を利用した」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」という理由が多くなっています。

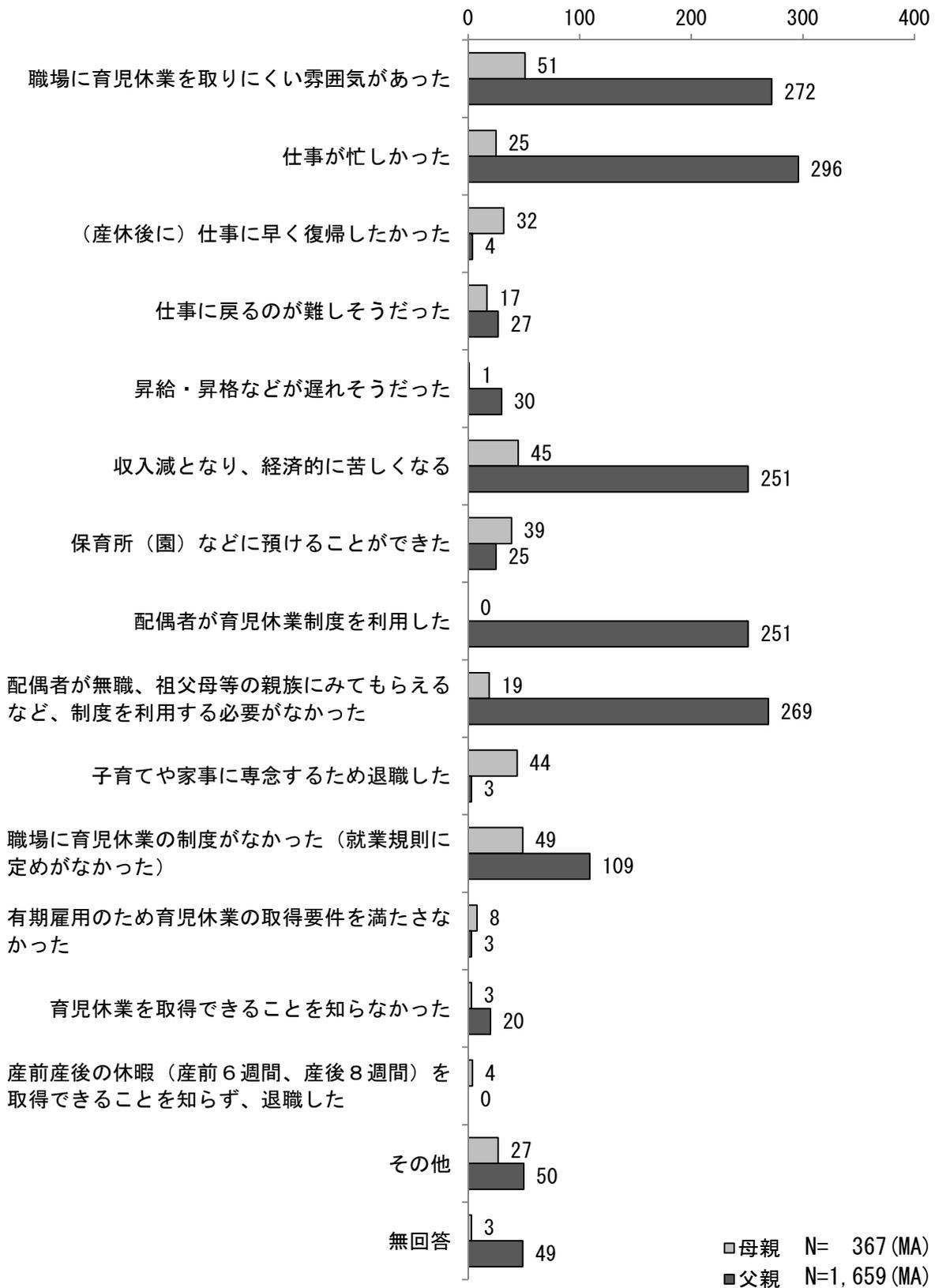
【母親】



【父親】

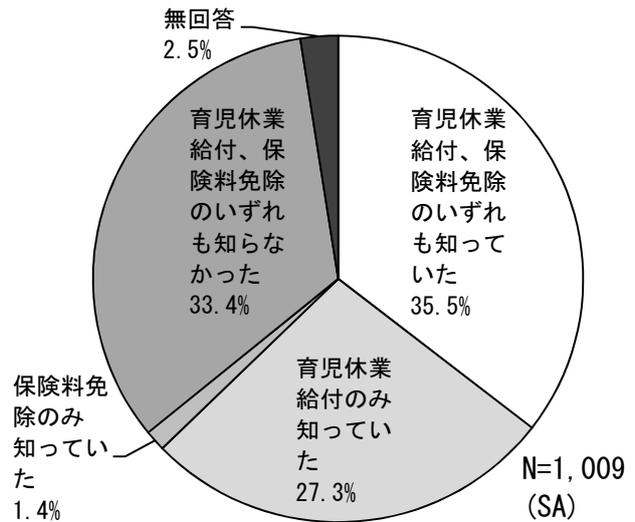


【育児休業を取得していない場合の理由】



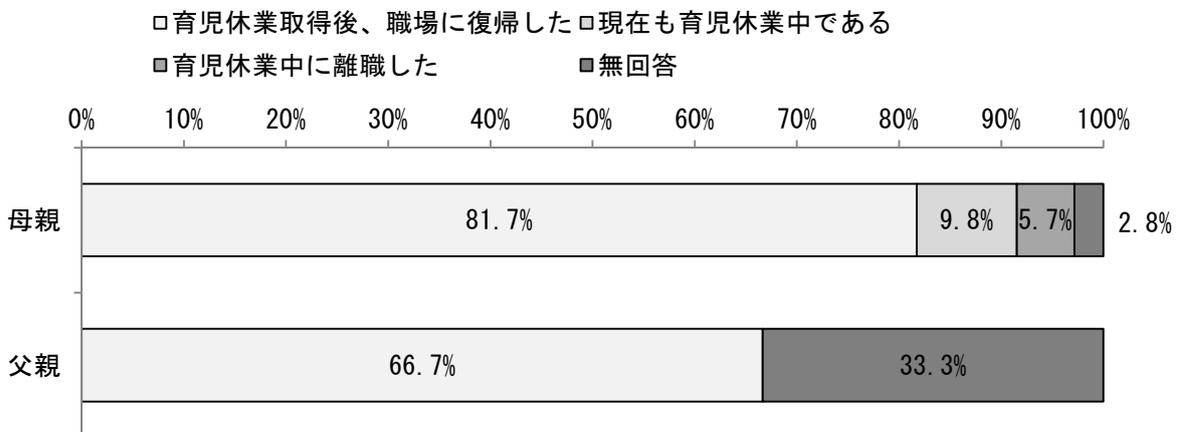
問 26-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 カ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業給付、保険料免除の仕組みについて、「いずれも知っている」が 35.5%となりましたが、「いずれも知らなかった」という回答も 33.4%となっています。



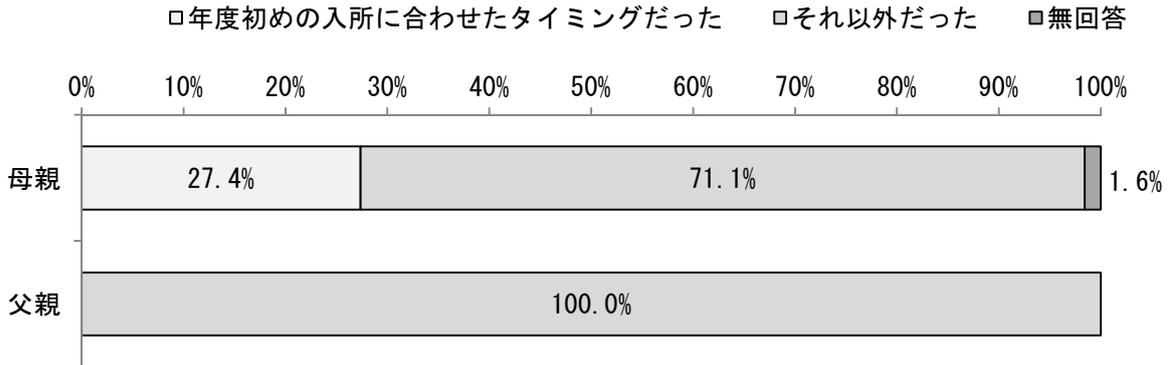
問 26-2 問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場への復帰については、育児休業の取得が多かった母親の場合で、「職場に復帰した」が 8 割以上となっています。



問 26-3 問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

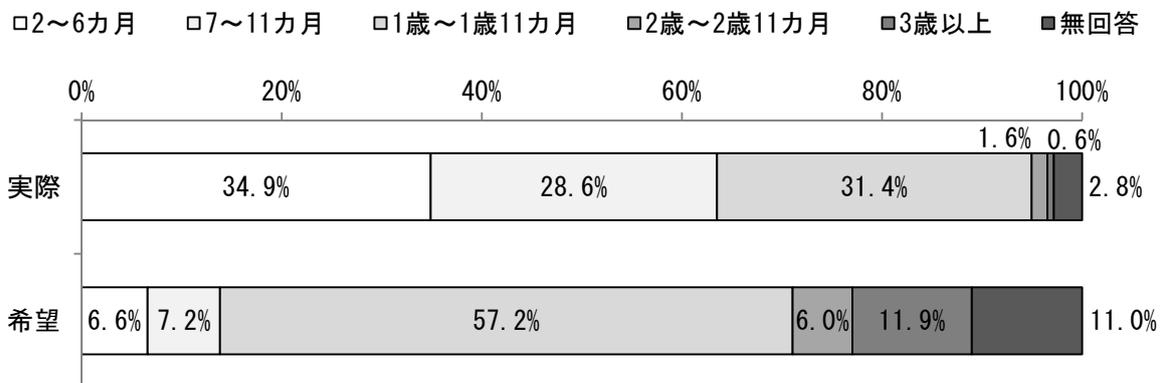
育児休業から職場に復帰したタイミングについて、年度初めの保育所入所に合わせたケースは、母親の 27.4%となっています。



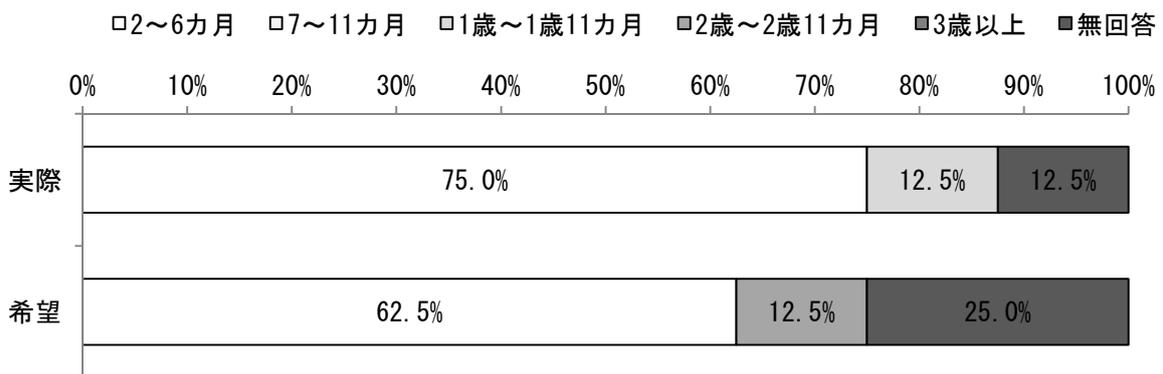
問 26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

育児休業からの職場復帰について、実際の復帰時期と希望の関係は、母親では子どもが1歳～1歳11カ月までの希望が57.2%と最も多くなっていますが、実際の場合には31.4%となっています。父親では、実際と希望がともに2～6カ月で最も多くなっています。

【母親】



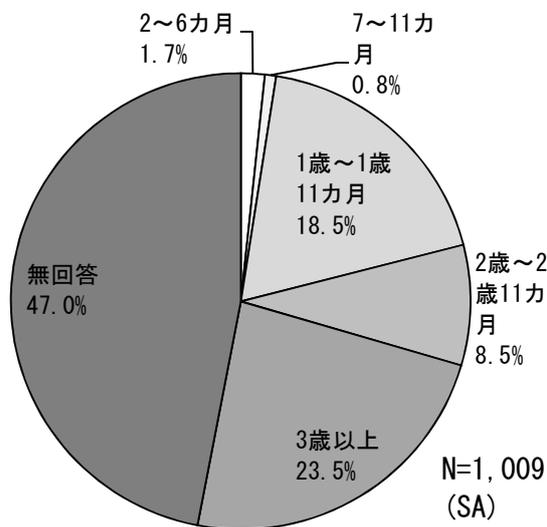
【父親】



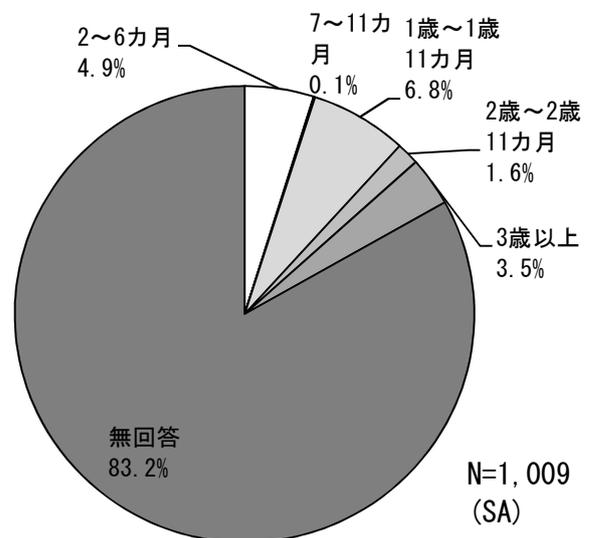
問 26-5 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内にご記入ください。

育児休業の希望について、無回答を除いて最も多かったのは、母親で「3歳以上」の23.5%、父親で「1歳～1歳11ヵ月」の6.8%となっています。

【母親】



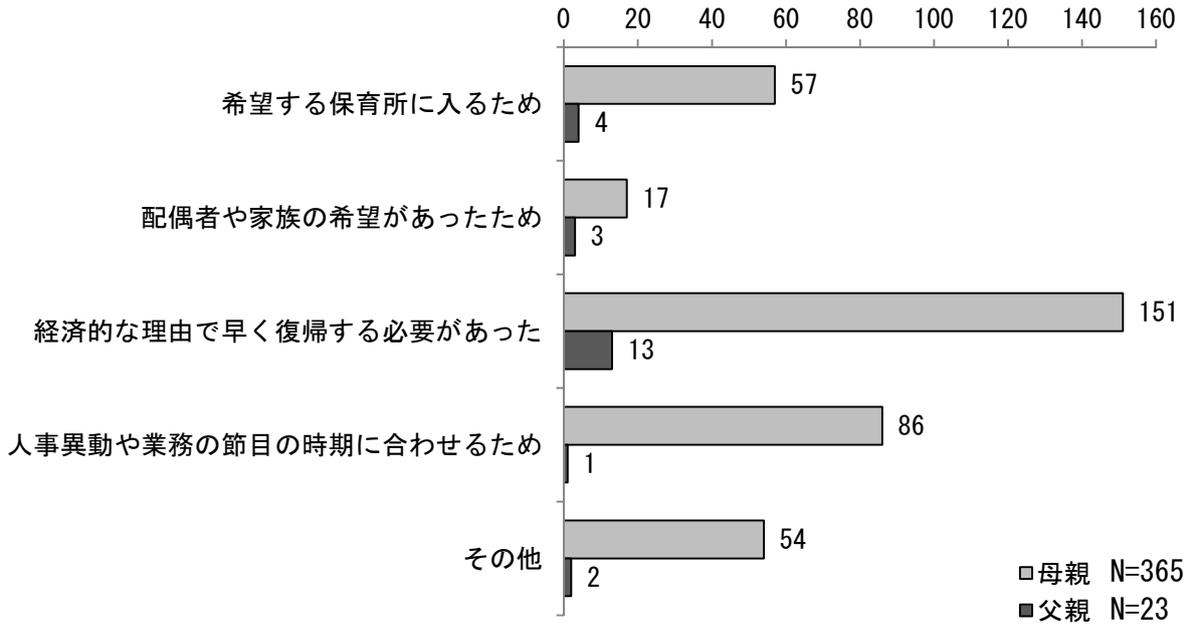
【父親】



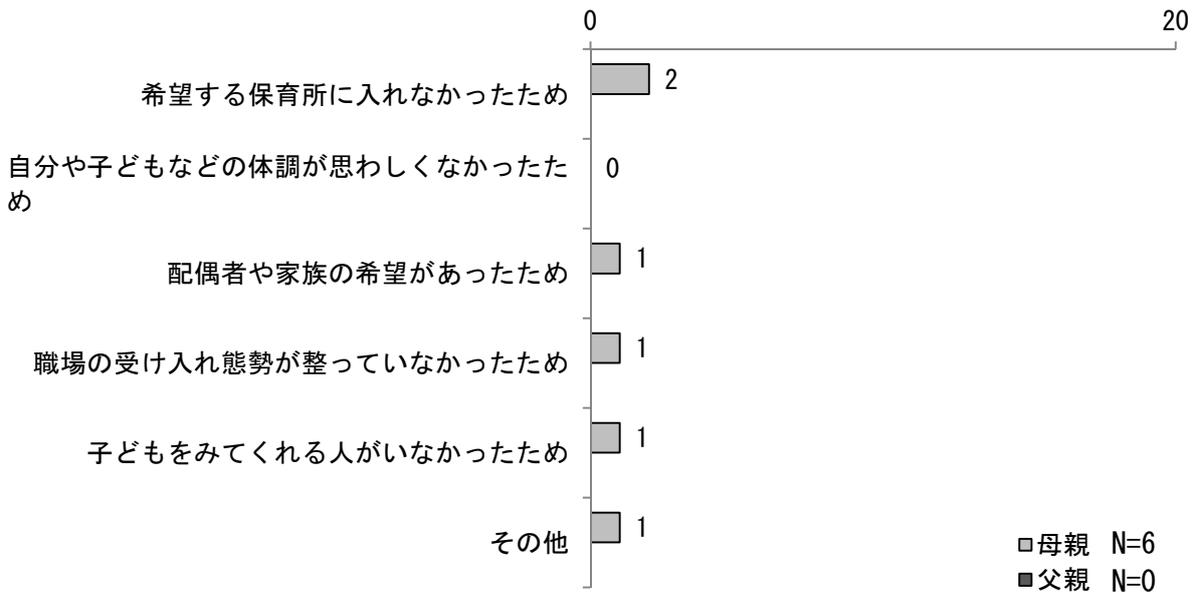
問 26-6 問 26-4 で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

育児休業後、希望の時期に職場復帰しなかった場合で、希望より早く復帰した理由については、父母ともに「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が最も多くなっています。

【希望より早く復帰した方】

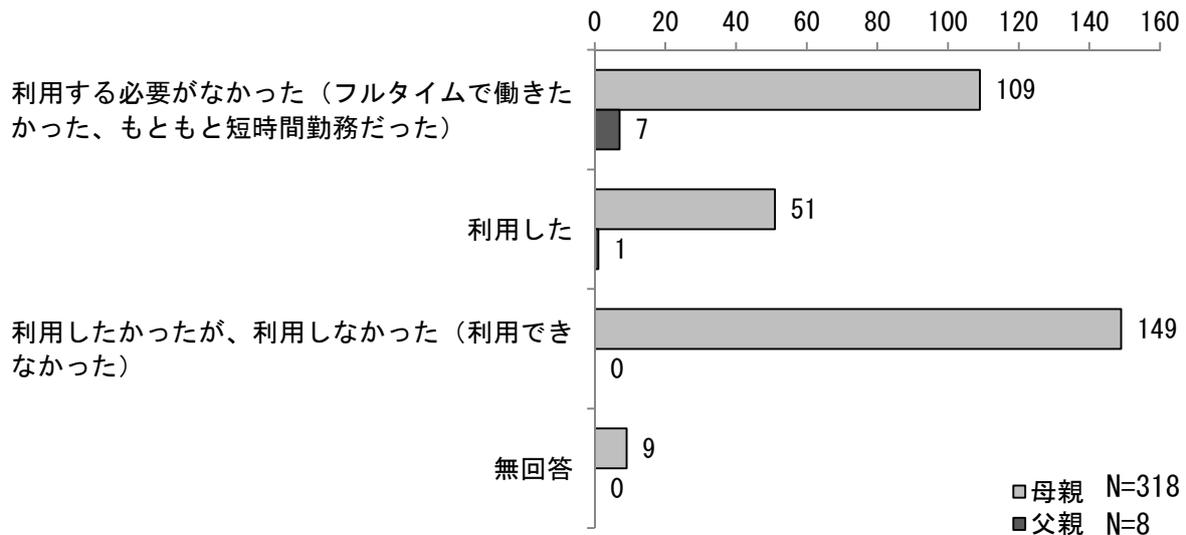


【希望より遅く復帰した方】



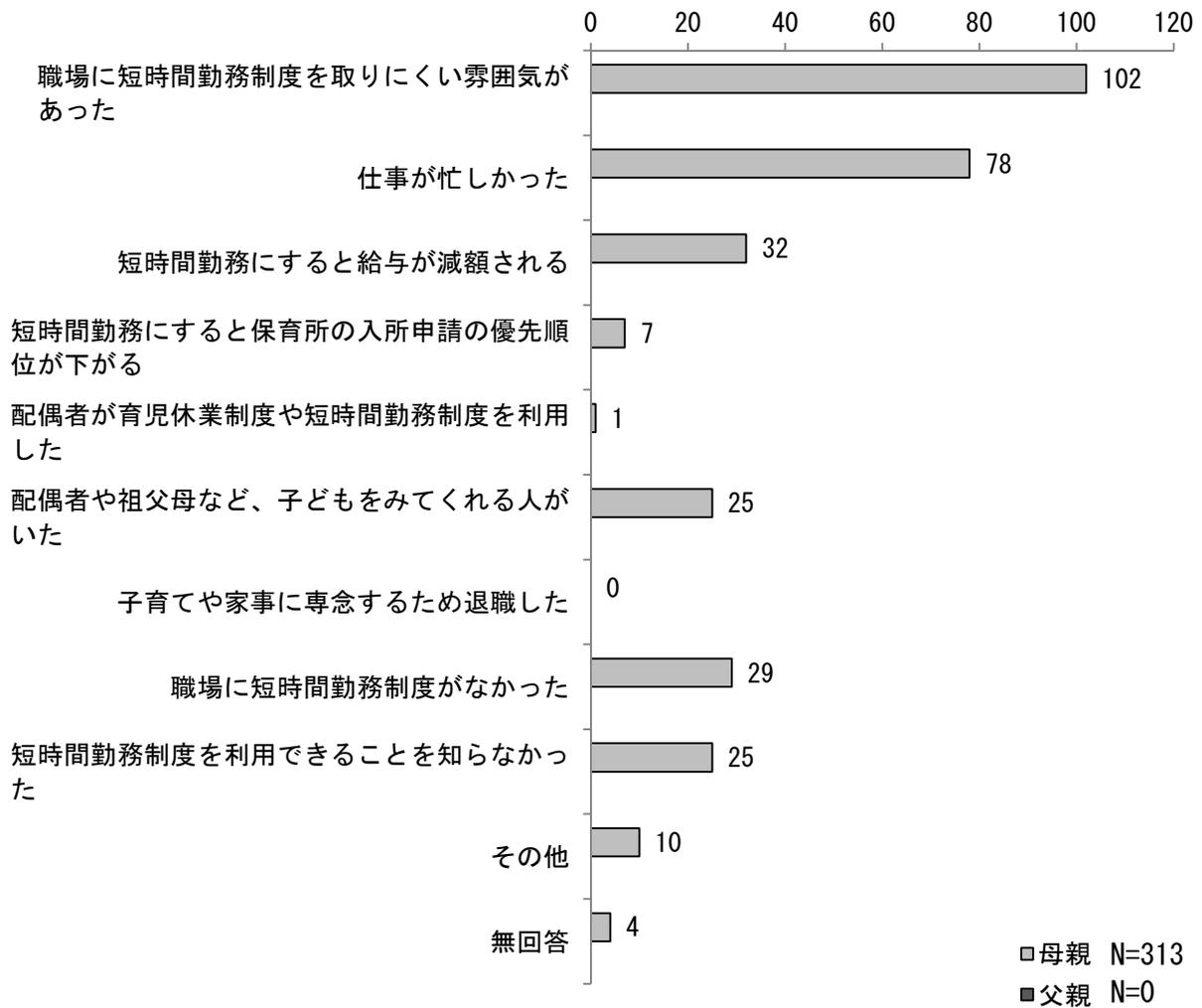
問 26-7 問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかについては、「利用しなかったが、利用しなかった」が最も多く、母親で利用した方は、回答数の 16%程度となっています。



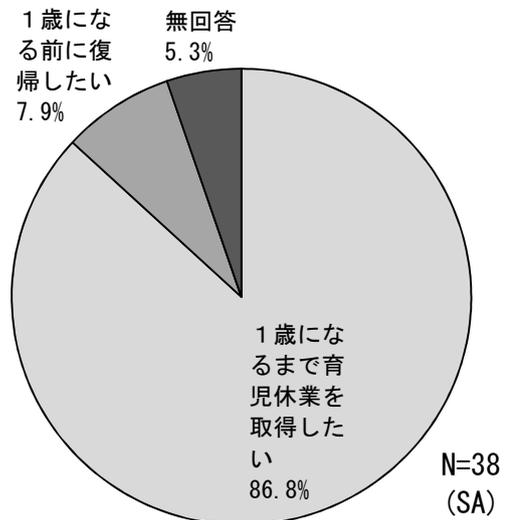
問 26-8 問 26-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にお伺いします。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」となっています。



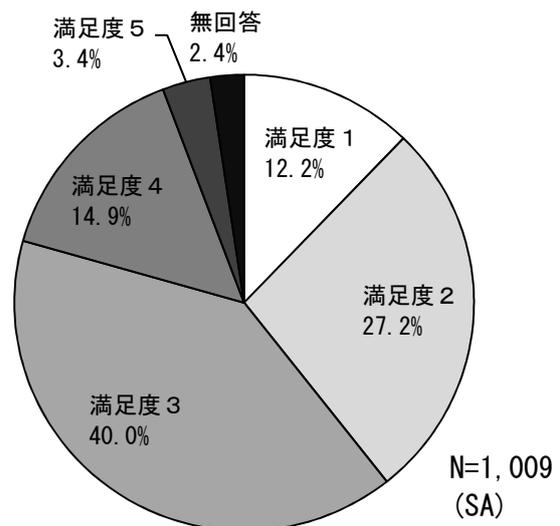
問 26-9 問 26-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1歳になる前に復帰したい」という回答は7.9%に留まり、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が86.8%を占めています。



問 27 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度については、満足度1～2を合わせて39.4%と4割近くが満足度が低いという傾向になっています。また、満足度が高い4～5は、合わせて18.3%と2割を切っています。



3. 就学児童（小学校1～3年生のお子さん）の調査結果

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

回 答	回答数	割合	回 答	回答数	割合
湊城西小学校区	115	16.7%	浅内小学校区	24	3.5%
湊城南小学校区	93	13.5%	崇徳小学校区	3	0.4%
第四小学校区	154	22.3%	鶴形小学校区	9	1.3%
第五小学校区	62	9.0%	常盤小学校区	15	2.2%
向能代小学校区	116	16.8%	二ツ井小学校区	69	10.0%
朴瀬小学校区	4	0.6%	無回答	17	2.5%
竹生小学校区	9	1.3%	合 計	690	100.0%

N=690 (SA)

お子さんとご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

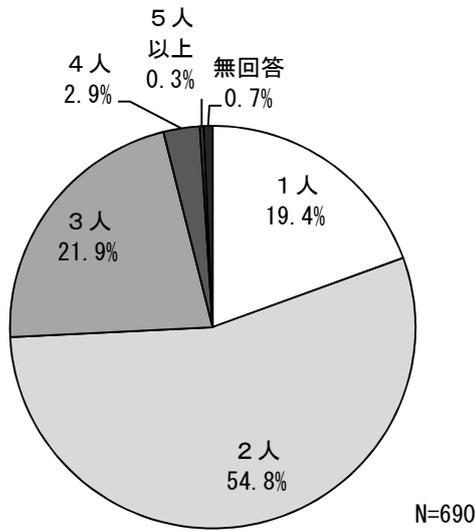
回 答	回答数	割合
16年4月～17年3月（3年生）	220	31.9%
17年4月～18年3月（2年生）	221	32.0%
18年4月～19年3月（1年生）	246	35.7%
無回答、上記以外	3	0.4%
合 計	690	100.0%

N=690

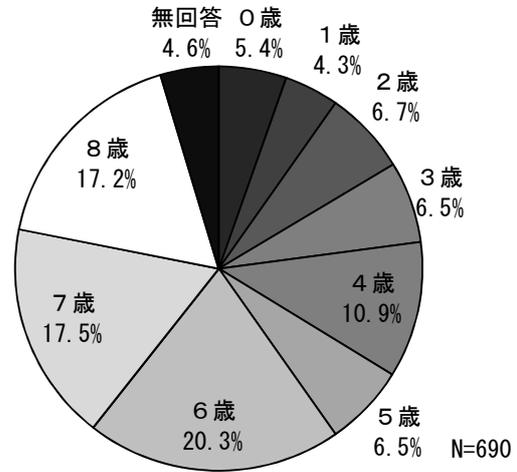
問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

子どもの人数は、「2人」が54.8%と半分以上を占め、次いで「3人」の21.9%、「1人」は19.4%となっています。

【子どもの人数】

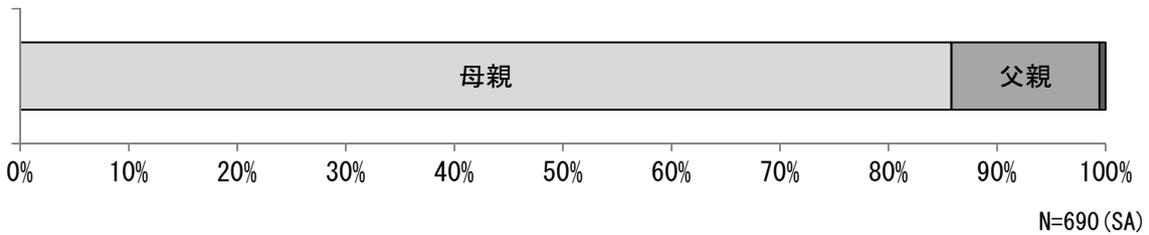


【末子の年齢】



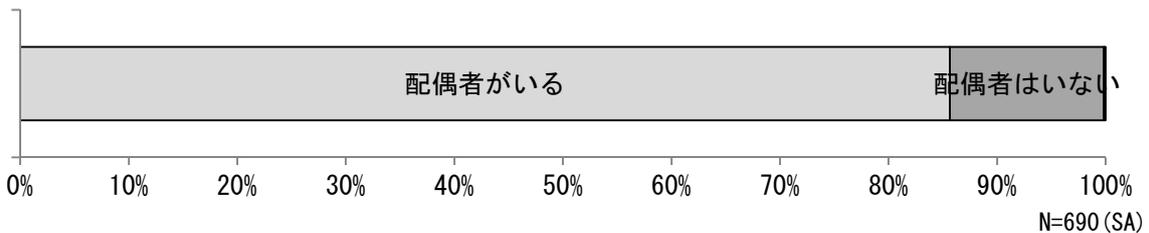
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査に回答していただいた方は、「母親」が最も多く 85.8%となっています。



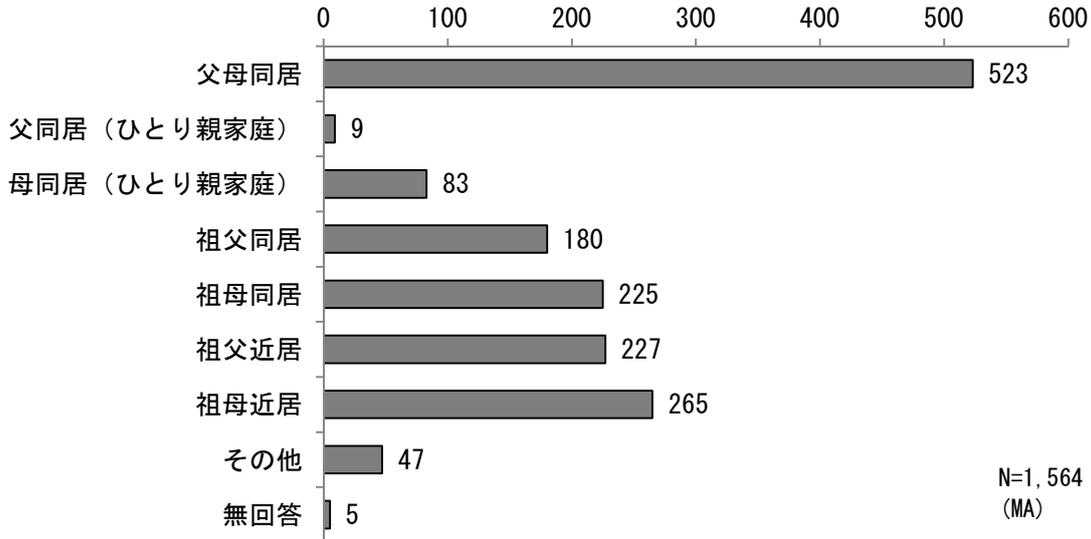
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が 85.7%となっており、14.2%がひとり親世帯となっています。



問6 宛名のお子さんとの同居・近居（おおむね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

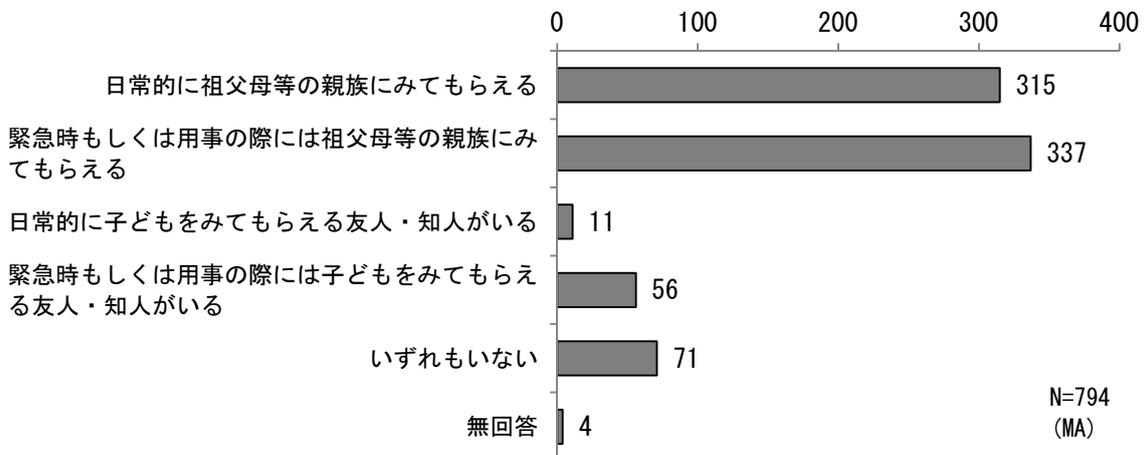
父親、母親以外の同居・近居の状況では、「祖母近居」が最も多く、「祖父近居」、「祖母同居」、「祖父同居」の順に続いています。



子どもの育ちをめぐる環境について

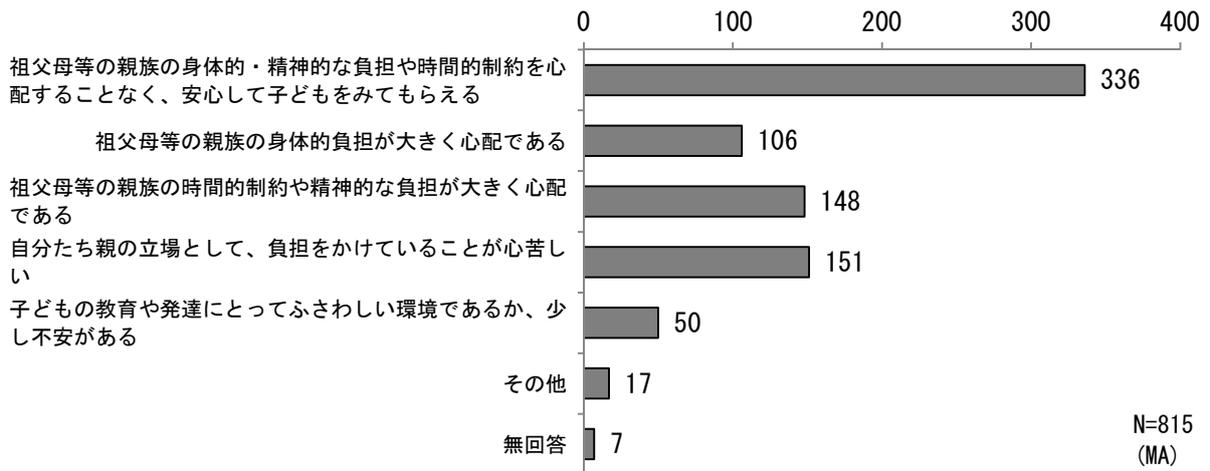
問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」となっています。



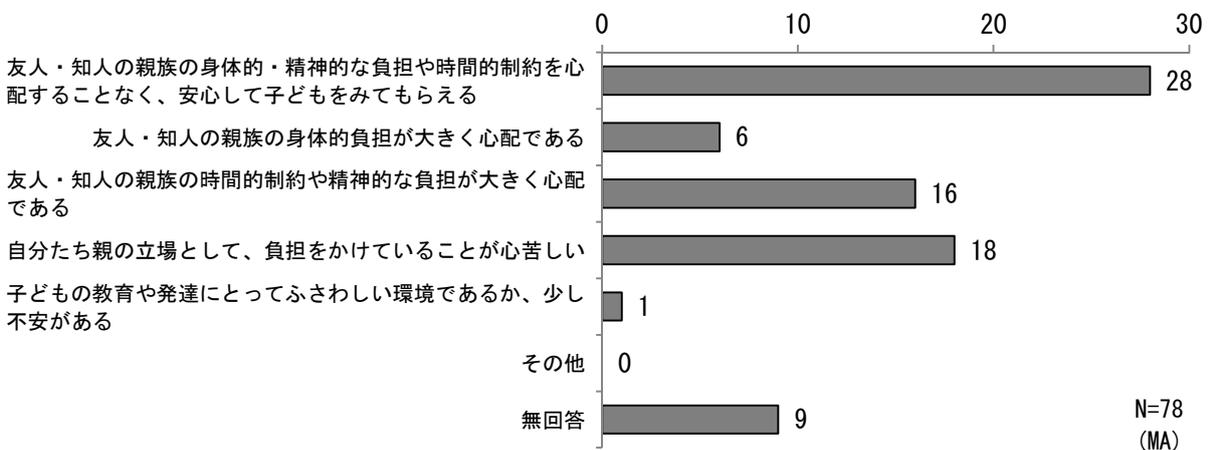
問7-1 問7で「1」または「2」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が同じ位の数で続いています。



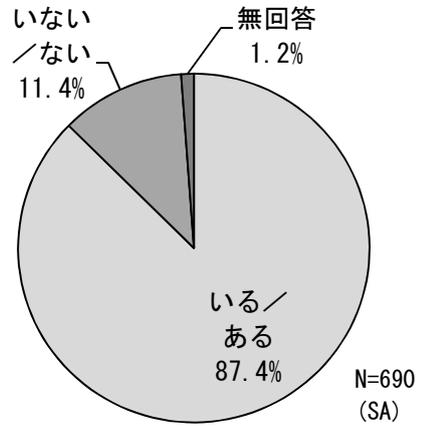
問7-2 問7で「3」または「4」に○をつけた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」、「友人・知人の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が続いています。



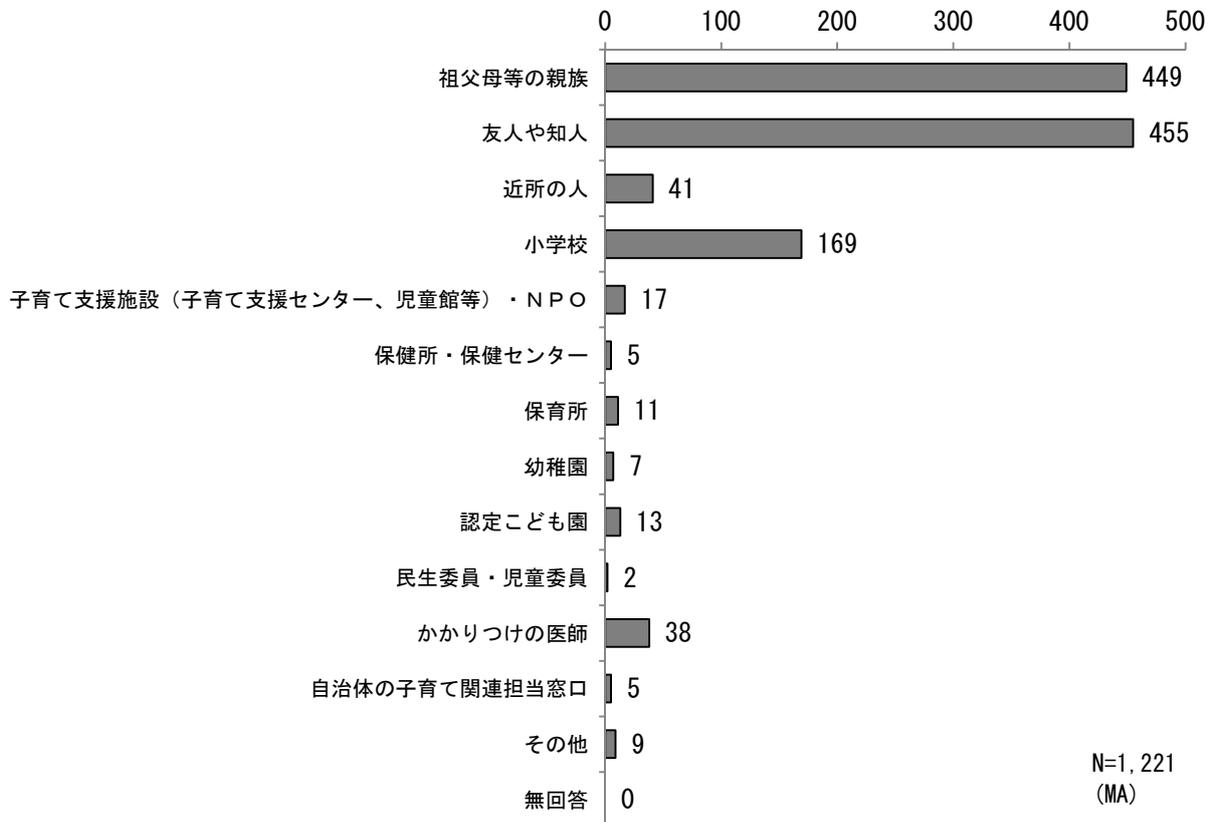
問 8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

相談できる人が「いる」または「ある」という回答が87.4%を占め、「いない」または「ない」という回答は11.4%となっています。



問 8-1 問 8 で「1. いる／ある」に○をつけた方に伺います。相談先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

最も多かったのが「友人や知人」となり、次いで「祖父母等の親族」となっています。この2つで回答数の74%を占めています。



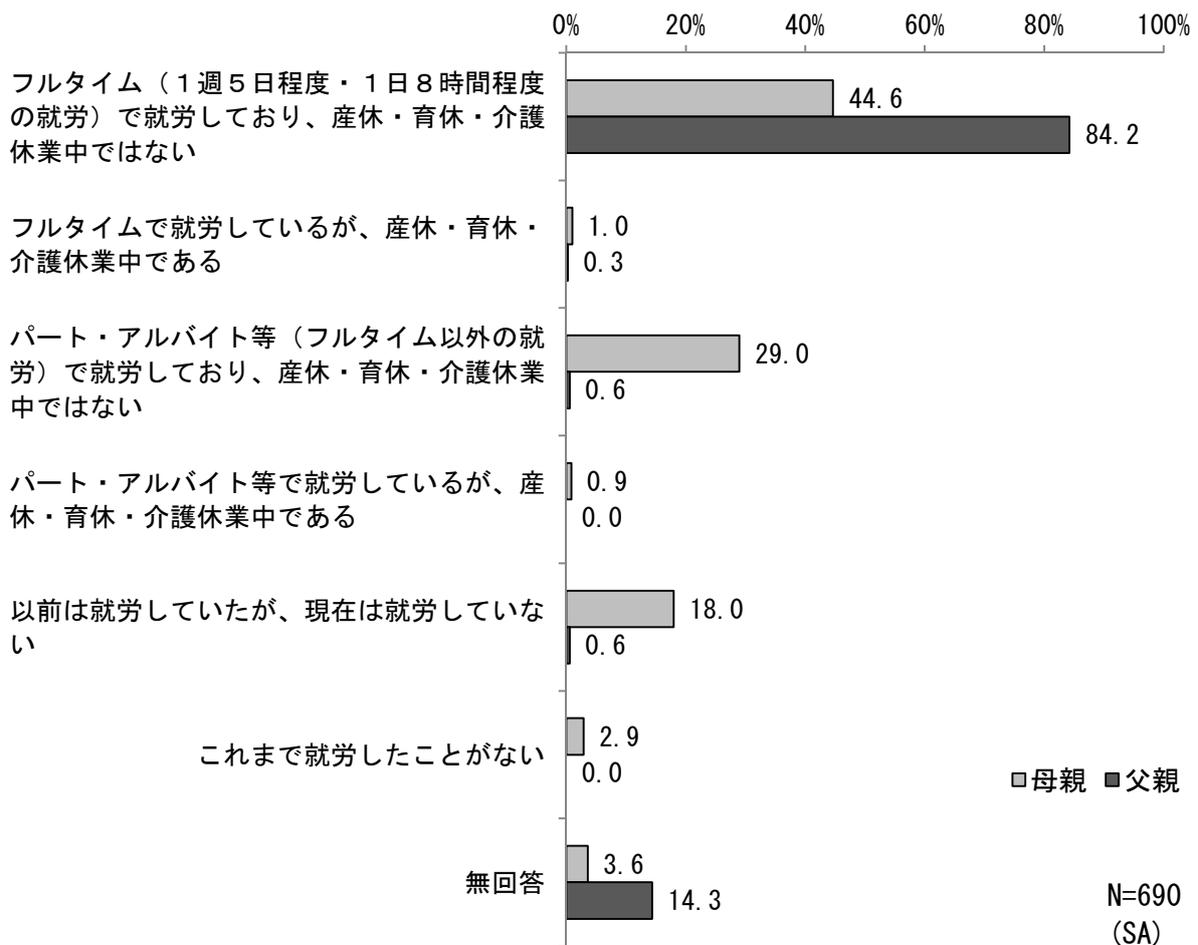
母親・父親の就労状況について

問9 宛名のお子さんの母親・父親の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

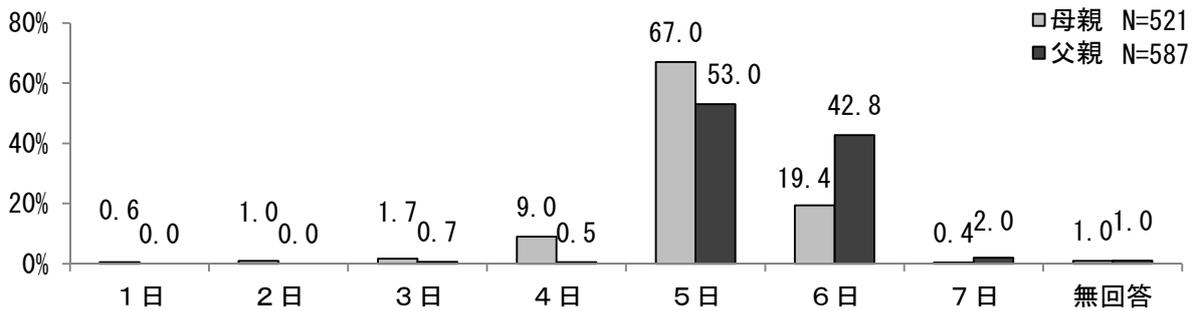
母親の就労状況は、最も多かったのはフルタイムで44.6%でしたが、パート・アルバイト就労も3割近くとなっており、就労していない方については2割となっています。就労している方については、1週当たり5日、1日当たり7～8時間の勤務が最も多くなっています。

父親の就労状況については、8割以上がフルタイム就労となっており、1週当たり5～6日、1日当たり7～10時間勤務が多くなっています。また、半数近くが午後7時以降の帰宅となっています。

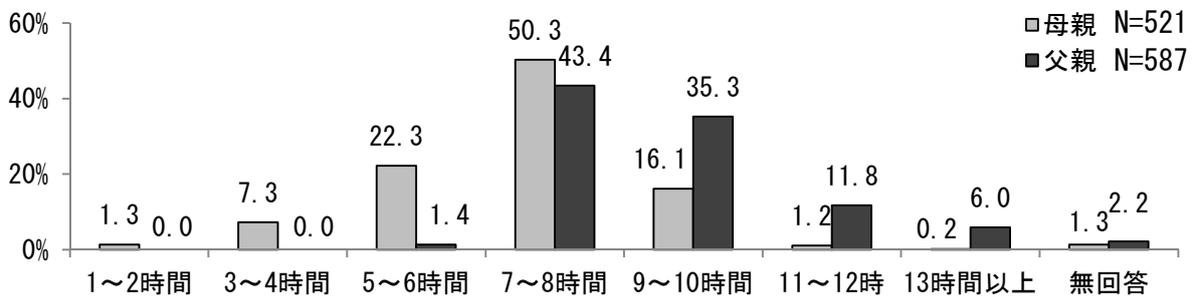
【就労状況】



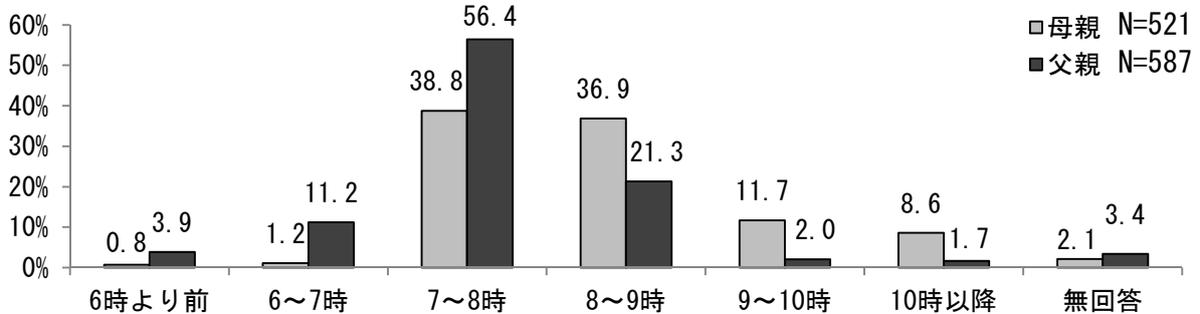
【1週当たりの就労日数】



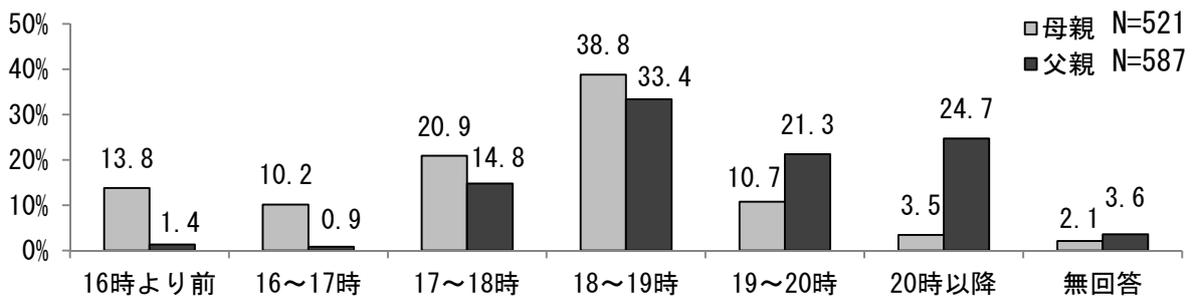
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時刻】



【帰宅する時刻】



※夜勤明け等の午前中の帰宅は 20:00 以降に含める。

<父親と母親を合わせた世帯の就労状況>

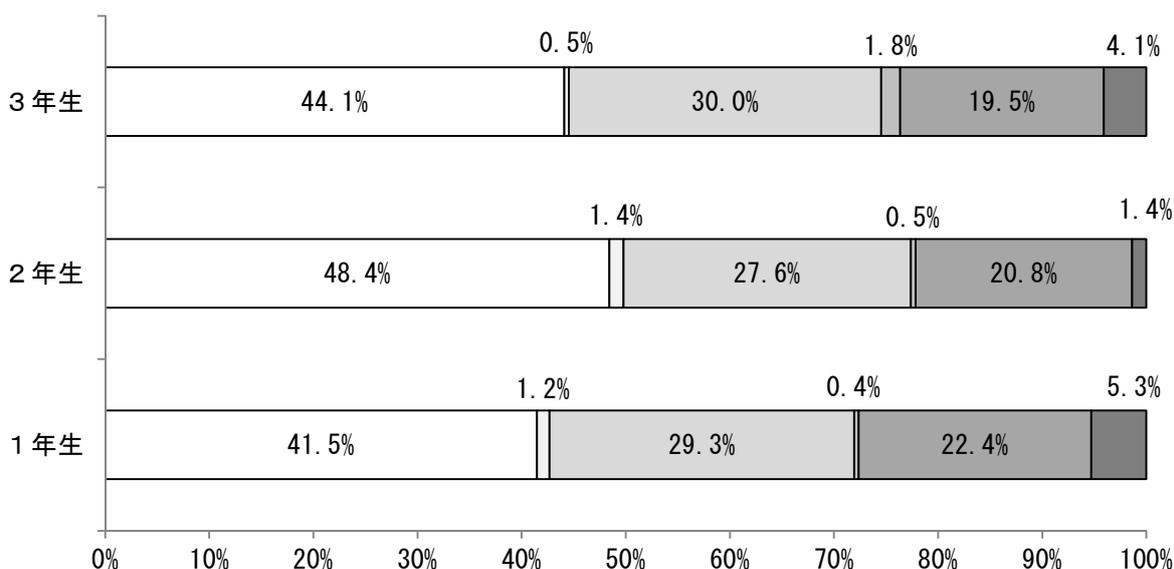
父親と母親の就労状況から、対象世帯の就労状況を区分分けすると、両親ともにフルタイムの共働き世帯は37.1%となっています。また、両親のいずれか一方または両親ともパートタイム等で就労している世帯も含めると、63.6%が共働き世帯となっています。

父親 \ 母親	フルタイム	パートタイム等	就労していない	無回答	合計
フルタイム	256 (37.1%)	179 (25.9%)	137 (19.9%)	11 (1.6%)	583 (84.5%)
パートタイム等	2 (0.3%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
就労していない	2 (0.3%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
無回答	55 (8.0%)	24 (3.5%)	6 (0.9%)	14 (2.0%)	99 (14.3%)
合計	315 (45.7%)	206 (29.9%)	144 (20.9%)	25 (3.6%)	690 (100%)

<子どもの年齢と母親の就労状況>

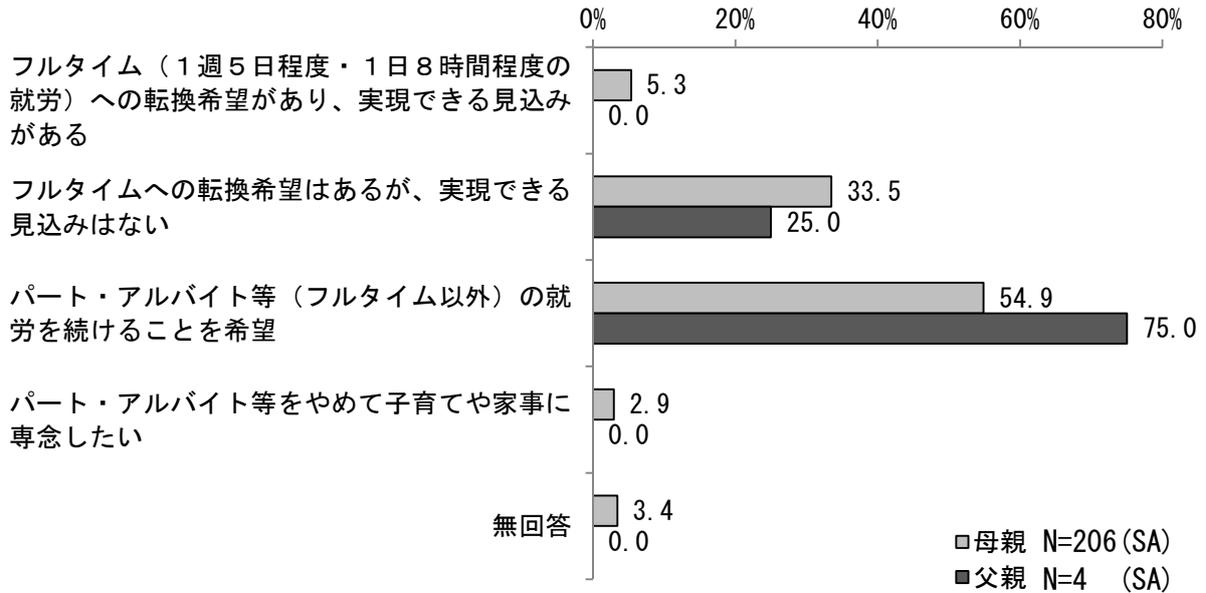
産休・育休中も含めた子どもの年齢別の母親の就労割合は、1～3年生までのすべての学年で7割を超えています。

- フルタイム
- フルタイム (育休・産休中)
- パートタイム等
- パートタイム等 (育休・産休中)
- 就労していない
- 無回答



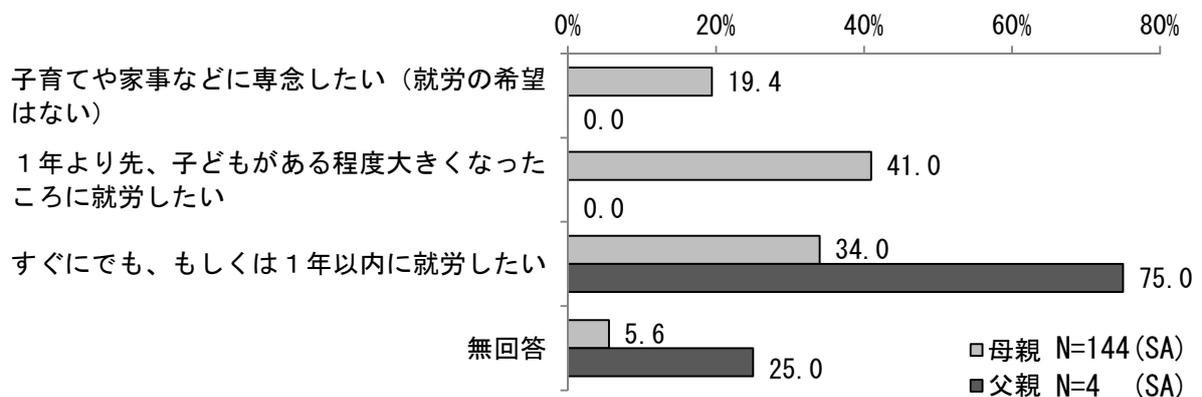
問10 問9で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在、パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望について、母親は、半分以上の53.2%がパート・アルバイト等続けることを希望するとなっています。また、転換希望はあるが実現できる見込みはないが3割となっています。

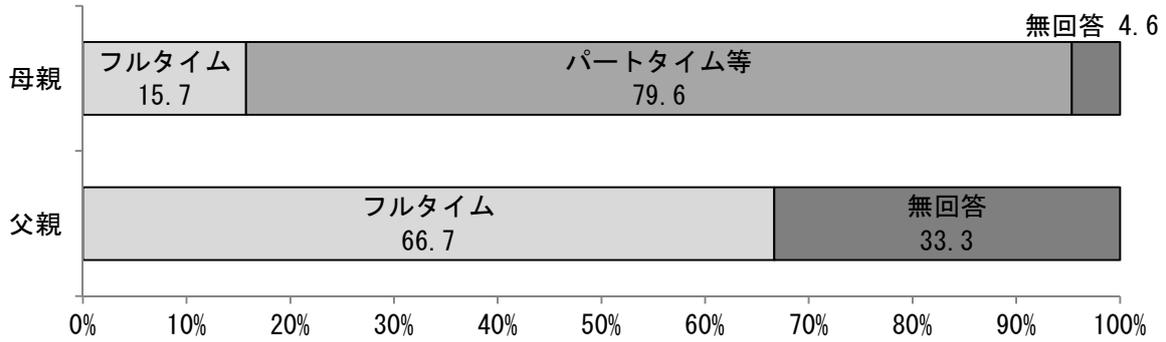


問11 問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

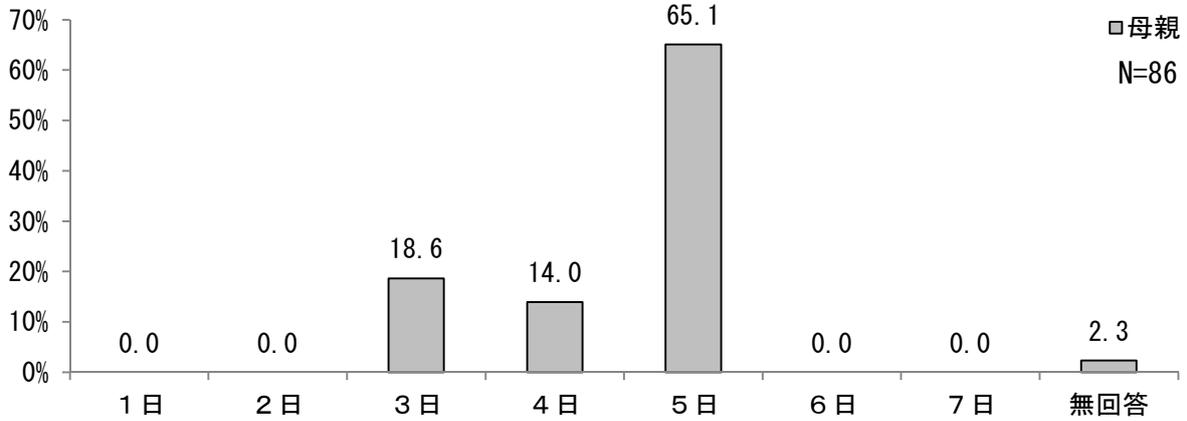
今後の就労希望については、就労を希望する母親が合わせて75%となっています。また、就労したい場合の希望する就労形態は、パートタイム就労等が79.6%と多くなっています。



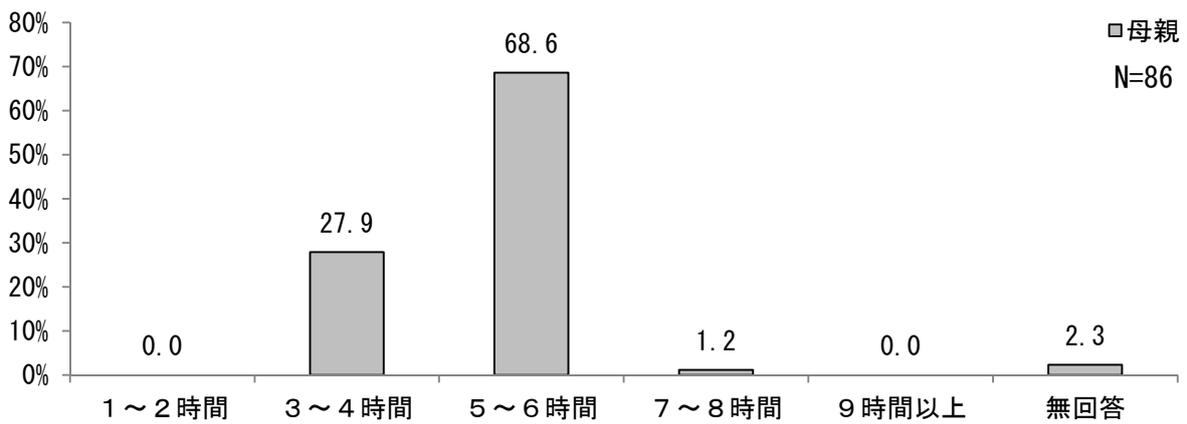
【就労したい場合の希望する就労形態】



【パートタイム等を希望する場合の1週当たり就労日数】



【パートタイム等を希望する場合の1日当たり就労時間】



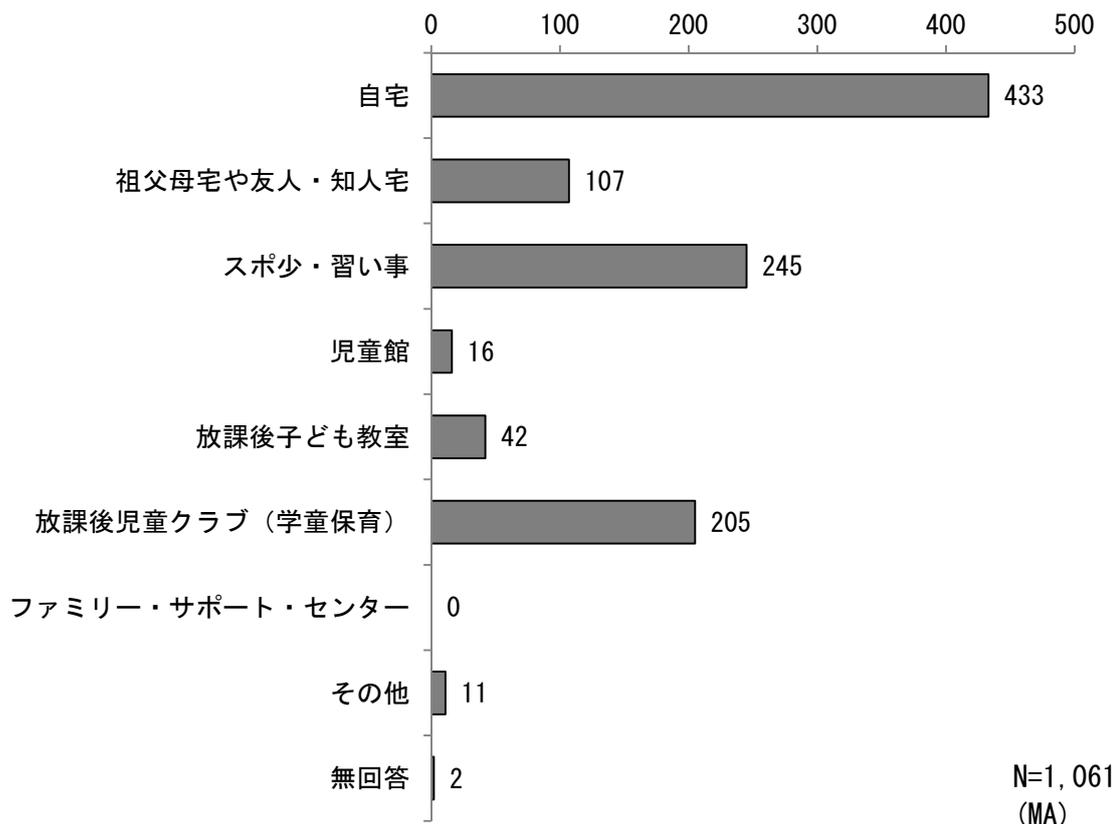
小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 12 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用している時間も数字でご記入ください。

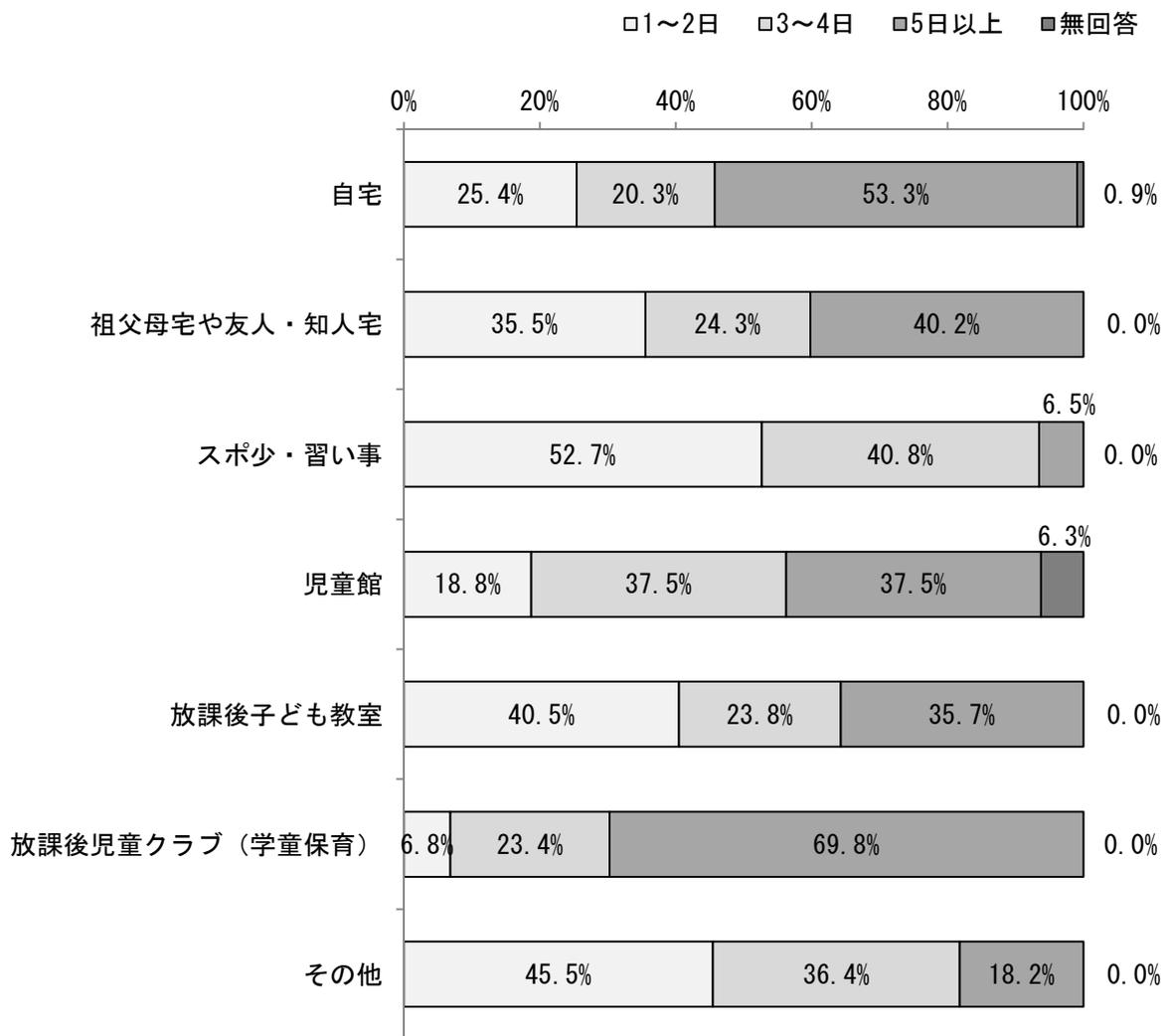
現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が最も多く、「スポ少・習い事」、「放課後児童クラブ（学童保育）」と続いています。

1週間のうちの希望日数については、週当たり1～2日の割合が最も多いのが、「スポ少・習い事」となっており、週当たり5日以上割合が最も多かったのが「放課後児童クラブ（学童保育）」となっています。

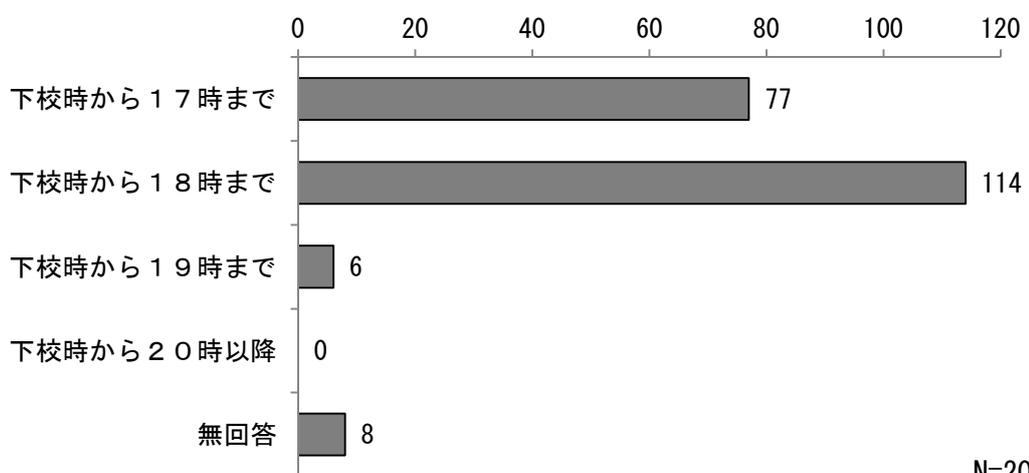
また、放課後児童クラブを希望する場合の利用時間は、「下校時から18時まで」が最も多くなっています。



【放課後の過ごし方の希望日数】



【放課後児童クラブを希望する場合の利用時間】

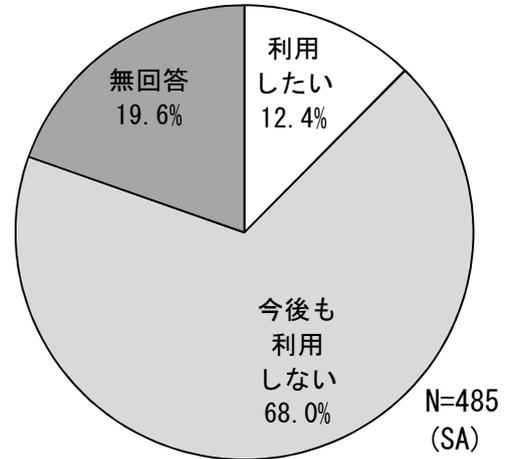


N=205

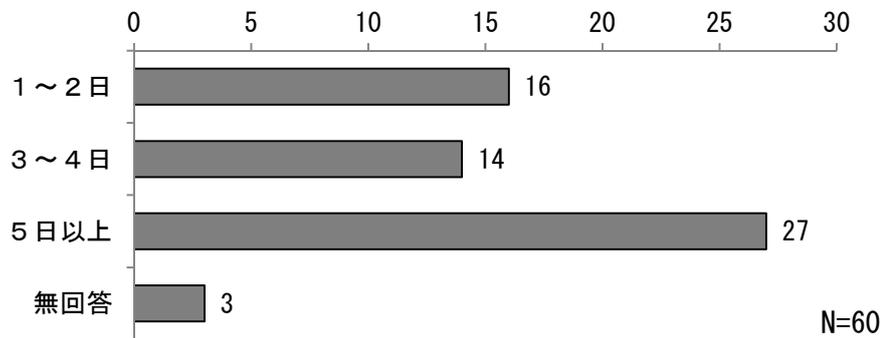
問 12-1 問 12 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」を利用していない方にお伺いします。宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、週当たり日数と利用時間も数字でご記入ください。

放課後児童クラブを利用していない場合の利用希望については、「利用したい」が 12.4% に留まり、「今後も利用しない」が 68% になっています。

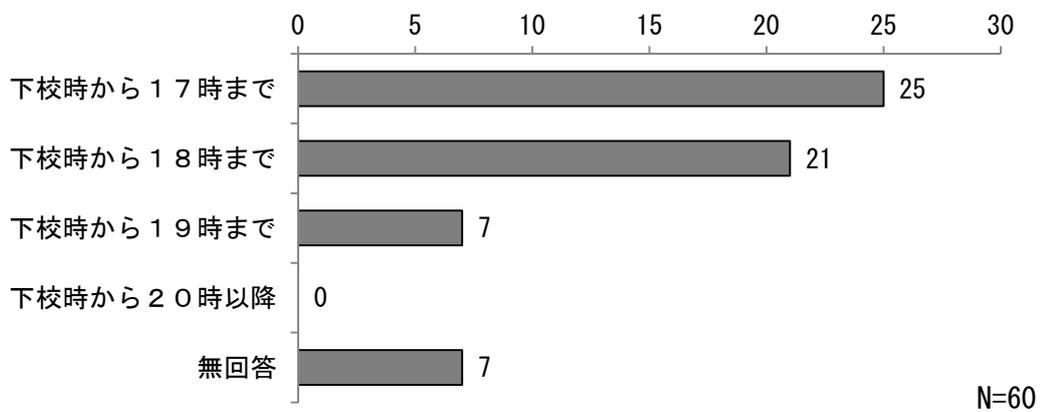
利用したい場合の週当たり日数は「5 日以上」が最も多く、利用時間の希望は、「下校時から 17 時」までが最も多くなっています。



【利用したい場合の週当たり日数】



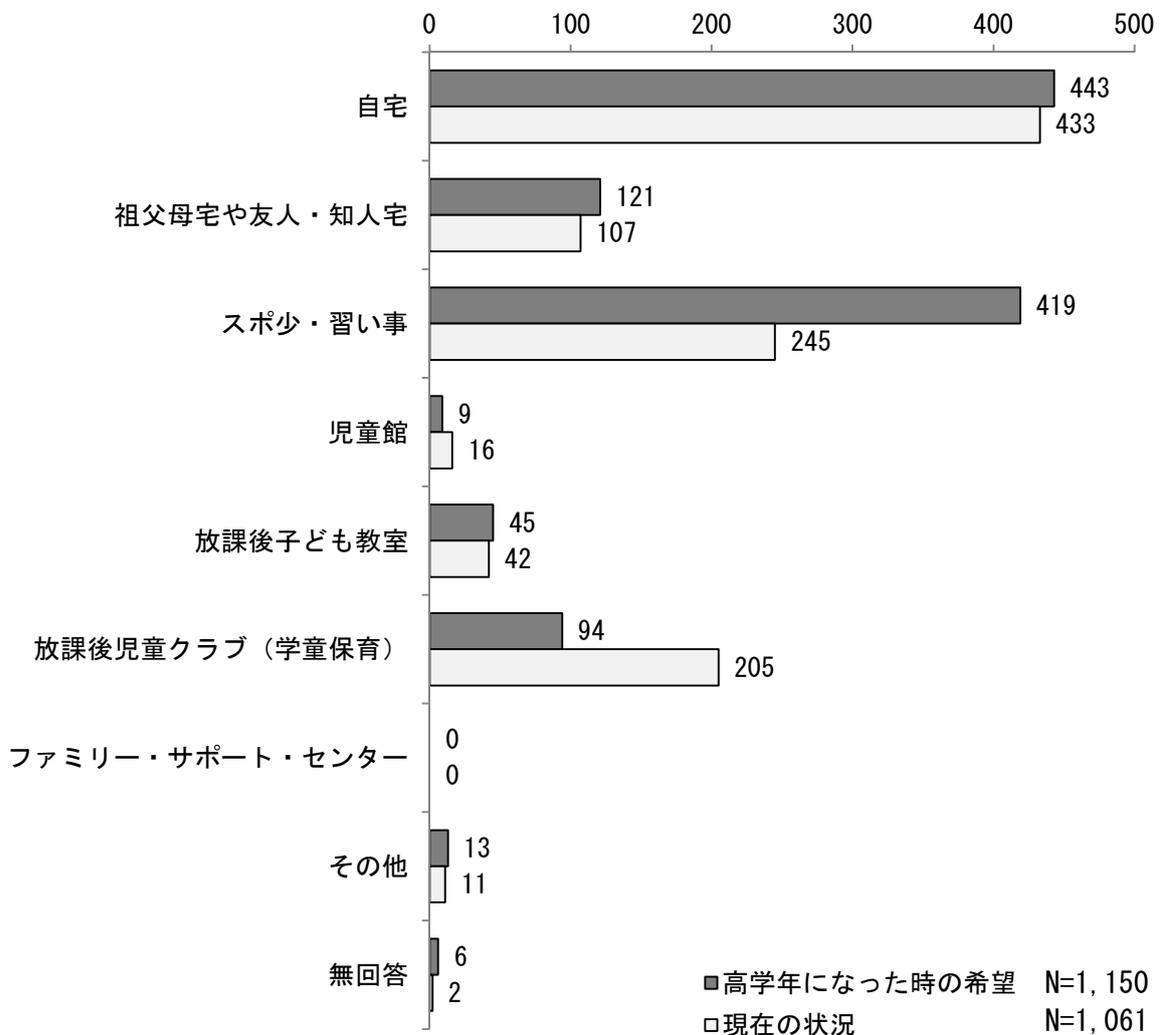
【利用したい場合の利用時間】



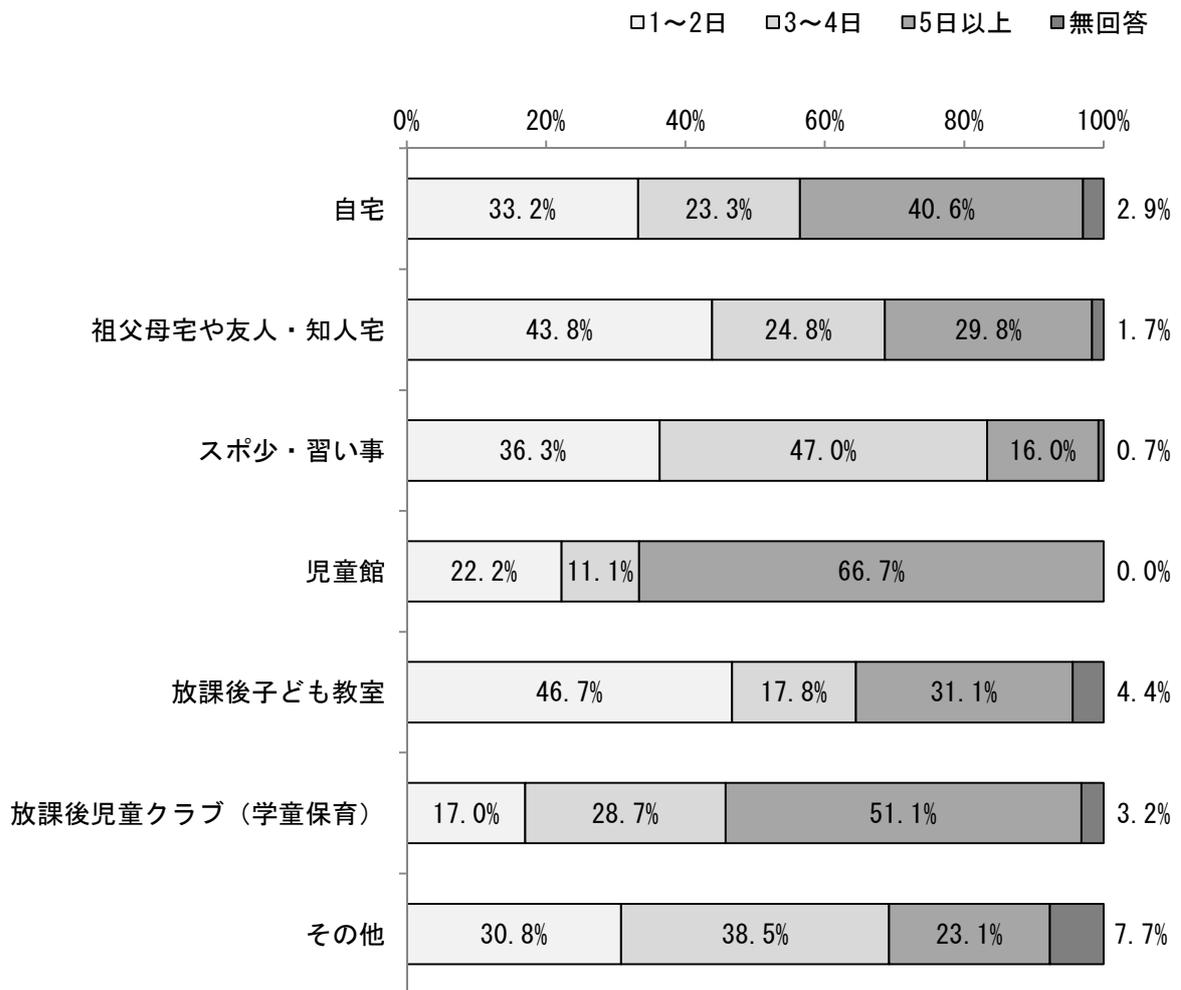
問 13 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になった時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。

小学4～6年生の高学年になった時の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」が最も多く、次いで「スポ少・習い事」となっています。

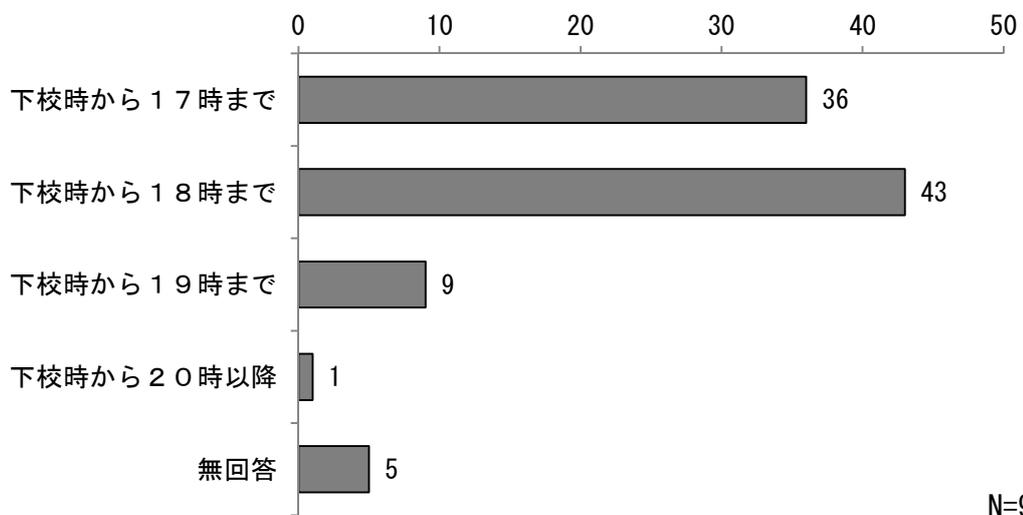
問12の現在の状況（小学1～3年生）と比較すると、「自宅」や「スポ少・習い事」の回答が増え、反対に「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ（学童保育）」の回答が減っています。



【放課後の過ごし方の希望日数】



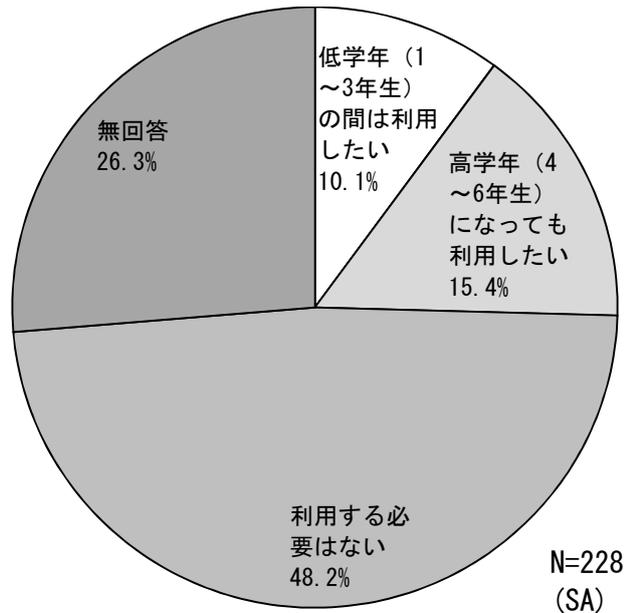
【放課後児童クラブを希望する場合の利用時間】



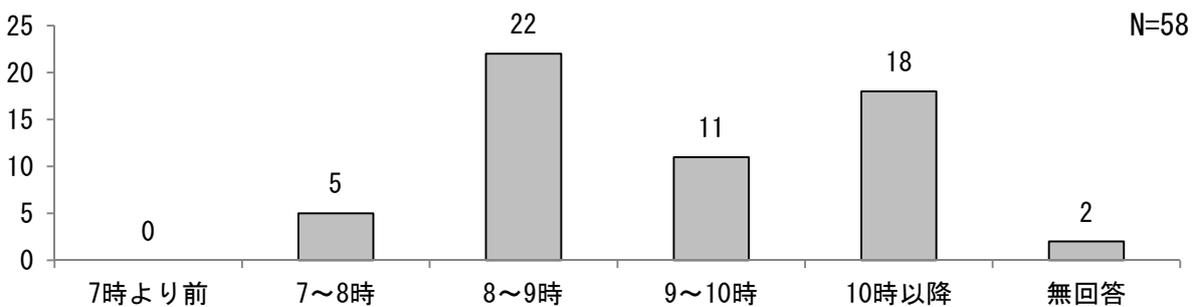
問 14 問 12 または問 13 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい場合は時間帯をご記入ください。

放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が 48.2% と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が 15.4% となっています。

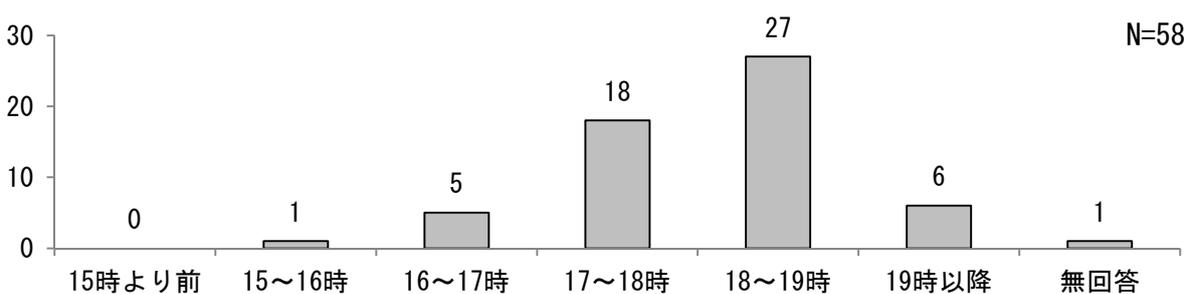
利用したい場合の時間帯では、開始時刻は 8～9 時が最も多く、終了時刻は 18～19 時が最も多くなっています。



【利用したい時間帯の開始時刻】



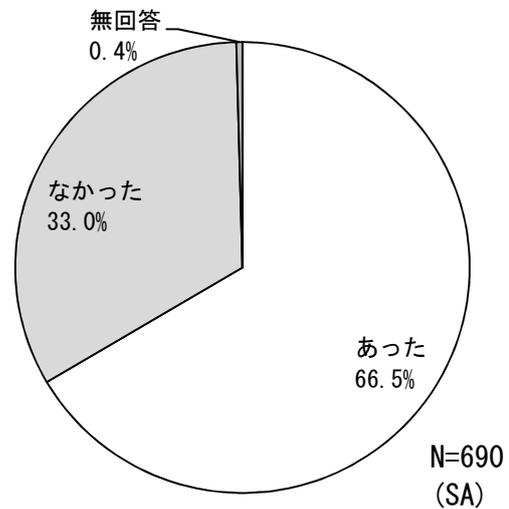
【利用したい時間帯の終了時刻】



お子さんの病気の際の対応について

問 15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

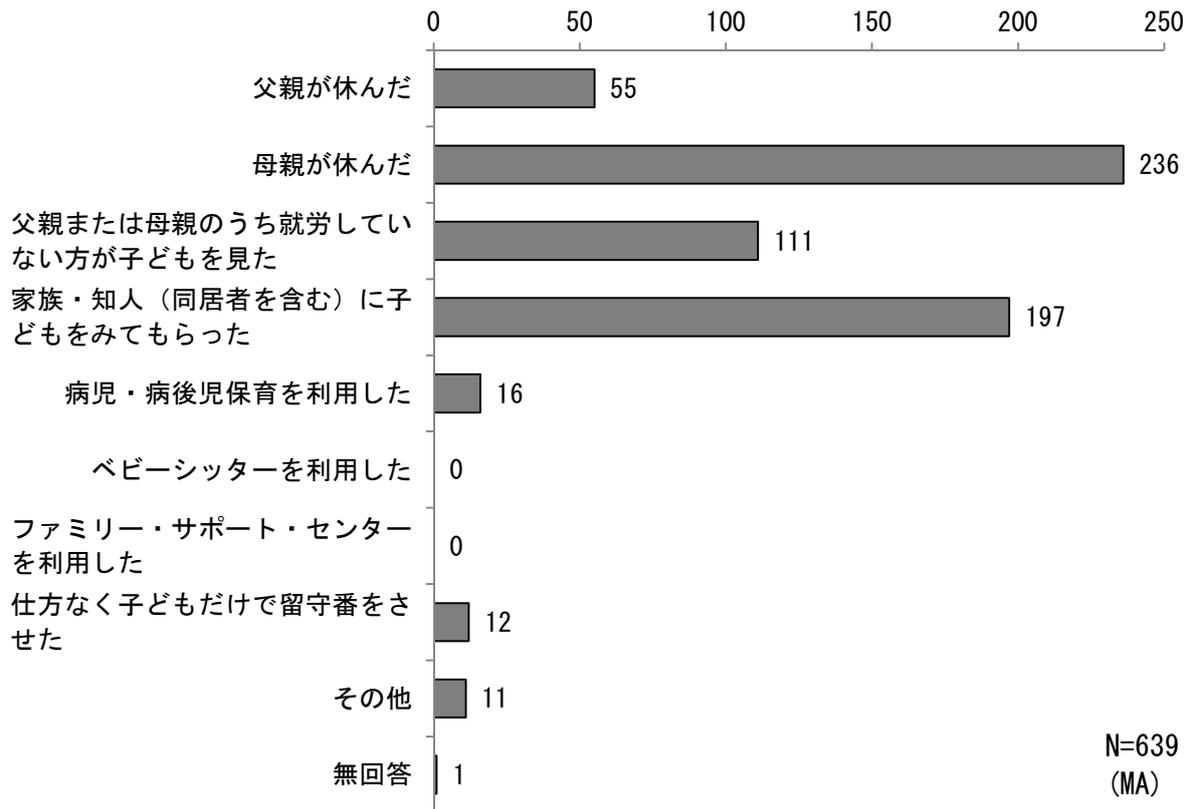
子どもが病気やケガで小学校を休まなければならなかったかについて、「あった」が66.5%となっています。



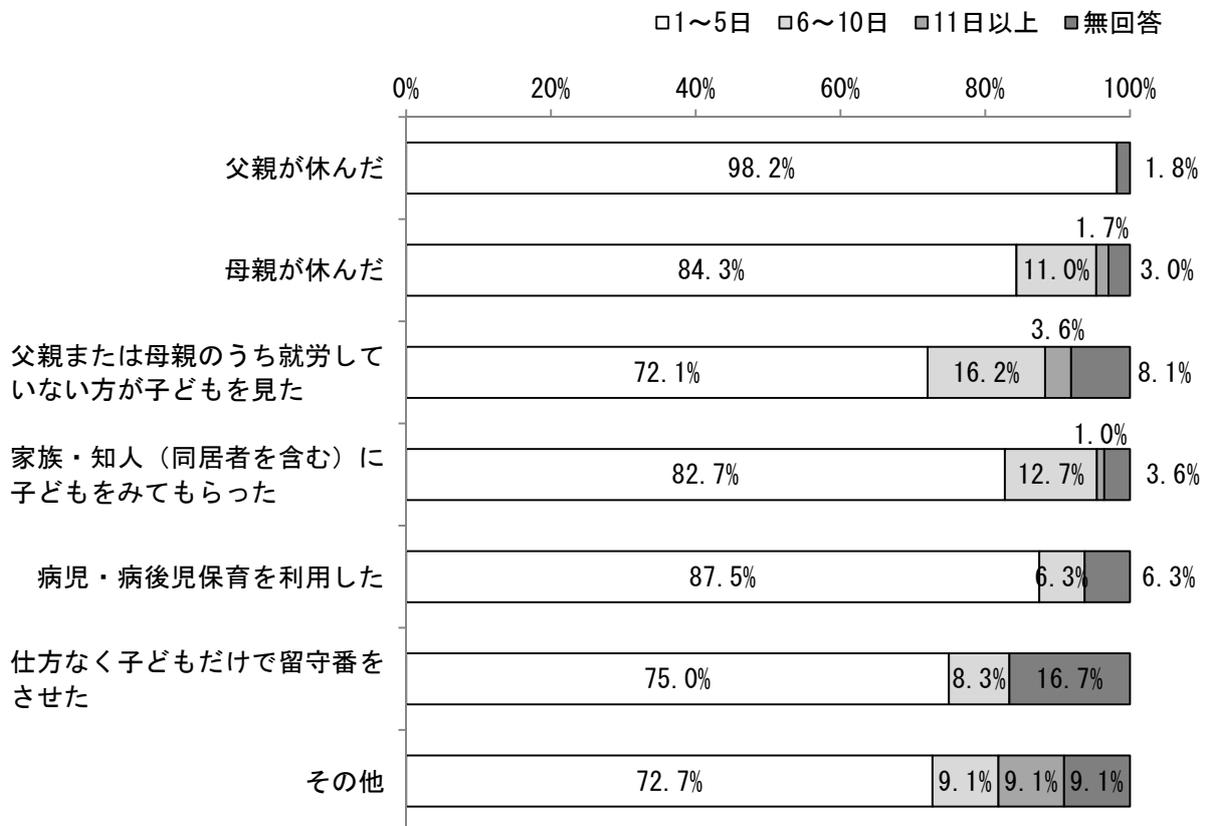
問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日としてください。)

対処方法としては、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「家族・知人に子どもをみてもらった」となっています。

それぞれの対処した日数については、いずれの対処方法もそのほとんどが1～5日となっています。



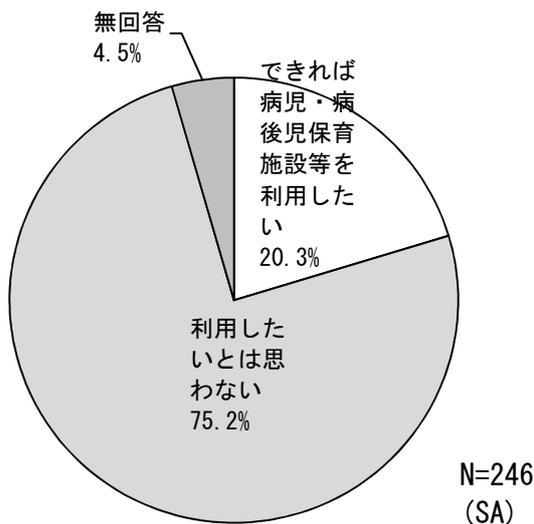
【対処方法の日数】



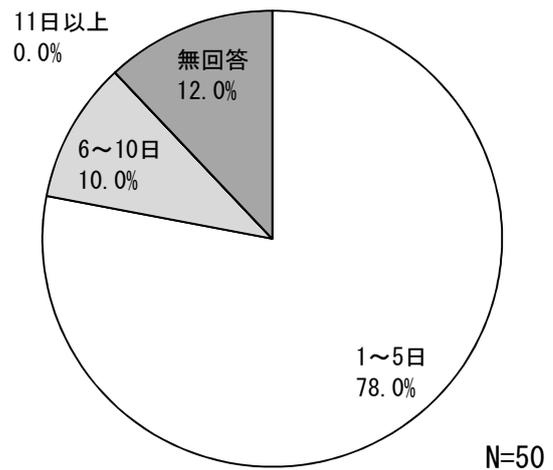
問 15-2 問 15-1 で「ア. 母親が休んだ」「イ. 父親が休んだ」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 20.3%となっており、その場合の利用日数は、年間 1～5 日が 78%と最も多くなっています。また、「利用したいとは思わない」が 75.2%となっています。

【利用希望】

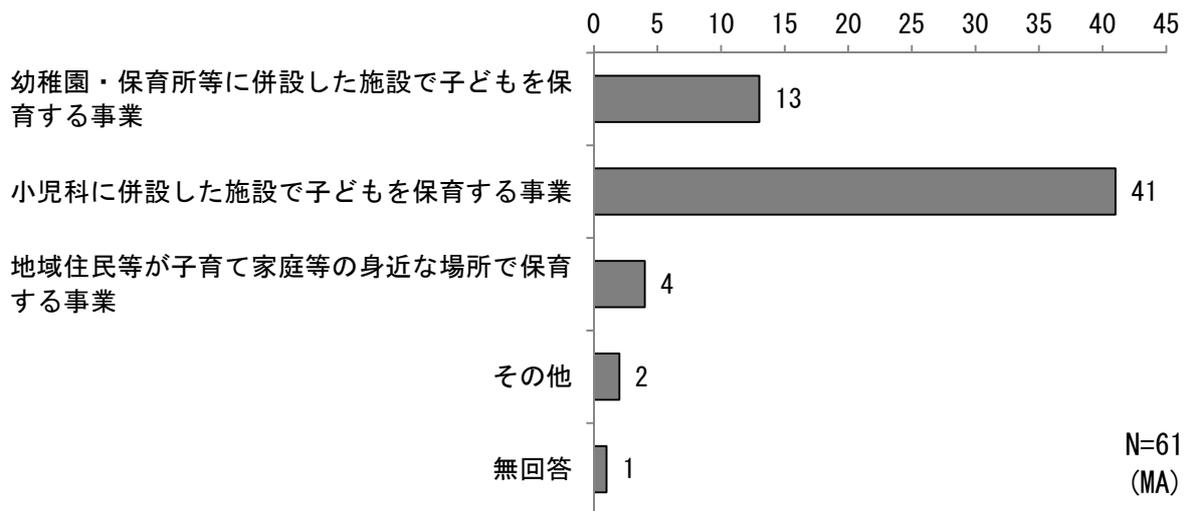


【利用したい場合の利用日数】



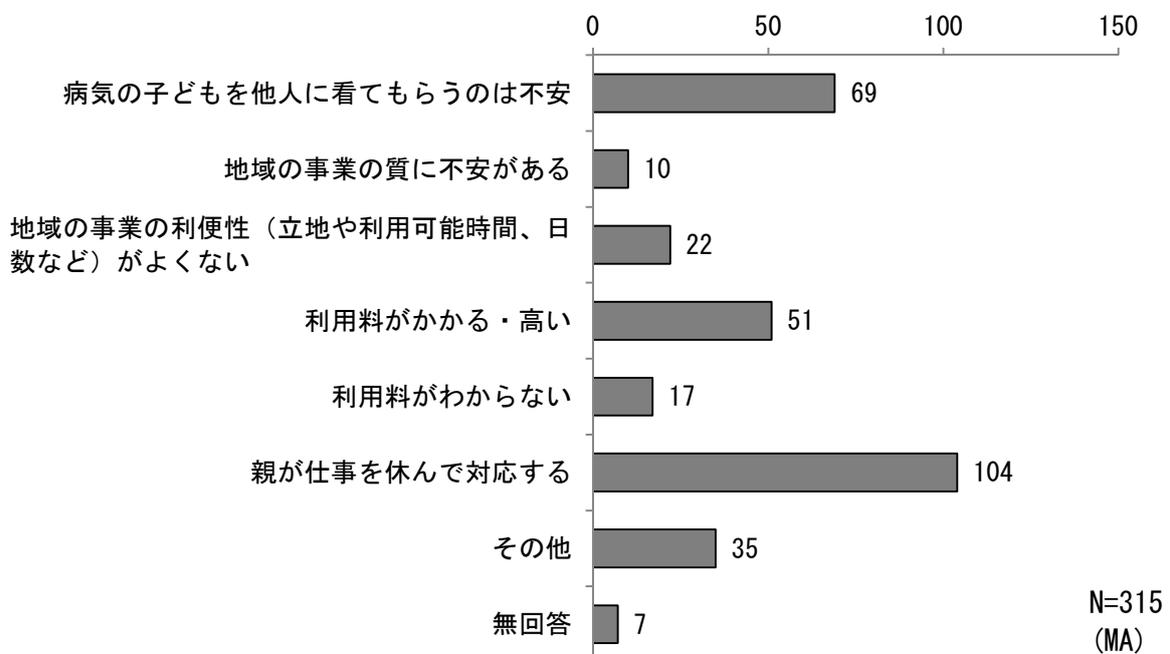
問 15-3 問 15-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したい場合の事業形態については、未就学児の場合とは異なり、「小児科に併設した施設」が最も多く、全体の 7 割近くを占めています。



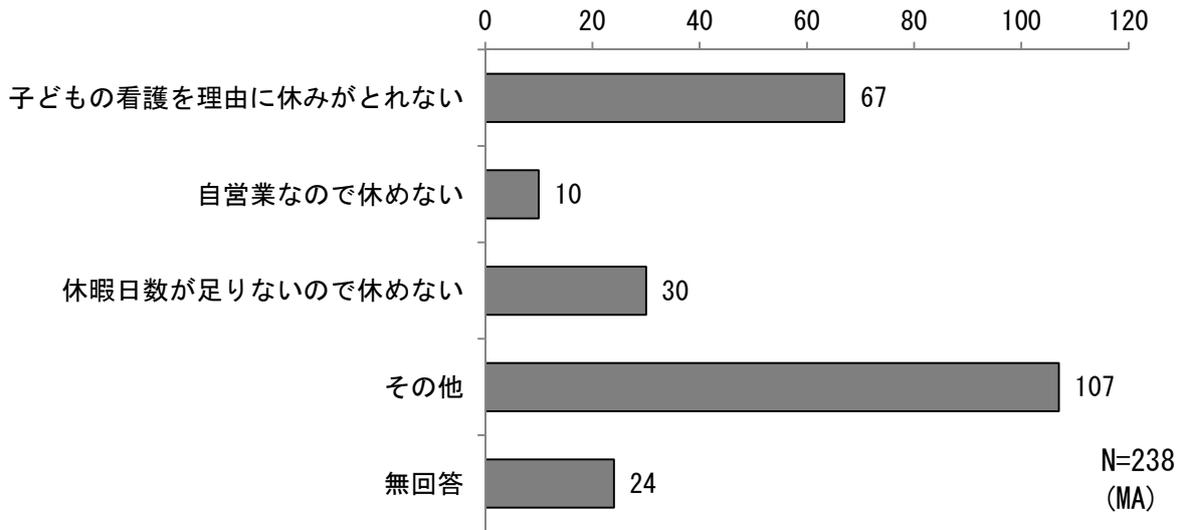
問 15-4 問 15-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にお伺いします。そうと思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が最も多く、次いで「病気の子どもを他人に看てもらうのは不安」という理由が続いています。



問 15-5 問 15-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに回答した方にお伺いします。父親または母親がお子さんを看ることができなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

未就学児の場合と同様に、父親または母親が子どもを看ることができなかった理由で最も多かったのは「その他」ですが、その中でも多く書かれていた内容は「仕事が休みづらい」というものでした。また、次に多かった理由が「子どもの看護を理由に休みがとれない」となっています。



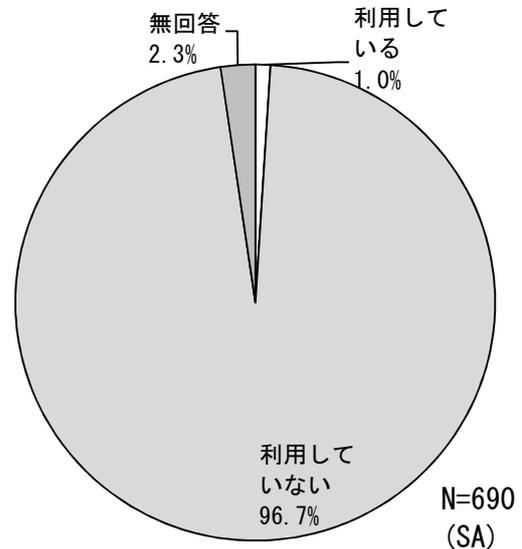
(その他の主な内容)

- ・仕事が休みづらい（職場の人員不足、同僚への負担など） 51 件
- ・祖父母が見てくれるから 38 件
- ・有給がないため収入が減る（日給、時給など） 4 件 等

ファミリー・サポート・センターの利用について

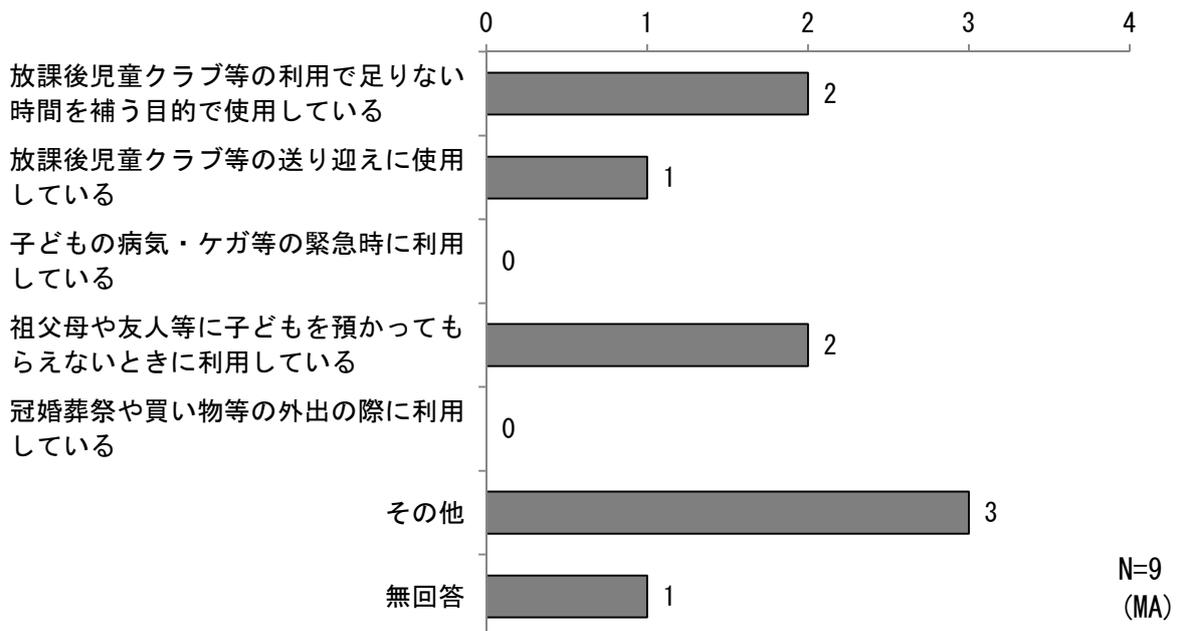
問 16 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。

「利用している」は、わずか1%で、「利用していない」が96.7%となっています。



問 16-1 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。どのような目的で利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

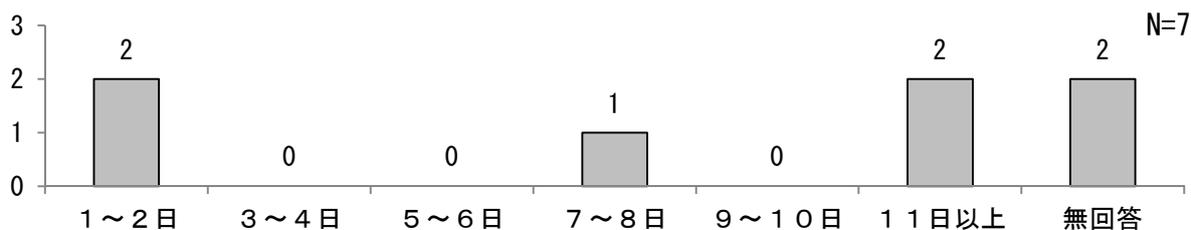
ファミリー・サポート・センターを利用している目的は、放課後児童クラブの補完や送迎、祖父母等に預かれない場合の利用などとなっています。



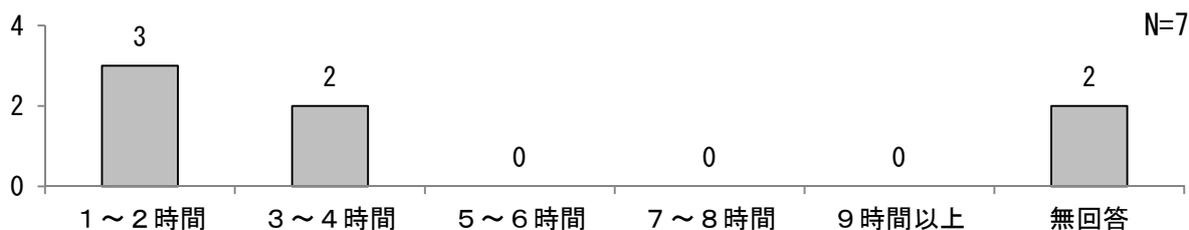
問 16-2 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。どのくらいの頻度で利用していますか。数字でご記入ください。

ファミリー・サポート・センターの1回当たりの利用時間は、1～2時間が多くなっています。

【1カ月当たりの利用日数】

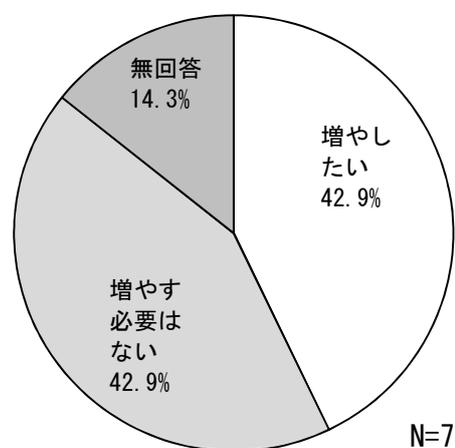


【1回当たりの利用時間】

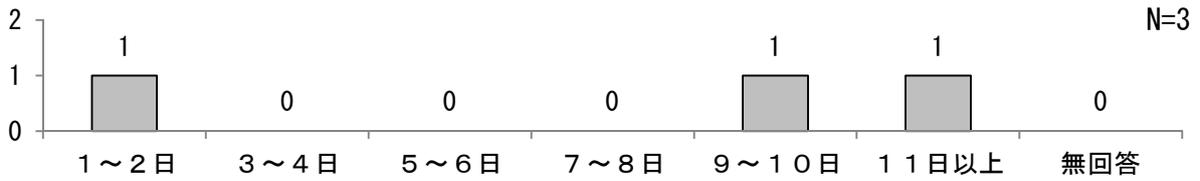


問 16-3 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。利用日数・時間を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数・時間についてもご記入ください。

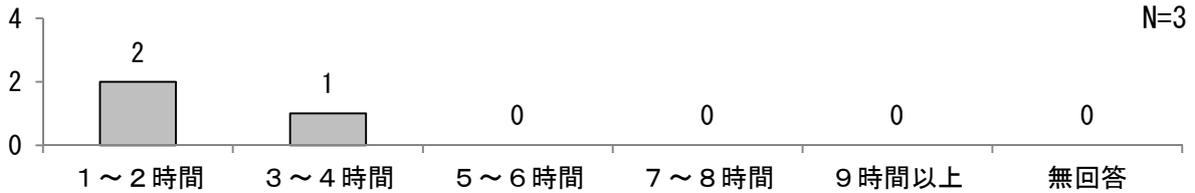
利用日数・時間を「増やしたい」と「増やす必要はない」が同程度となっています。



【増やしたい場合の1カ月当たりの希望日数】



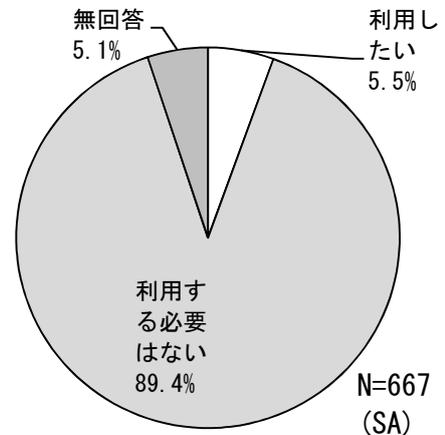
【増やしたい場合の1回当たりの希望利用時間】



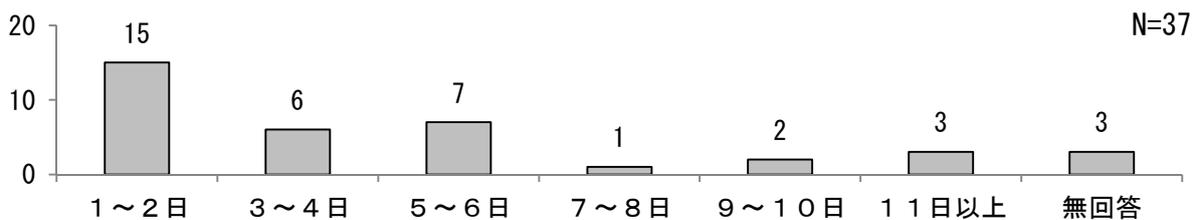
問 16-4 問 16で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。今後、利用したいと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数・時間についてもご記入ください。

利用希望については、「利用する必要はない」が89.4%となっており、「利用したい」は5.5%に留まっています。

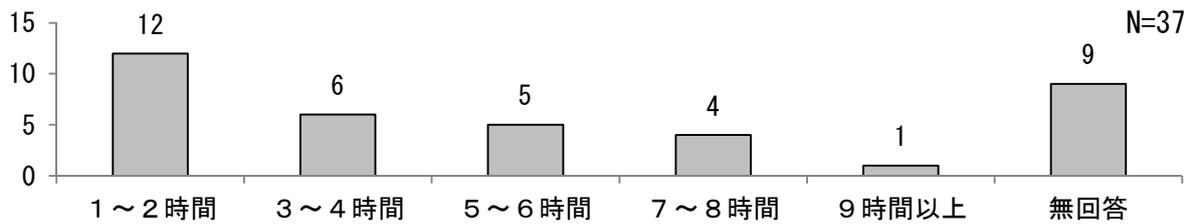
利用したい場合の1カ月当たりの希望日数は、1～2日が最も多く、1回当たりの希望利用時間は、1～2時間が多くなっています。



【利用したい場合の1カ月当たりの希望日数】



【利用したい場合の1回当たりの希望利用時間】



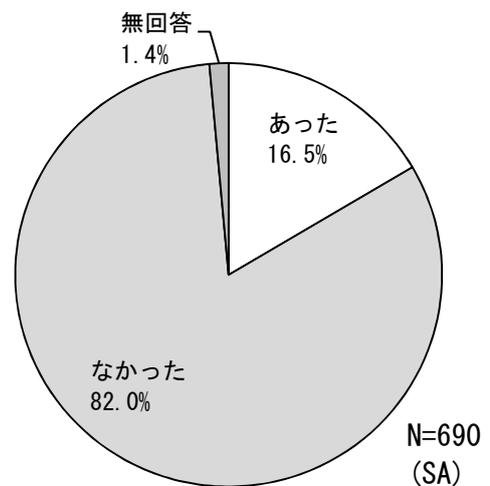
夜間及び宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを夜間に家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

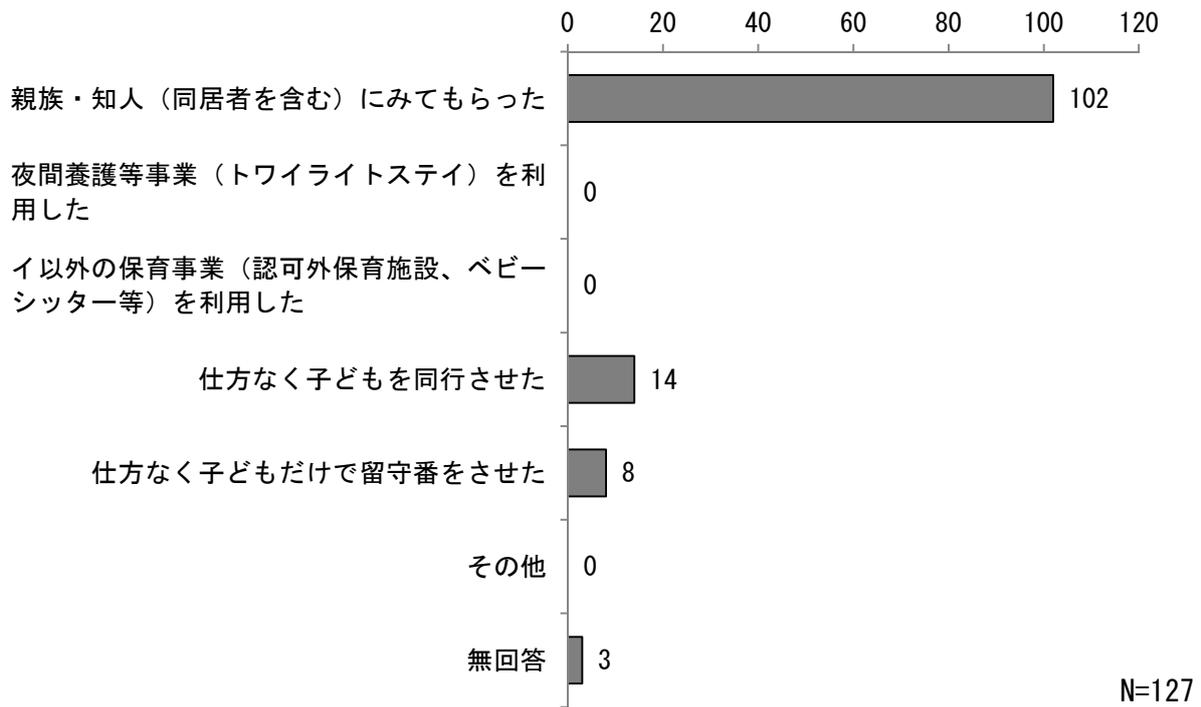
夜間に子どもを預けなければならないことはあったかについて、「あった」が16.5%、「なかった」が82%となっています。

預けなければならなかった場合の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が回答数の8割以上を占めています。

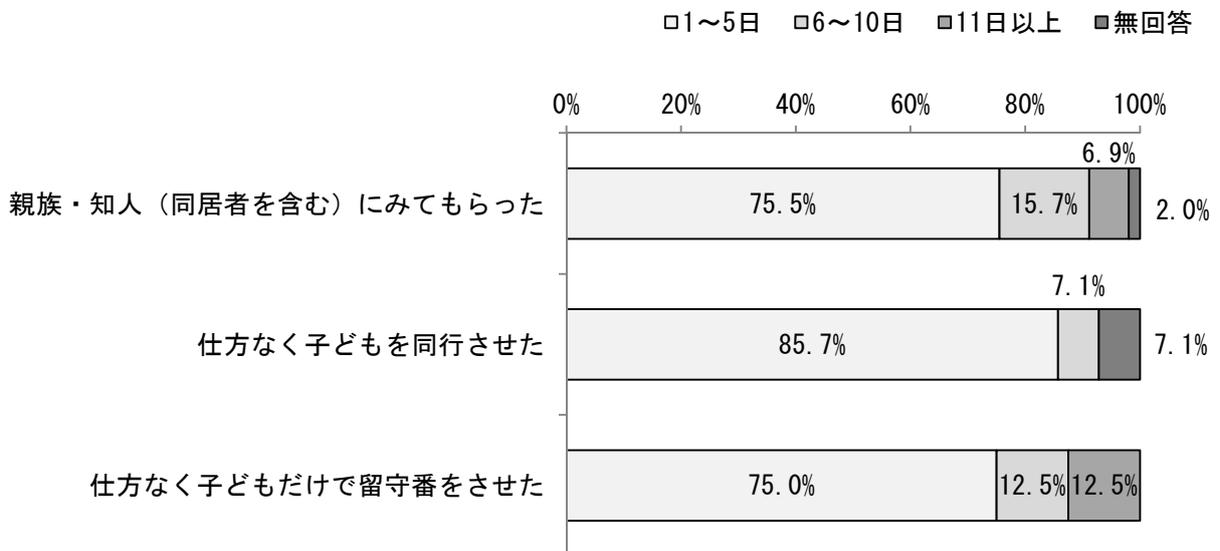
対処した日数については、1～5日が7割以上となっています。



【預けなければならなかった場合の対処方法】

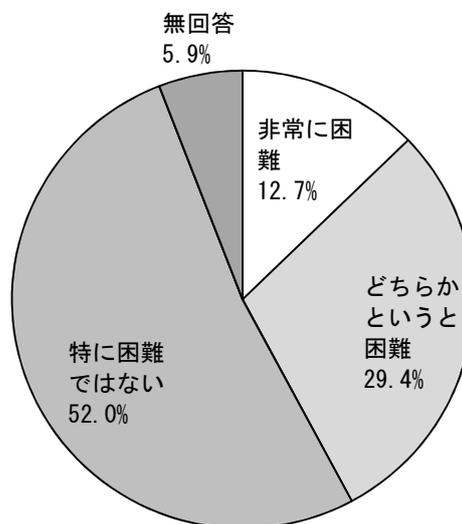


【対処方法と日数】



問 17-1 問 17 で「1. あった ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

夜間にお子さんを親族・知人に預けなければならなかった場合の困難度については、「非常に困難」と「どちらかという困難」が合わせて 42.1% に対し、「特に困難ではない」が 52% となっています。



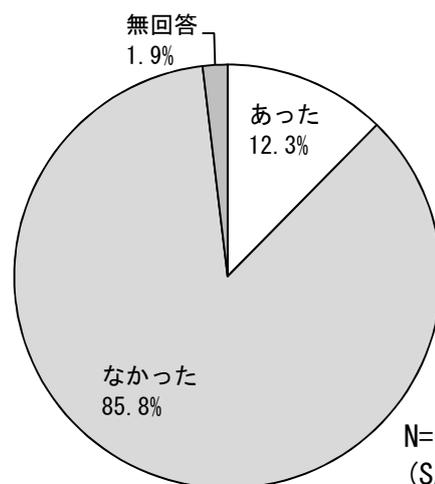
N=102

問 18 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この 1 年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

泊りがけで子どもを預けなければならないことはあったかについて、「あった」が 12.3%、「なかった」が 85.8% となっています。

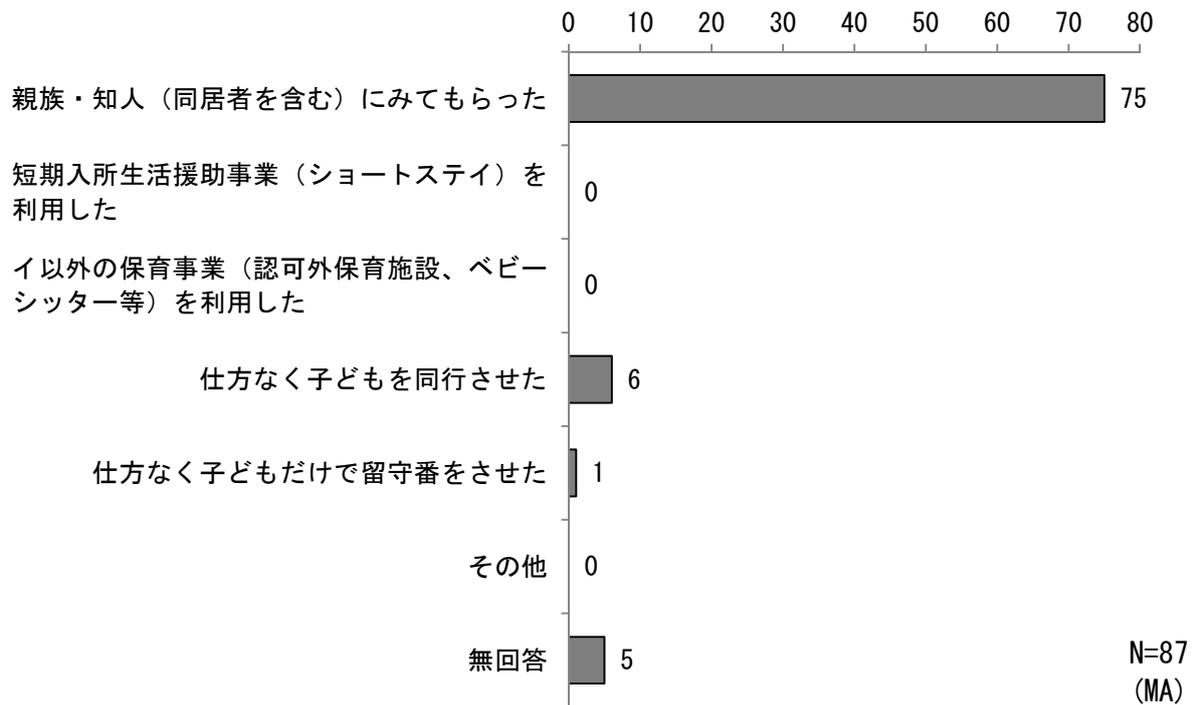
預けなければならなかった場合の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が回答数の 8 割以上を占めています。

対処した日数については、ほとんどが 1～5 日となっています。

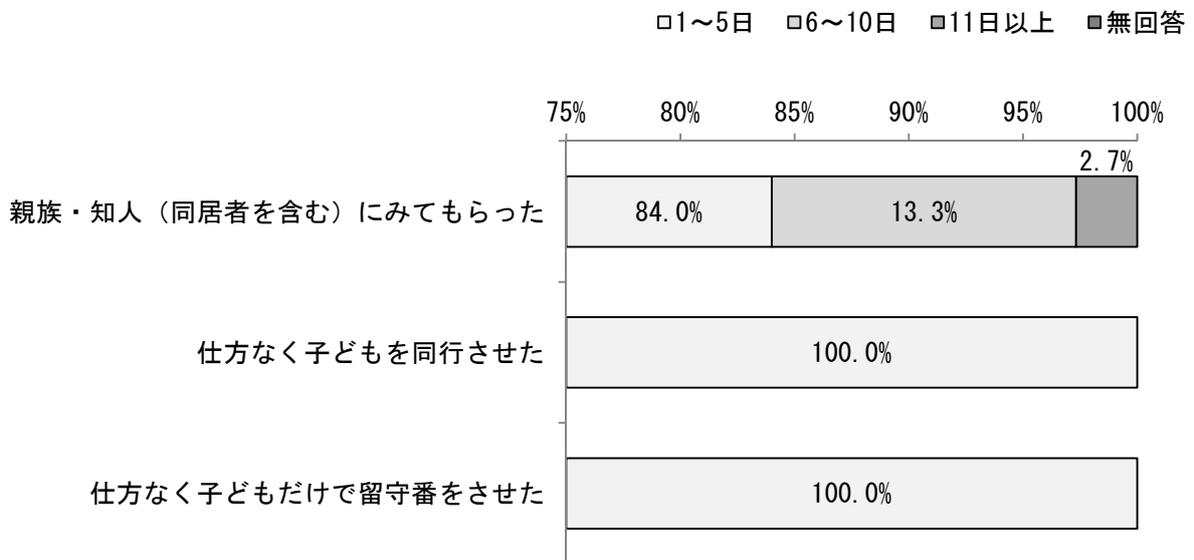


N=690 (SA)

【預けなければならなかった場合の対処方法】

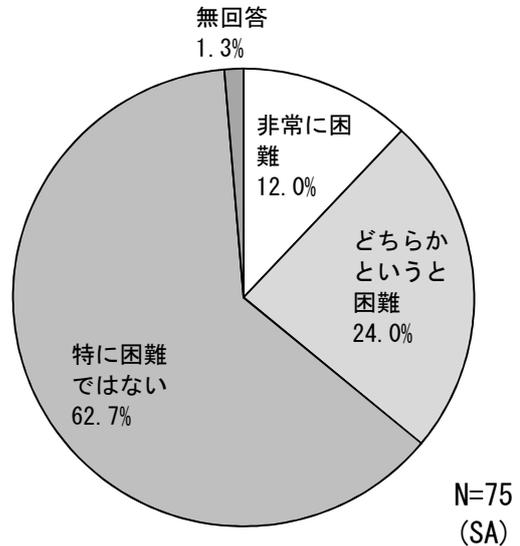


【対処方法と日数】



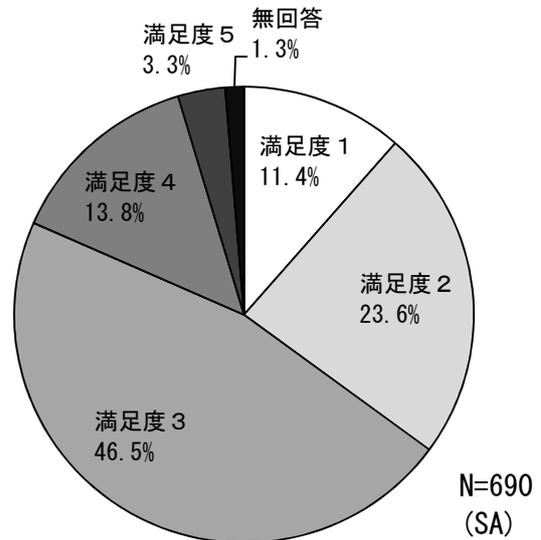
問 18-1 問 18 で「1. あった ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

夜間にお子さんを親族・知人に預けなければならなかった場合の困難度については、「非常に困難」と「どちらかという困難」が合わせて 36% に対し、「特に困難ではない」が 62.7% となっています。



問 19 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

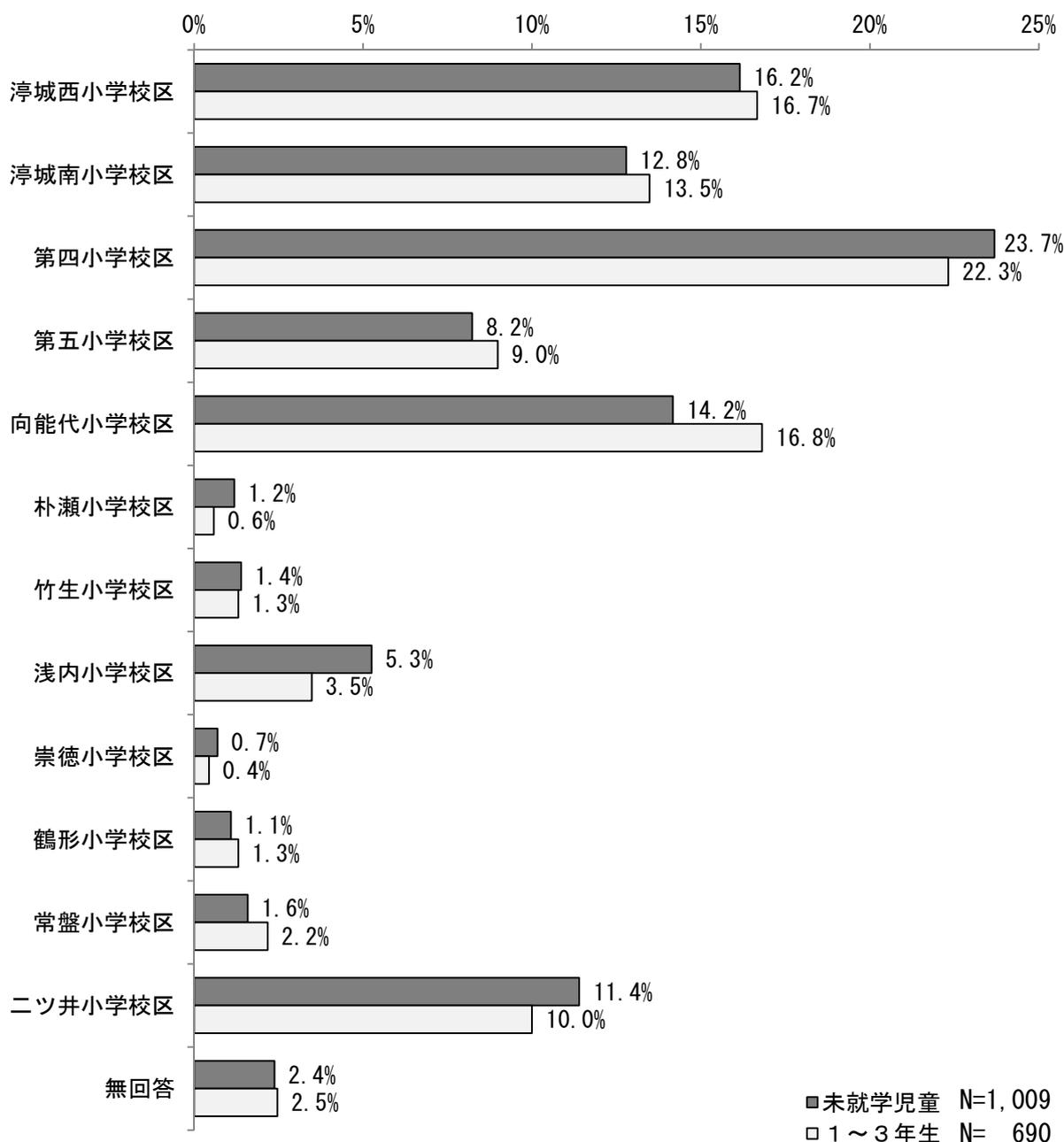
子育ての環境や支援への満足度については、満足度 1～2 を合わせた 35% が満足度が低いという傾向になっています。また、満足度が高い 4～5 は、合わせて 17.1% と 2 割を切っています。



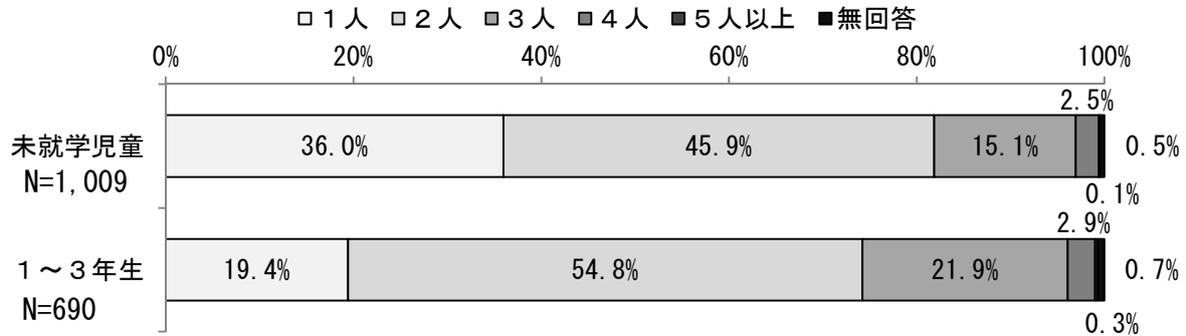
4. 未就学児童調査と就学児童（1～3年生）調査の同一設問結果比較

※同一の設問内容でも表現が異なる場合は、上の設問が未就学児童、下の設問が就学児童（1～3年生）、設問番号のみ異なる場合は、上段が未就学児童、下段が就学児童の番号とする

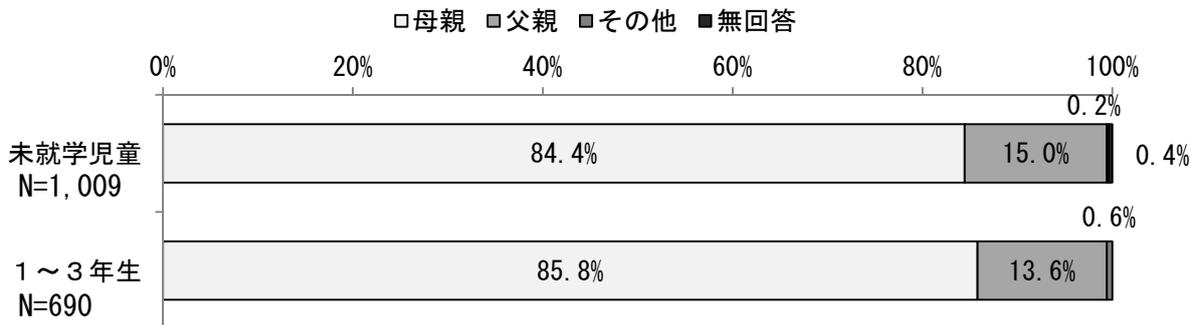
問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。



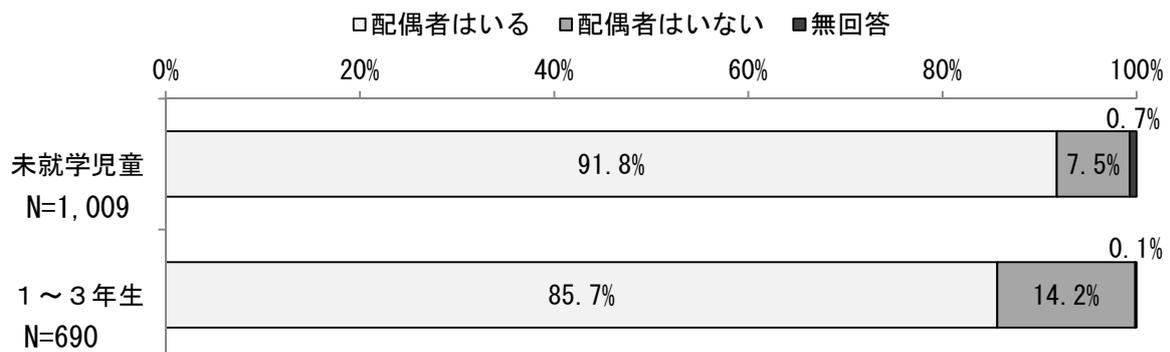
問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。



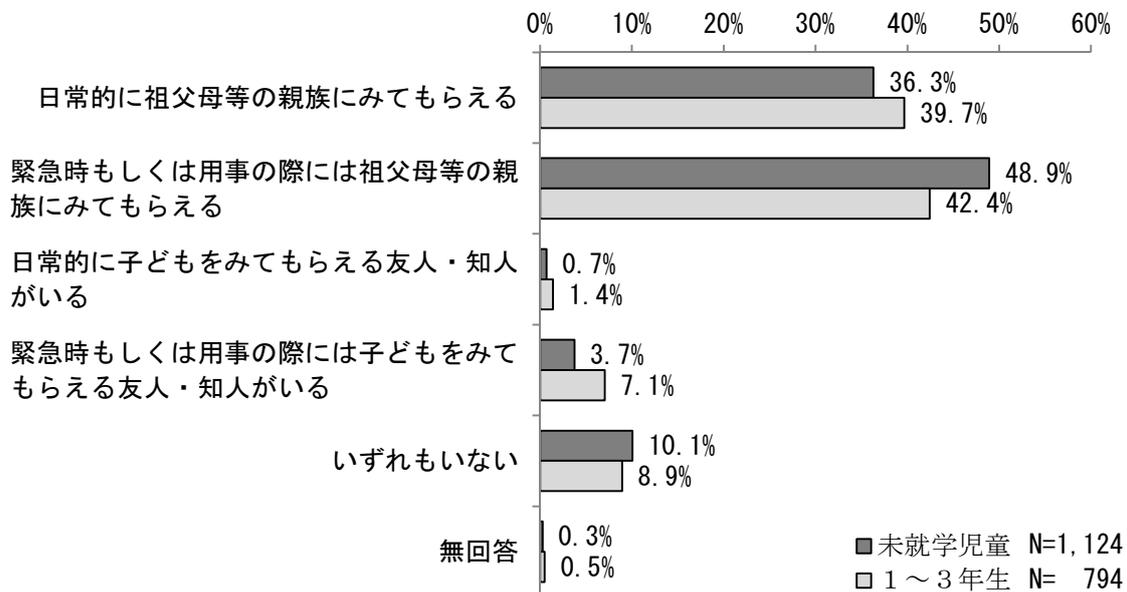
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



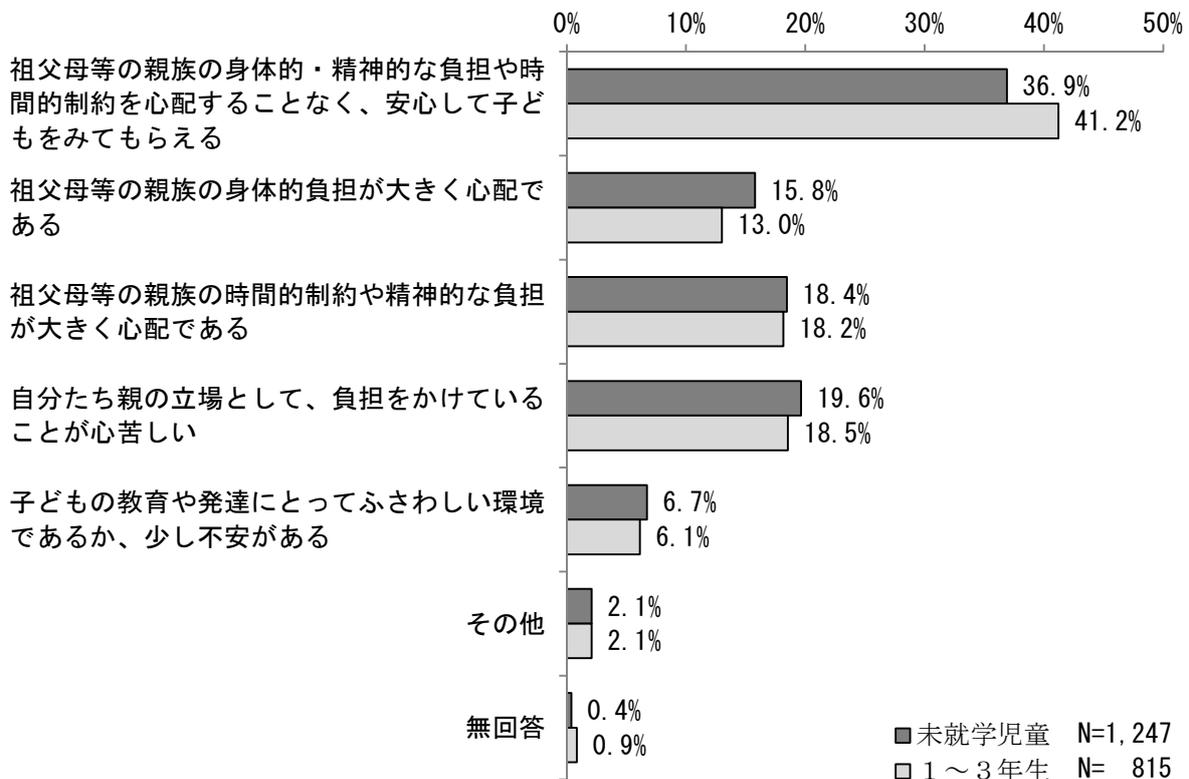
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



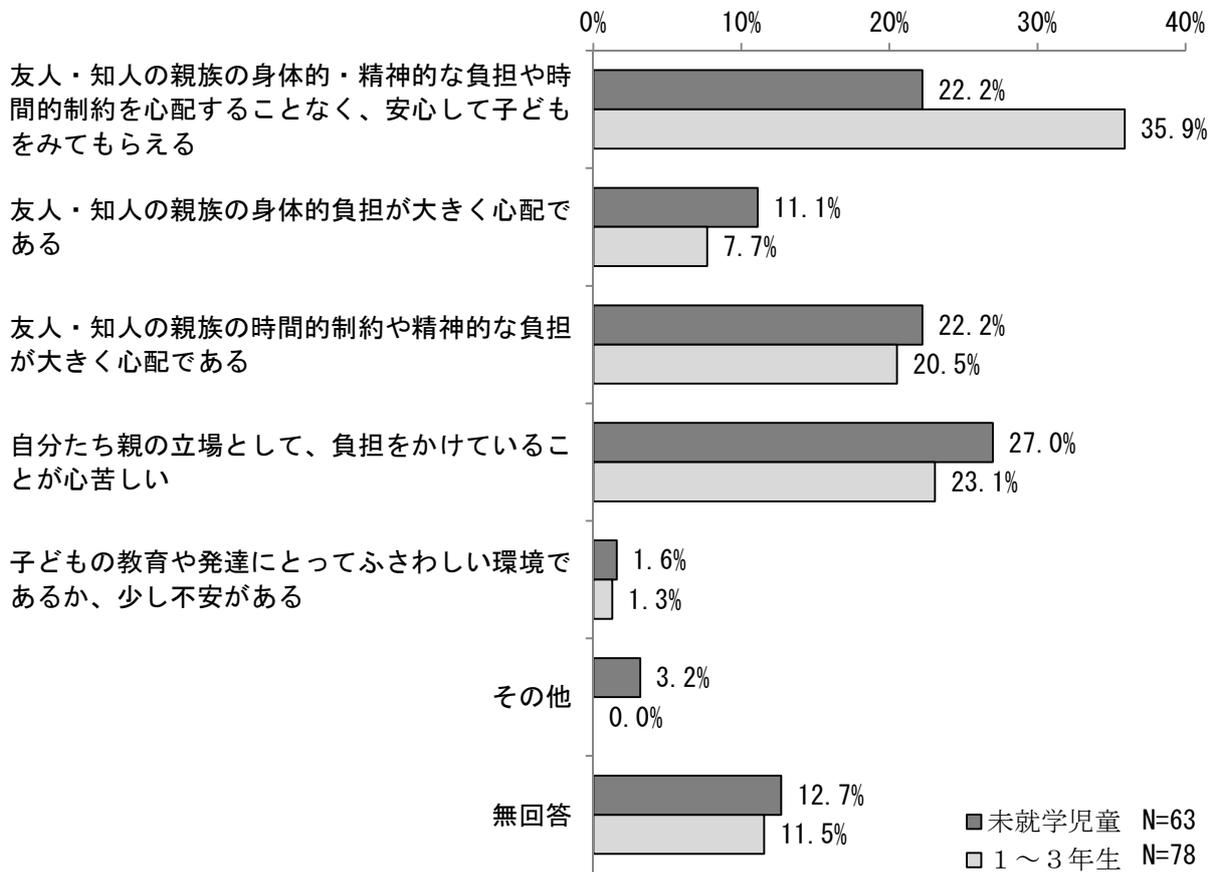
問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



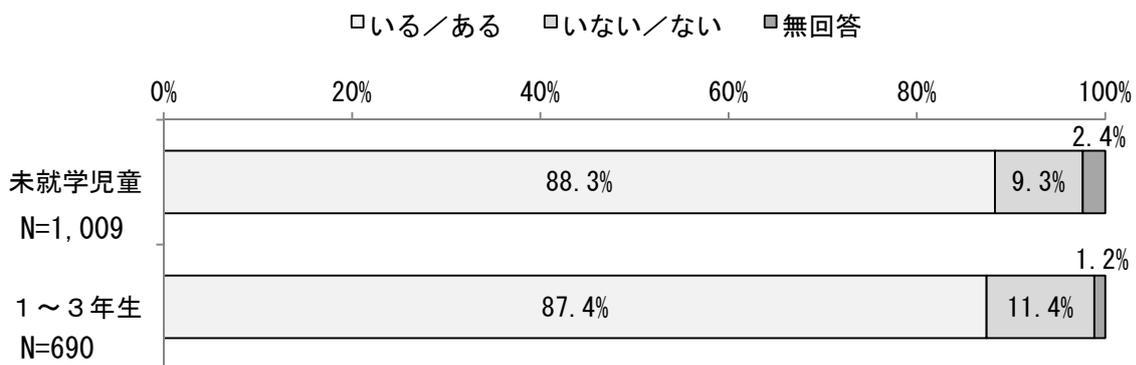
問7-1 問7で「1」または「2」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。



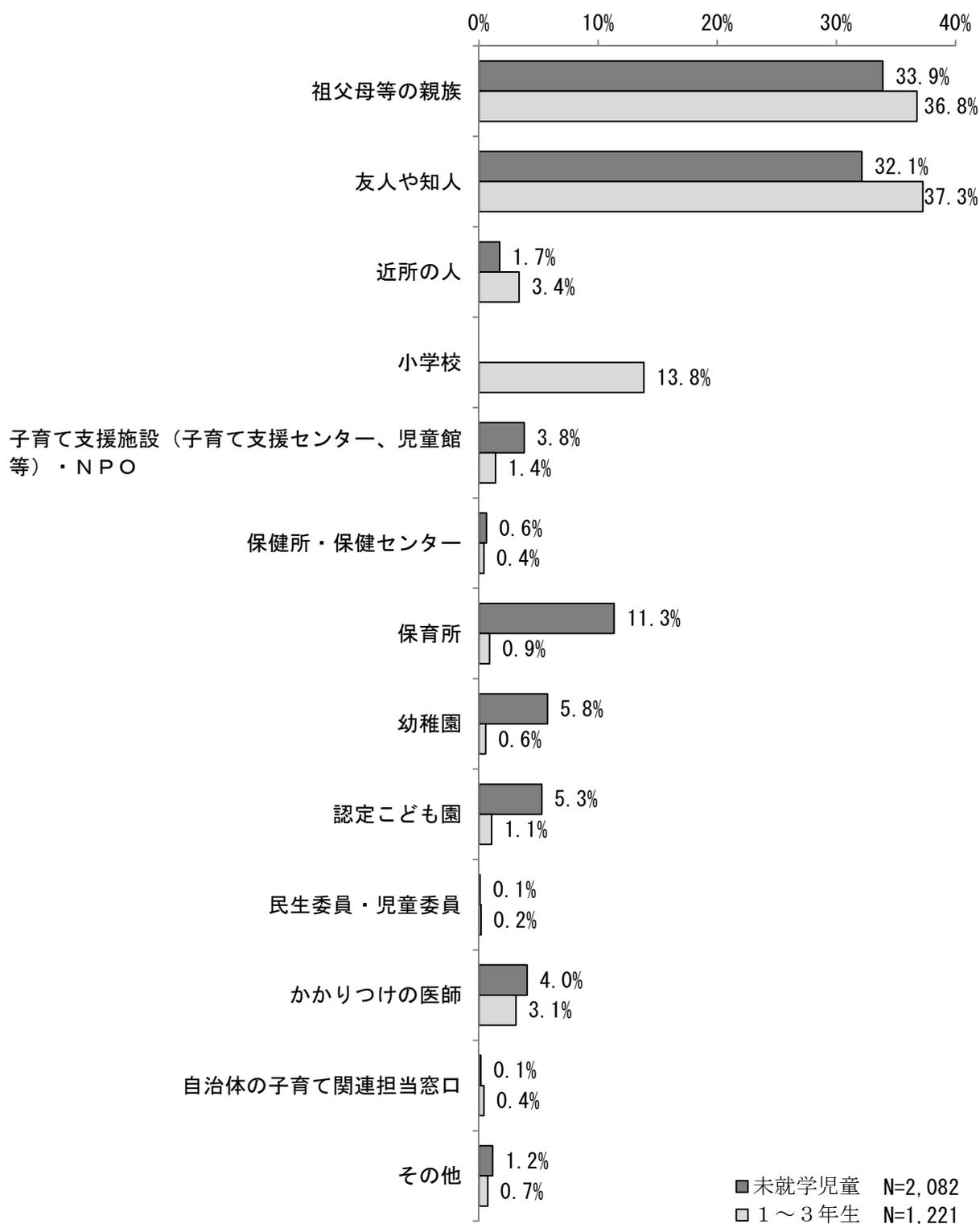
問 7-2 問 7 で「3」または「4」に○をつけた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問 8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

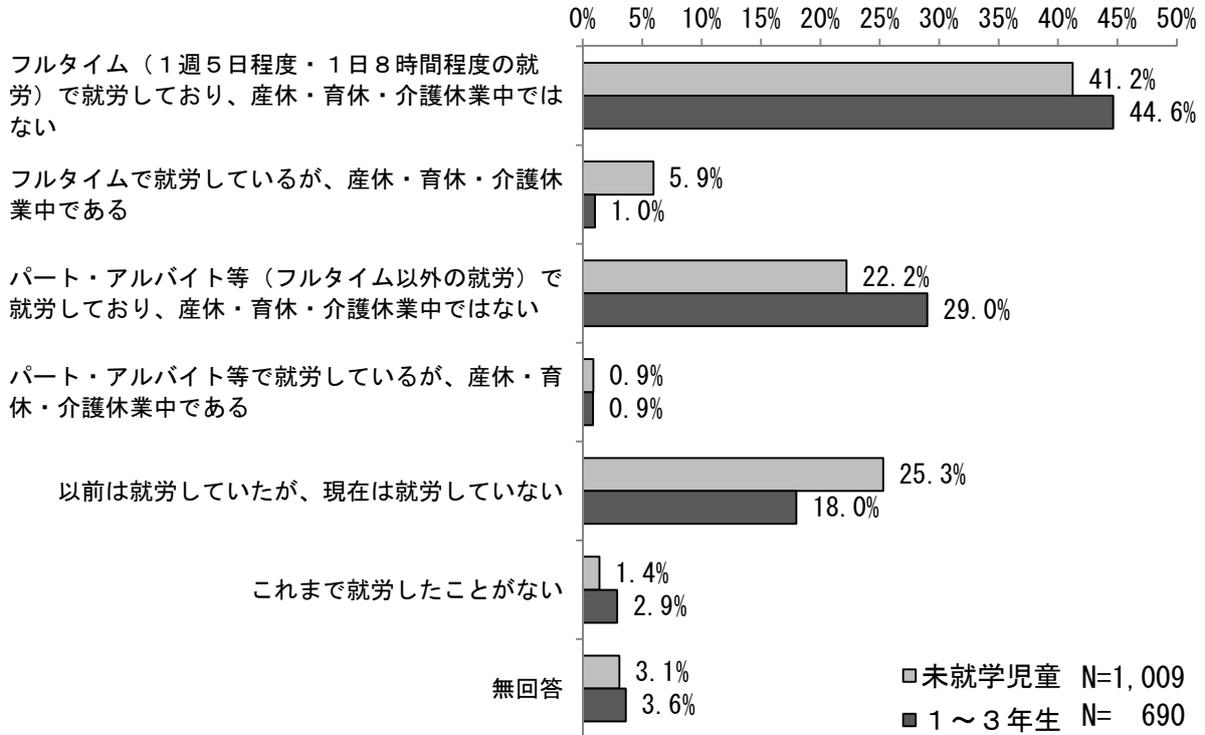


問 8-1 問 8 で「1. いる／ある」に○をつけた方に伺います。相談先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

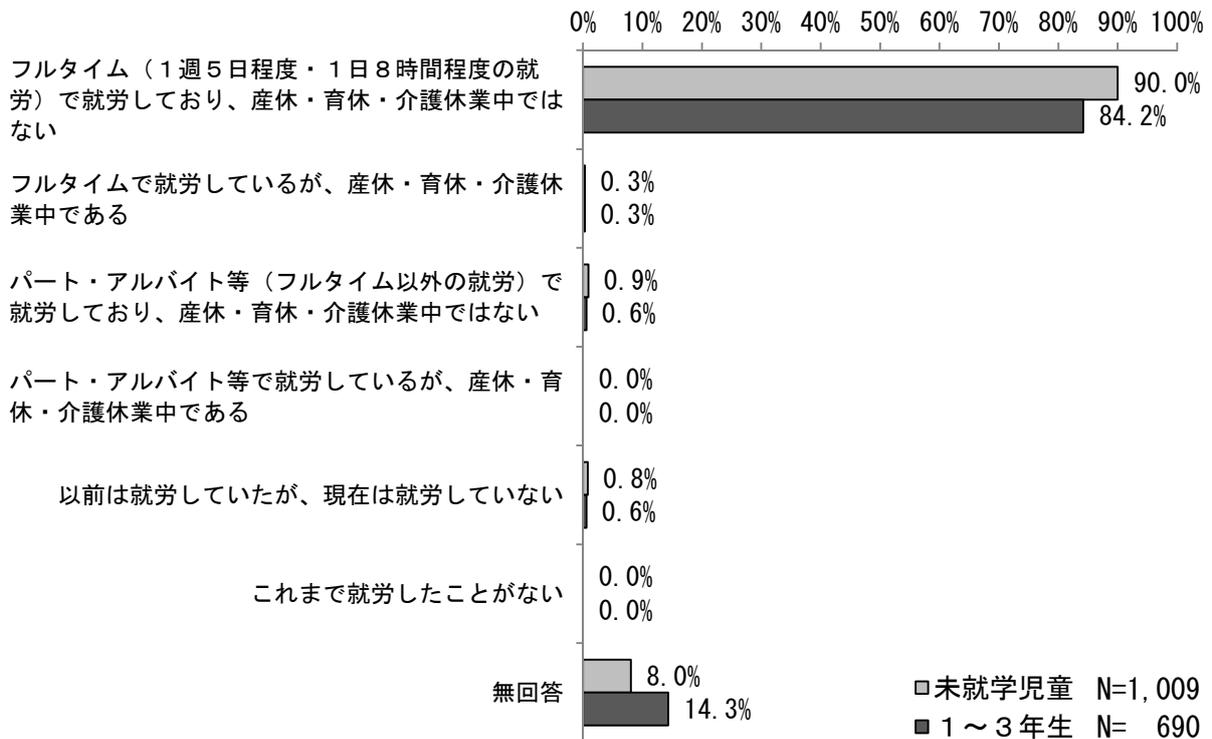


問9 宛名のお子さんの母親・父親の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

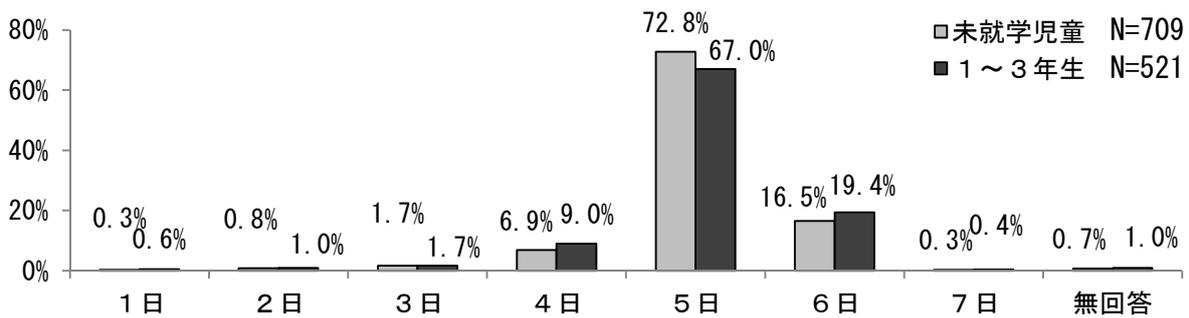
（母親）



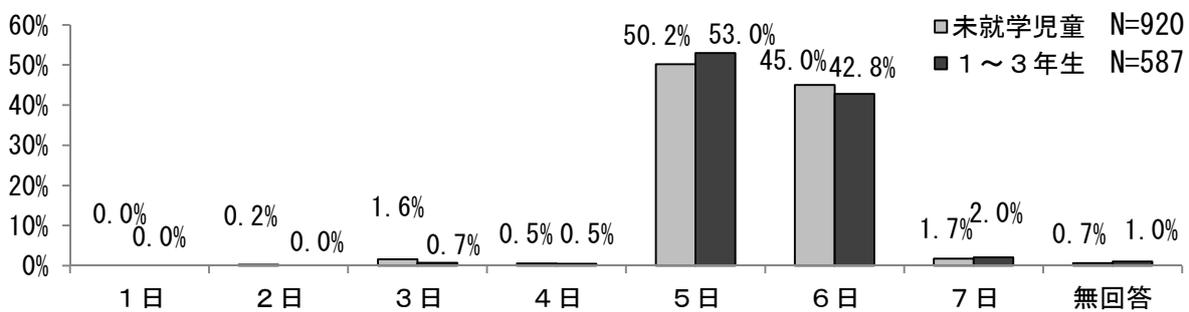
（父親）



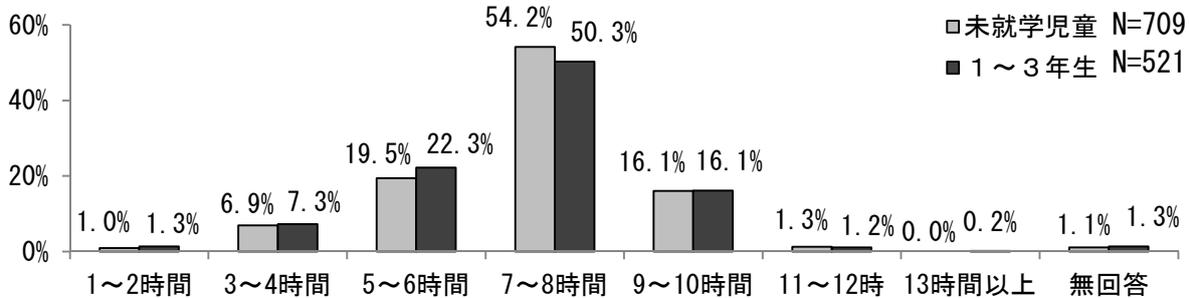
【1週当たりの就労日数】（母親）



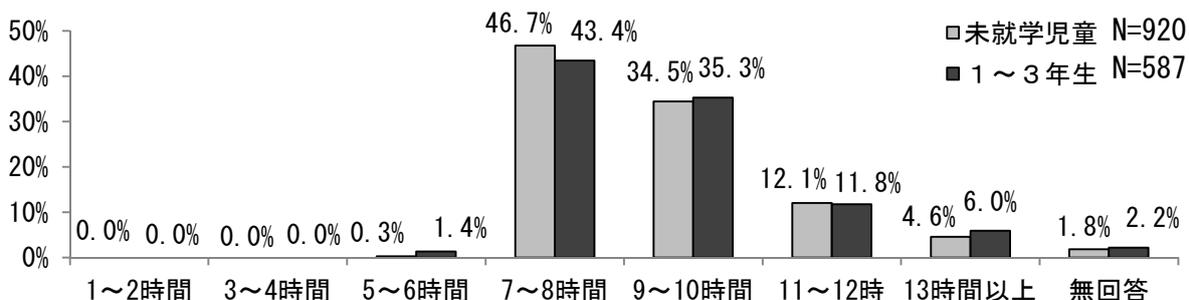
【1週当たりの就労日数】（父親）



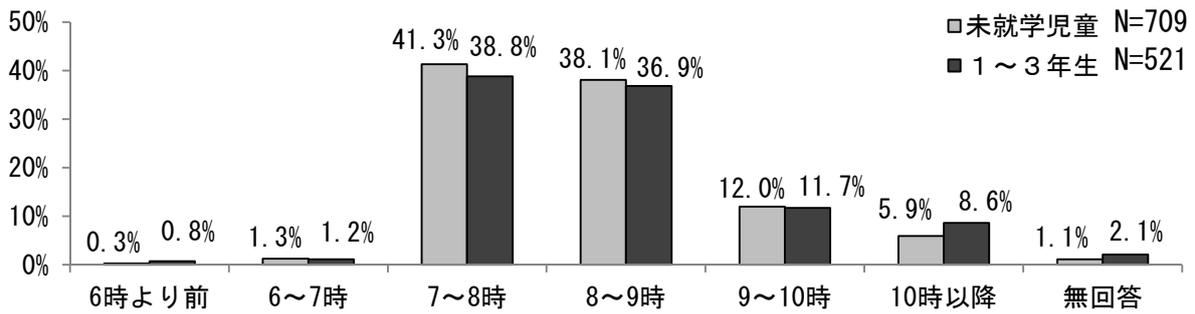
【1日当たりの就労時間】（母親）



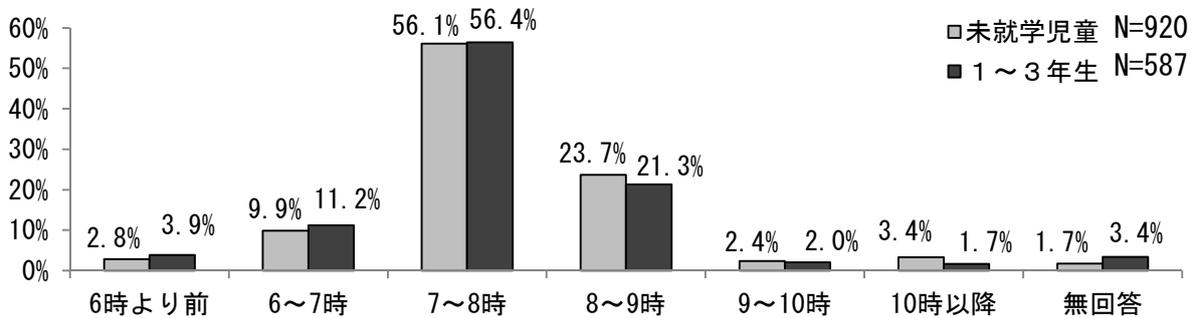
【1日当たりの就労時間】（父親）



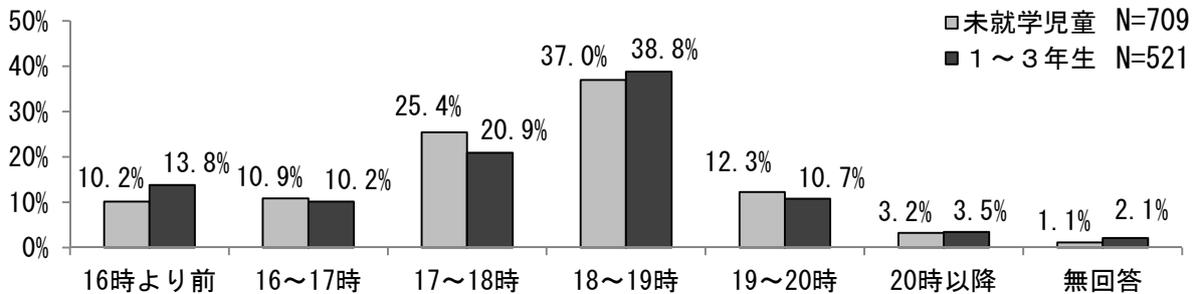
【家を出る時刻】（母親）



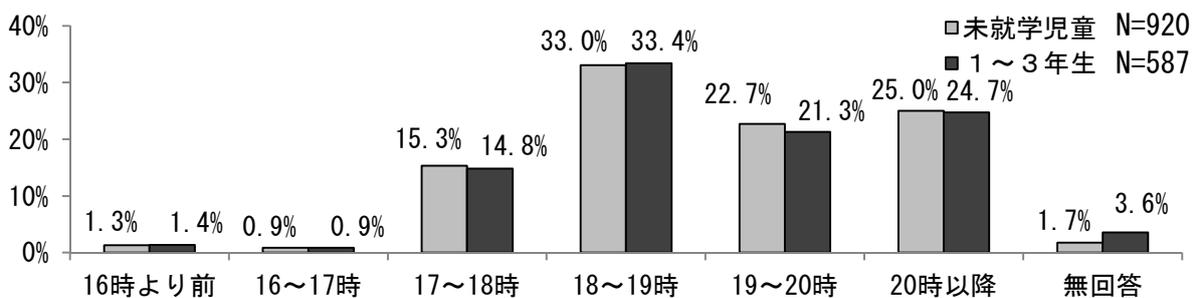
【家を出る時刻】（父親）



【帰宅する時刻】（母親）



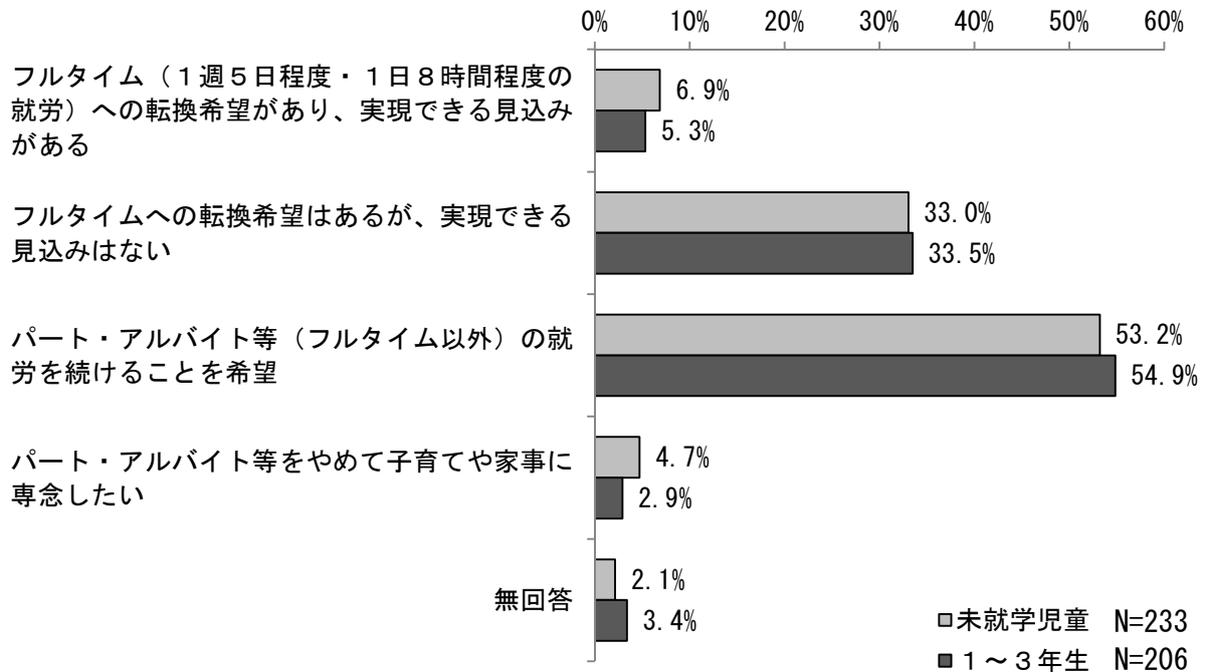
【帰宅する時刻】（父親）



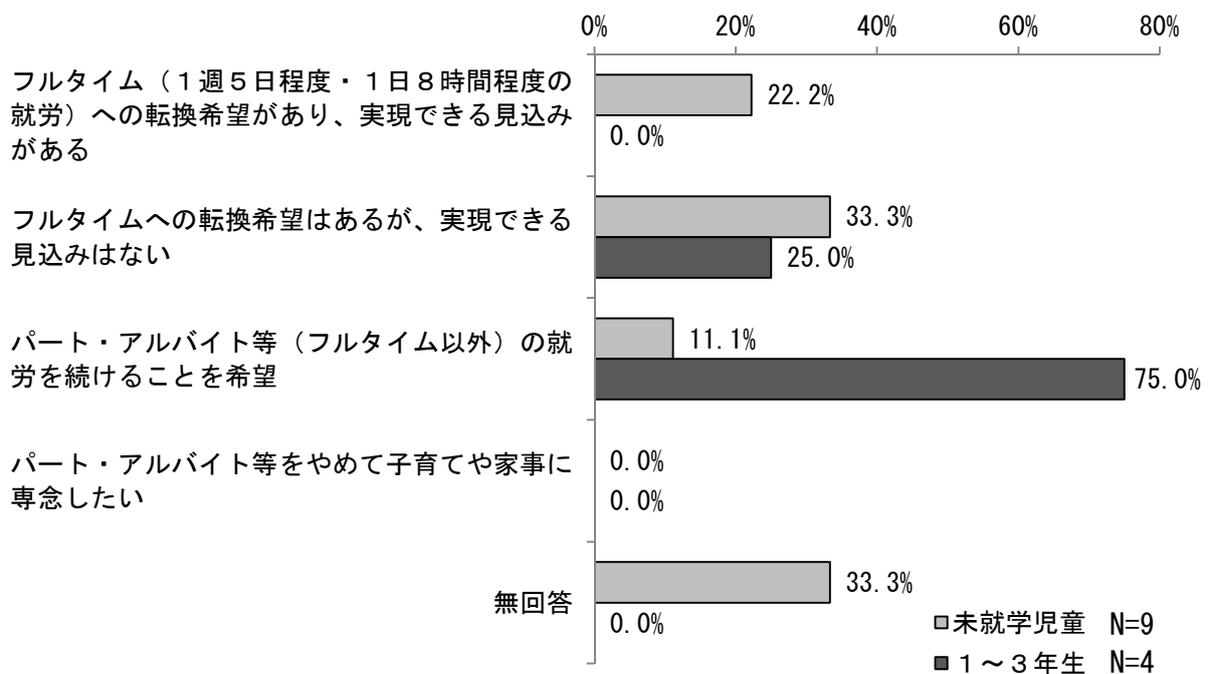
※夜勤明け等の午前中の帰宅は20:00以降に含める。

問10 問9で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（母親）

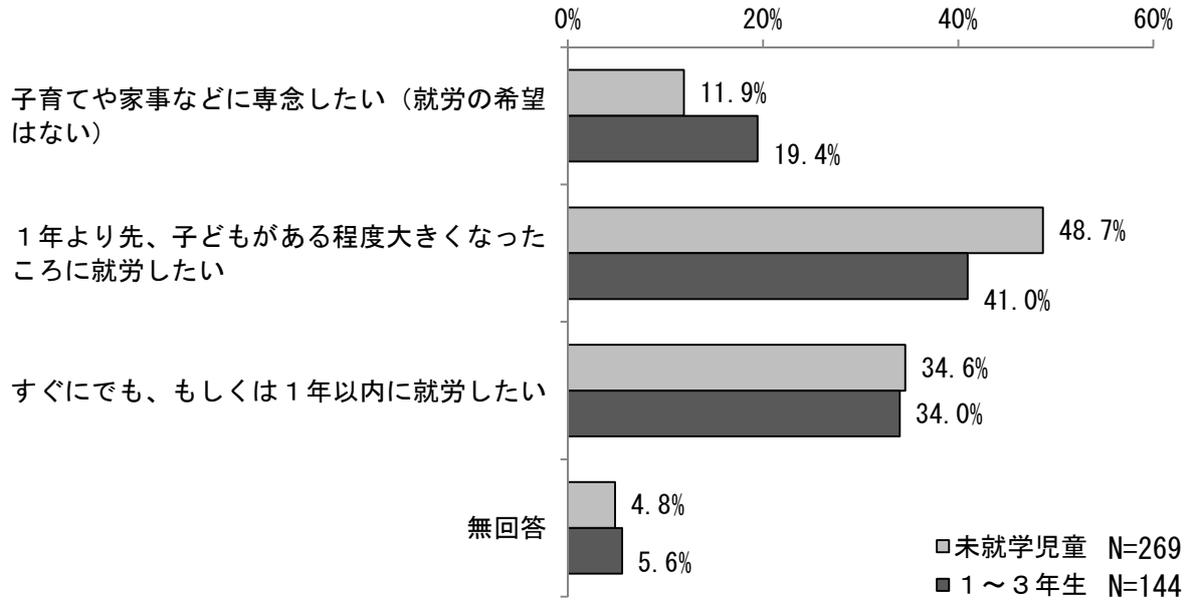


（父親）

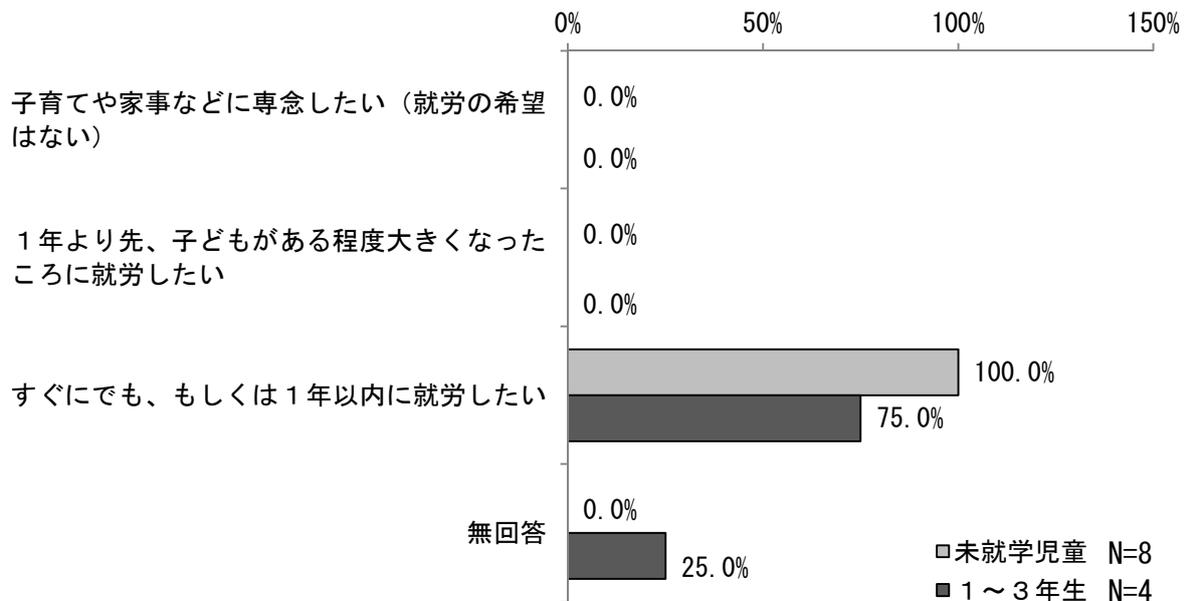


問 11 問 9 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

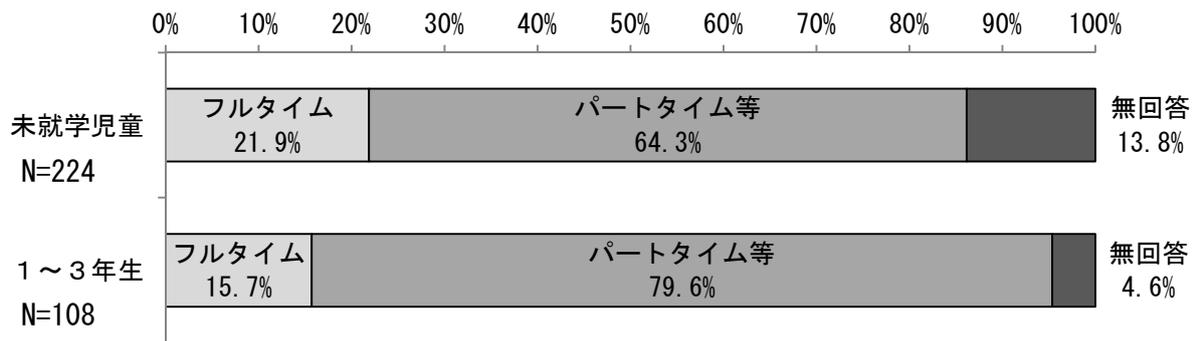
(母親)



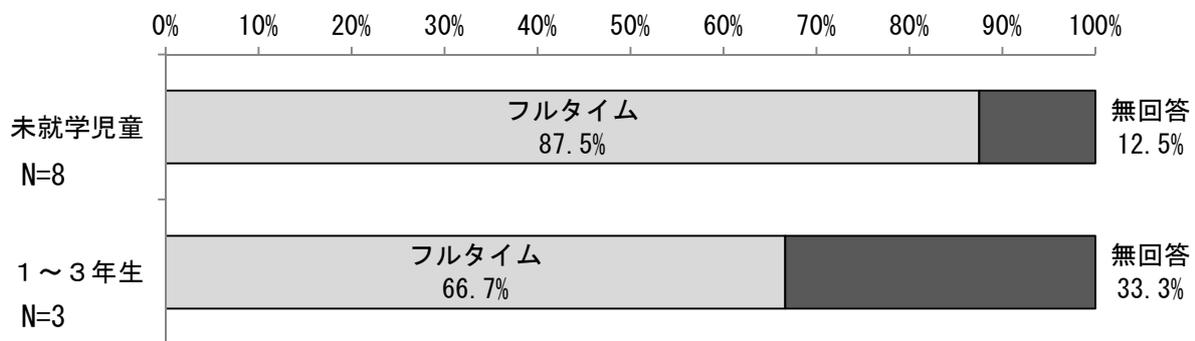
(父親)



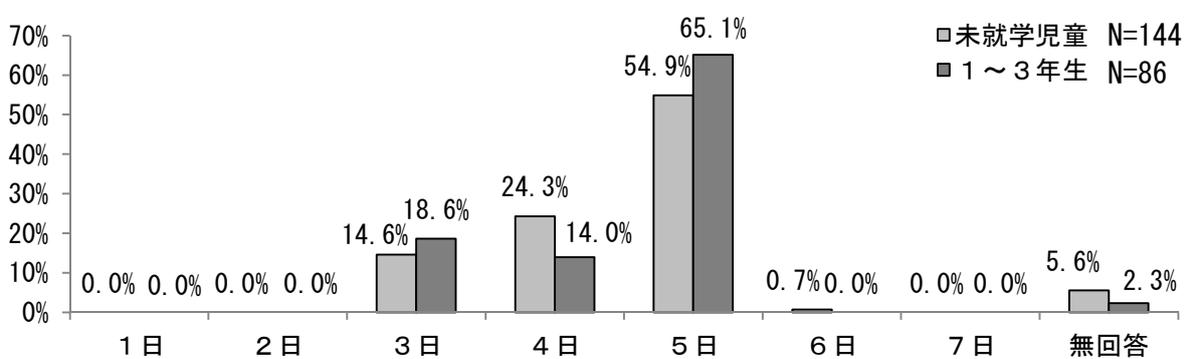
【就労したい場合の希望する就労形態】（母親）



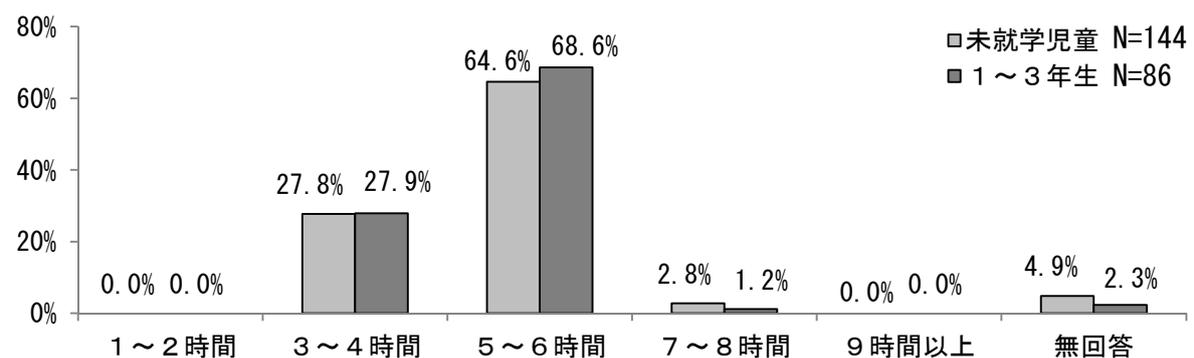
【就労したい場合の希望する就労形態】（父親）



【パートタイム等を希望する場合の1週当たり就労日数】（母親のみ）

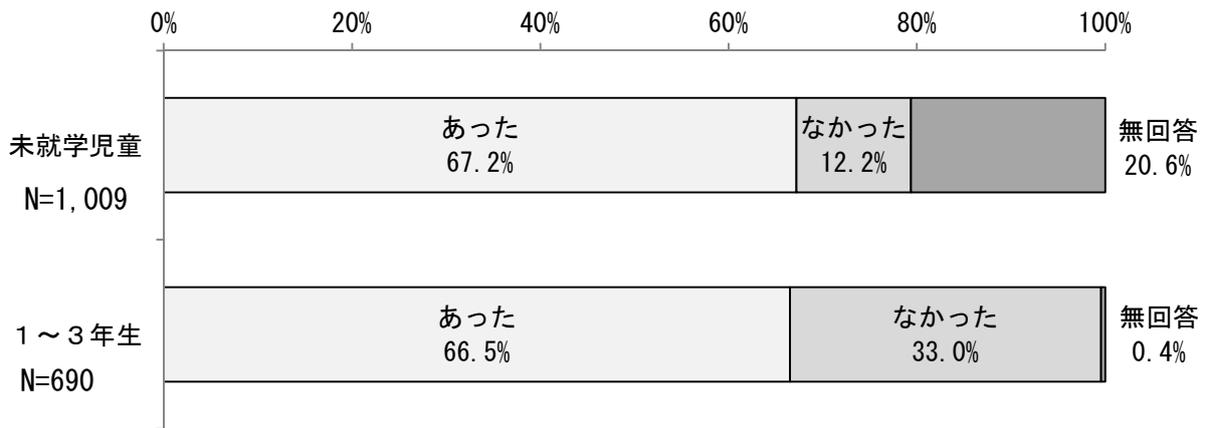


【パートタイム等を希望する場合の1日当たり就労時間】（母親のみ）



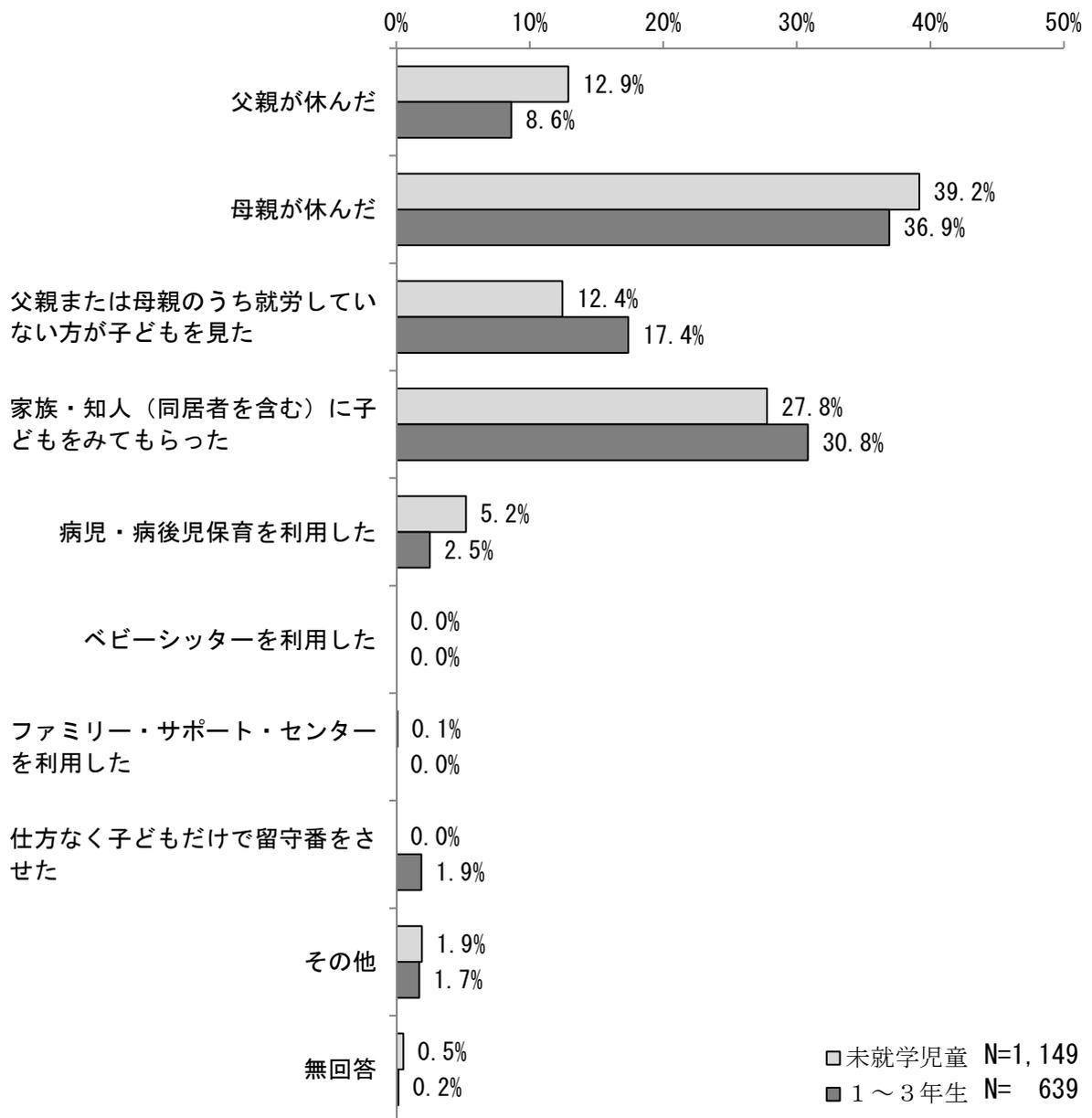
問 19 平日の幼稚園・保育所等を利用していると答えた保護者の方（問 12 で 1 に○をつけた方）にお伺いします。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかったことはありますか。

問 15 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。



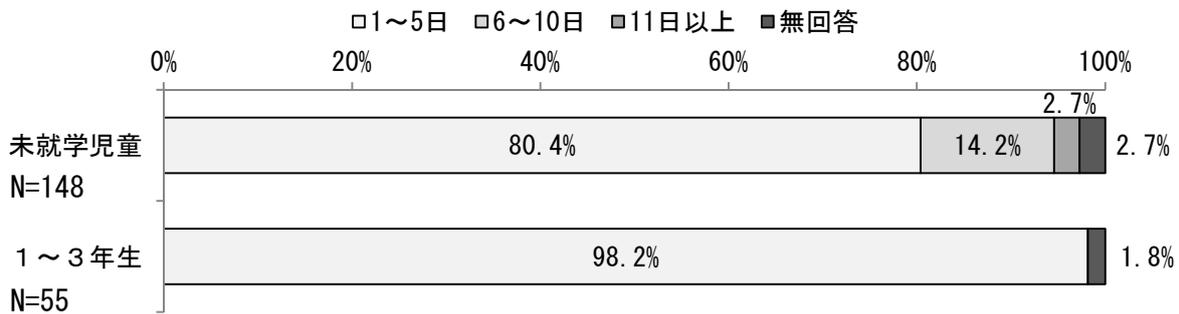
問 19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。
(半日程度の場合も1日としてください。)

問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日としてください。)

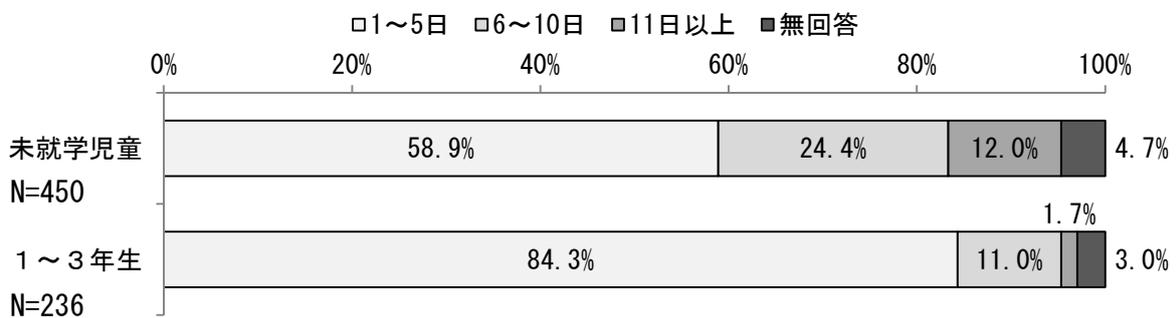


【対処方法の日数】

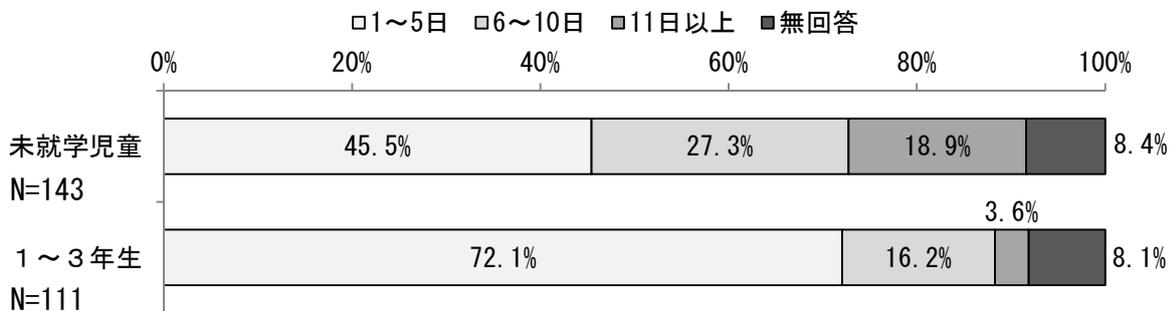
(父親が休んだ)



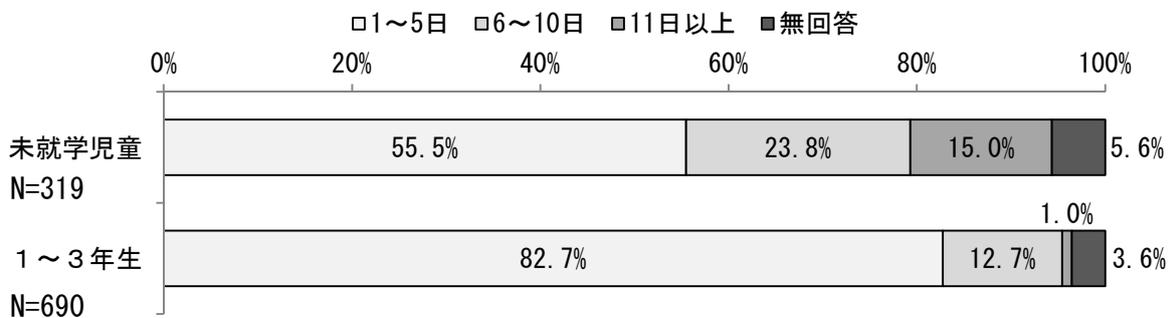
(母親が休んだ)



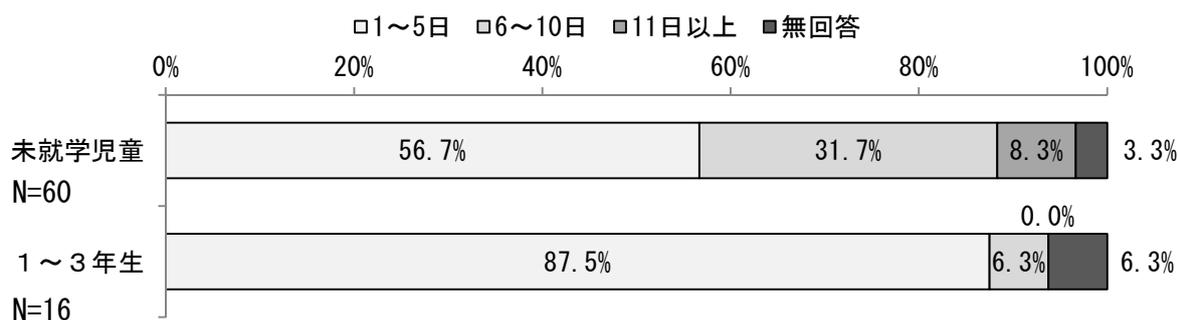
(父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た)



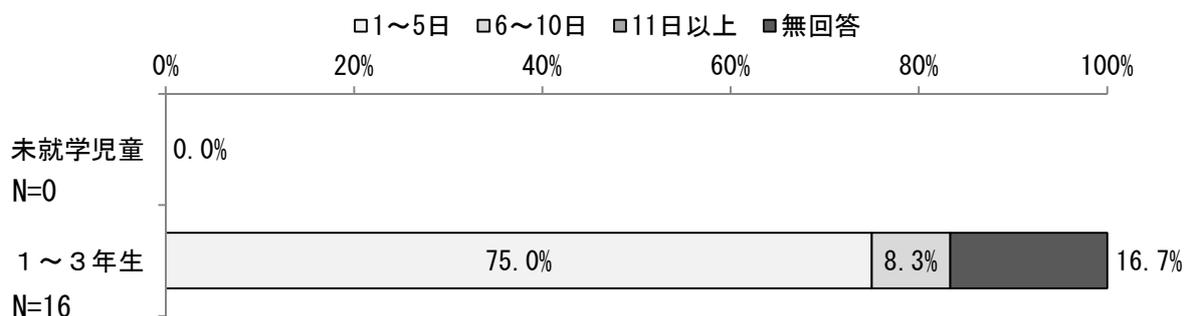
(家族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった)



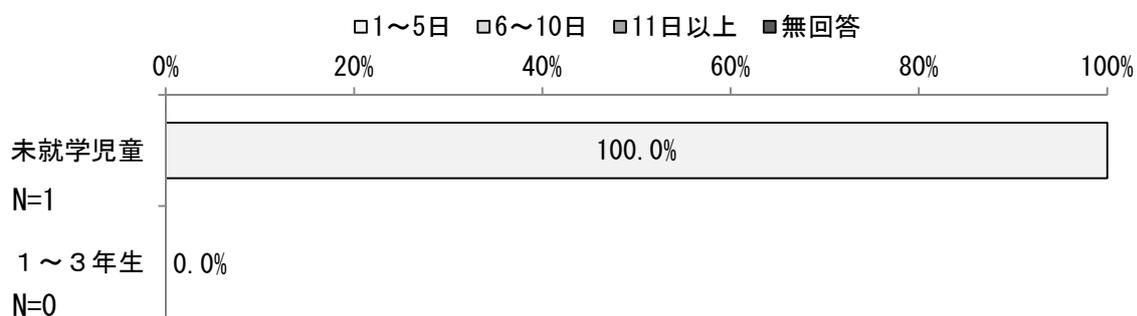
(病児・病後児保育を利用した)



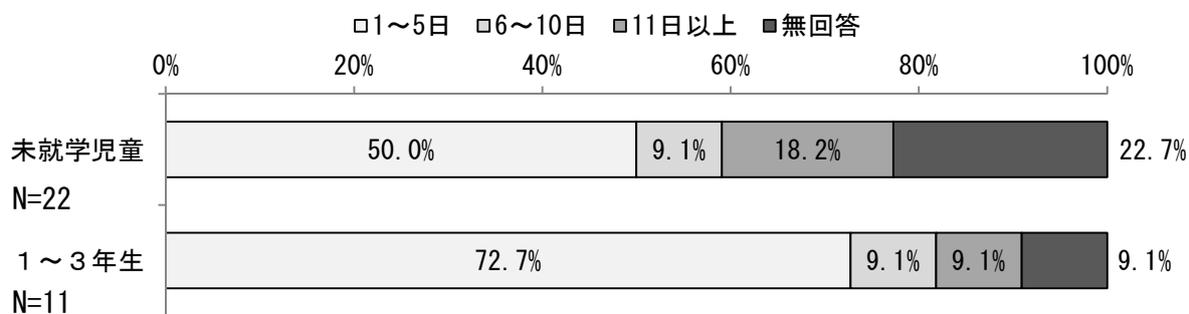
(仕方なく子どもだけで留守番をさせた)



(ファミリー・サポート・センターを利用した)

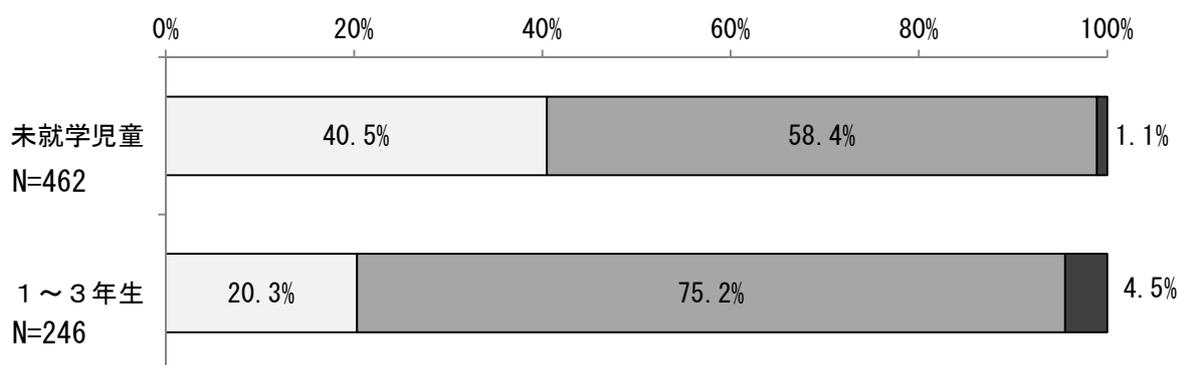


(その他)



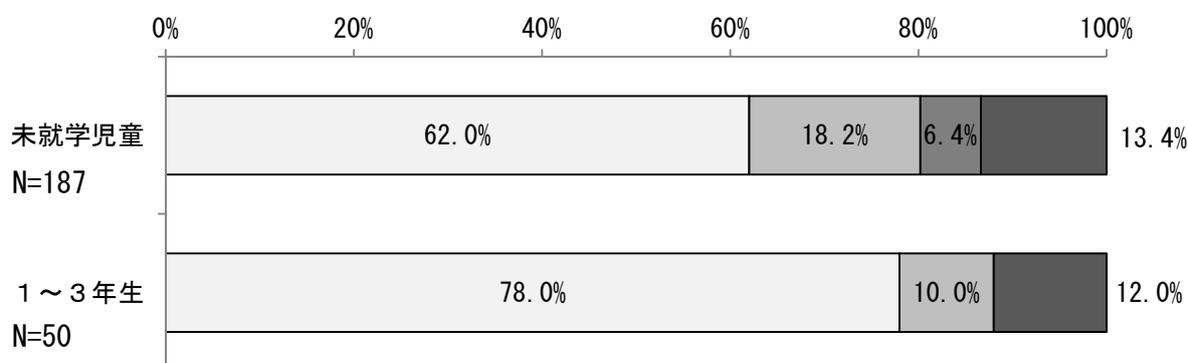
問 19-2 問 19-1 で「ア. 母親が休んだ」「イ. 父親が休んだ」のいずれかに回答
 問 15-2 した方にお伺いします。その際、できれば病児・病後児保育施設等を利用
 したいと思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数につ
 いても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育施設等の
 利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要
 となります。

□できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
 ■利用したいとは思わない

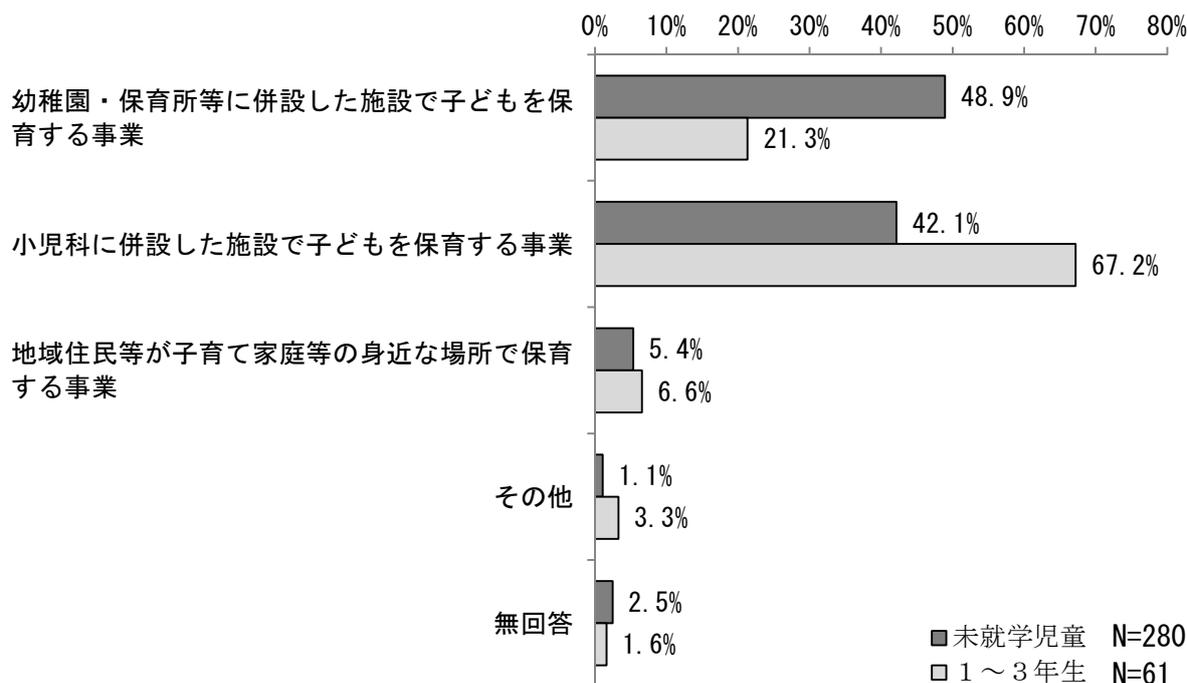


【利用したい場合の利用日数】

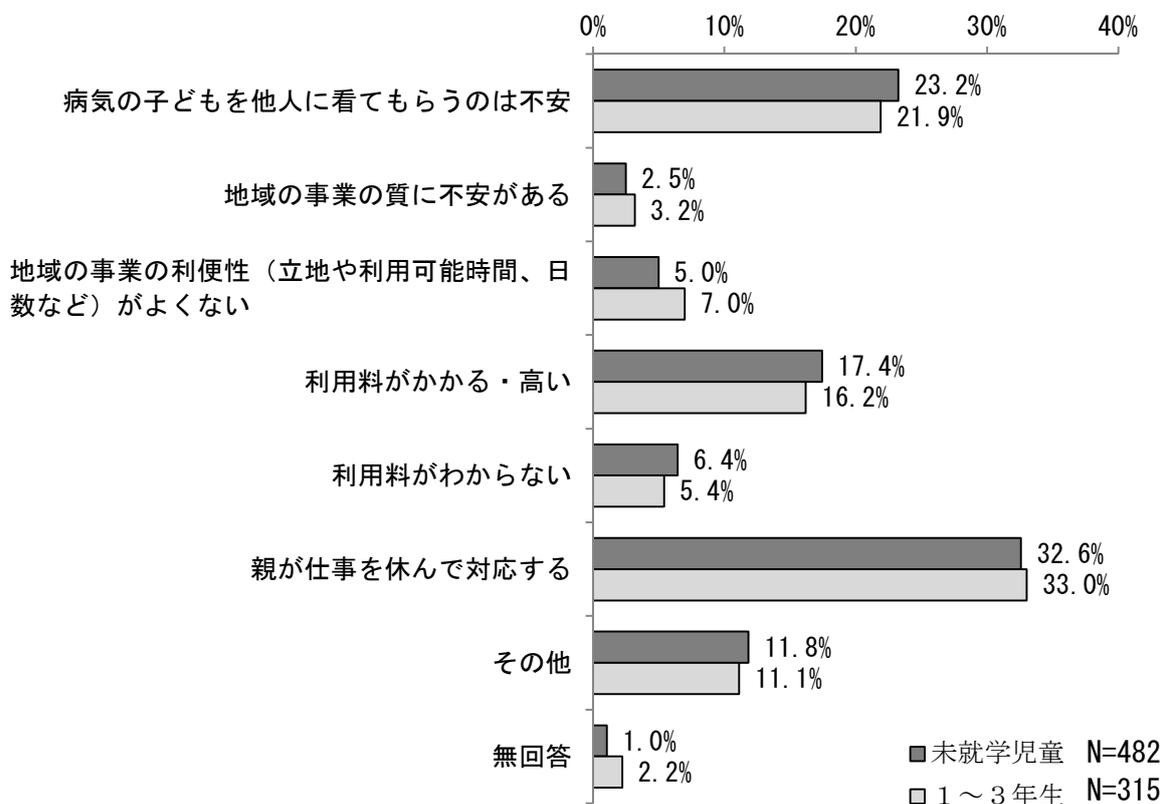
□1～5日 □6～10日 ■11日以上 ■無回答



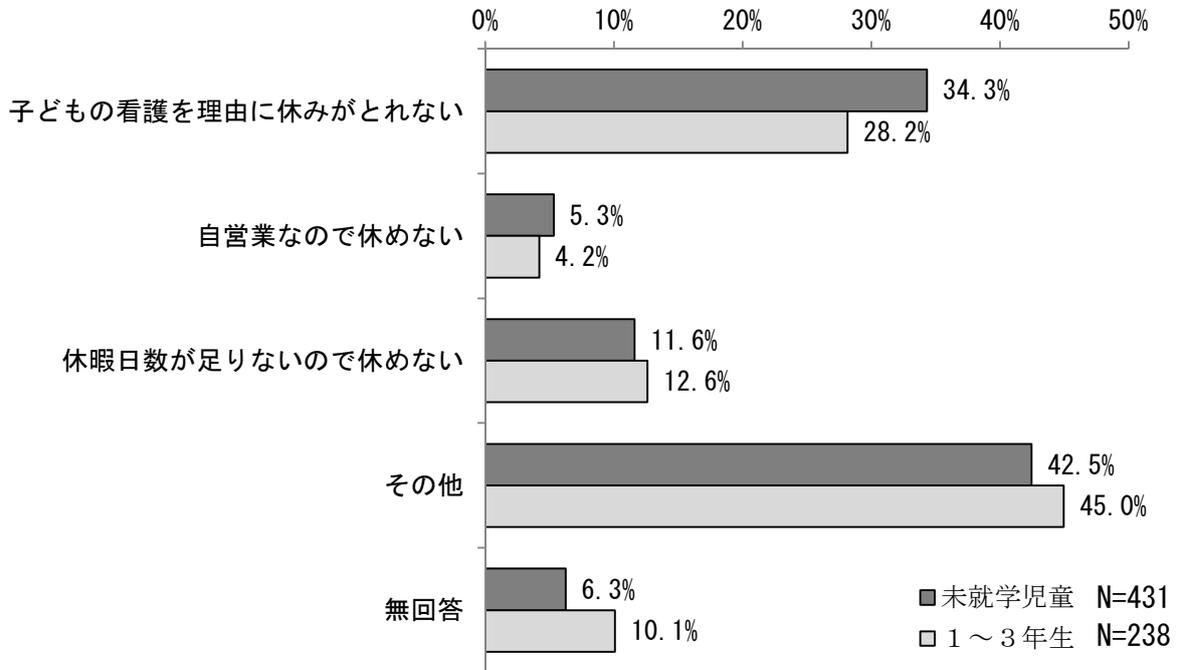
問 19-3 問 19-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○を
 問 15-3 つけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のい
 ずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○
 をつけてください。



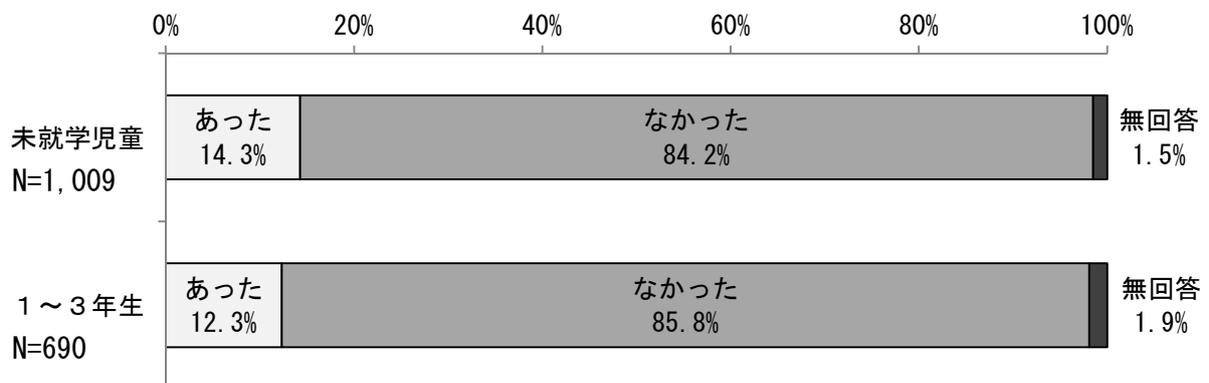
問 19-4 問 19-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。
 問 15-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



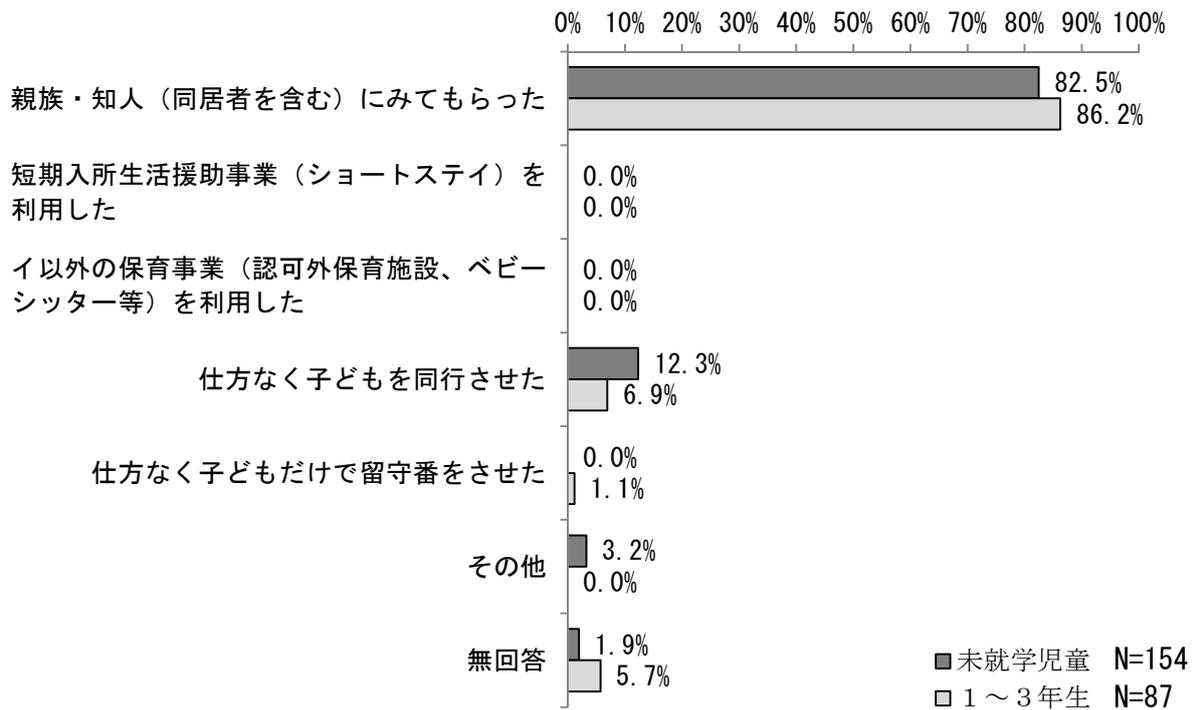
問 19-5 問 19-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに回答した方にお伺いします。父親
 問 15-5 または母親がお子さんを看ることができなかった理由について、当ては
 まる番号すべてに○をつけてください。



問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）に
 問 18 より、宛名のお子さんを迫りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。
 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

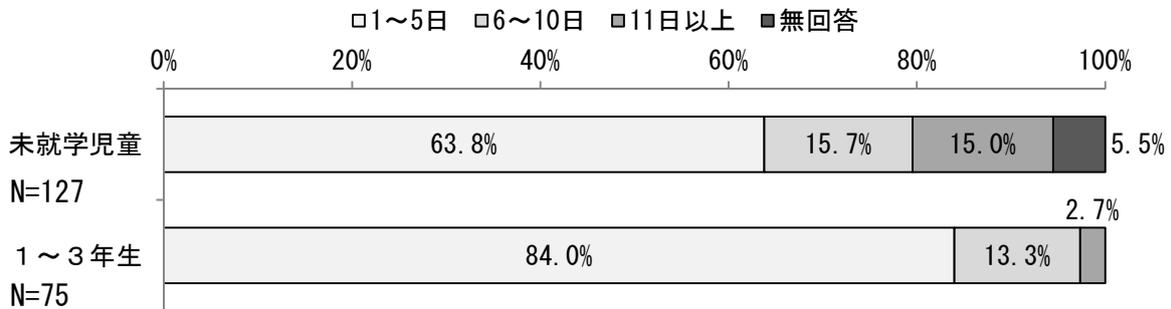


【預けなければならなかった場合の対処方法】

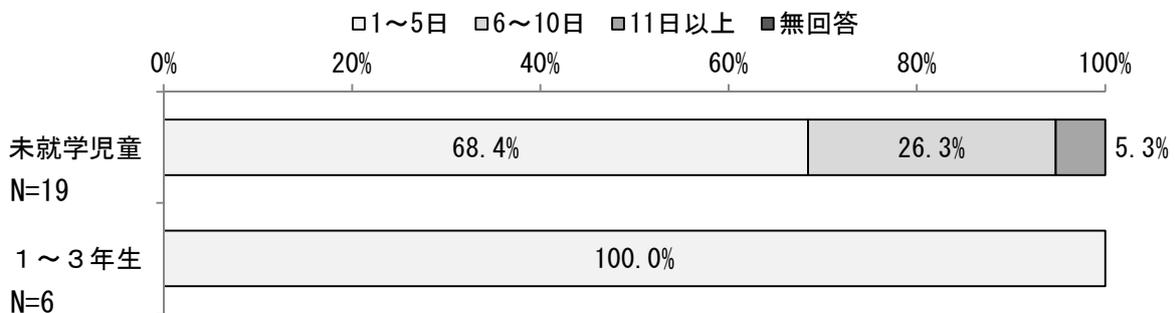


【対処方法と日数】

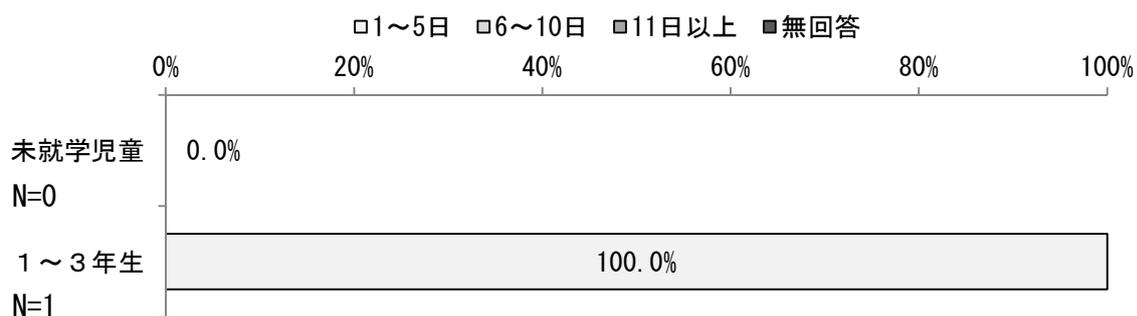
（親族・知人（同居者を含む）にみてもらった）



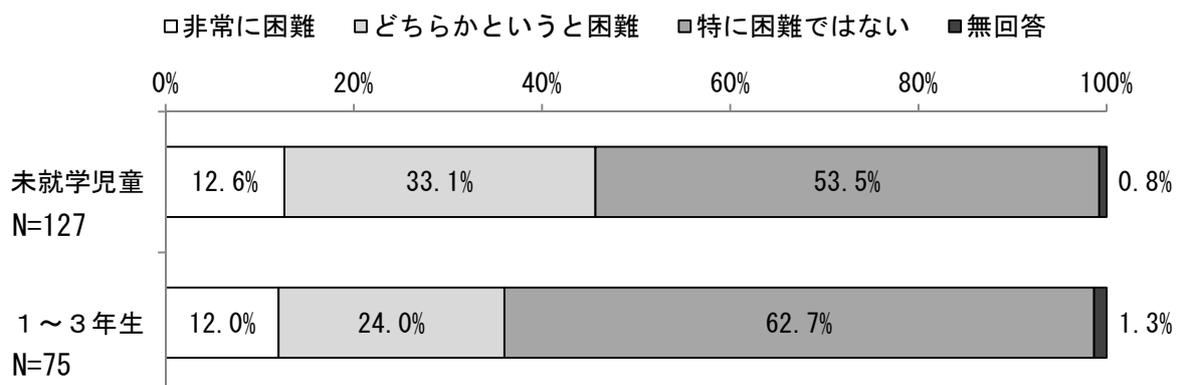
（仕方なく子どもを同行させた）



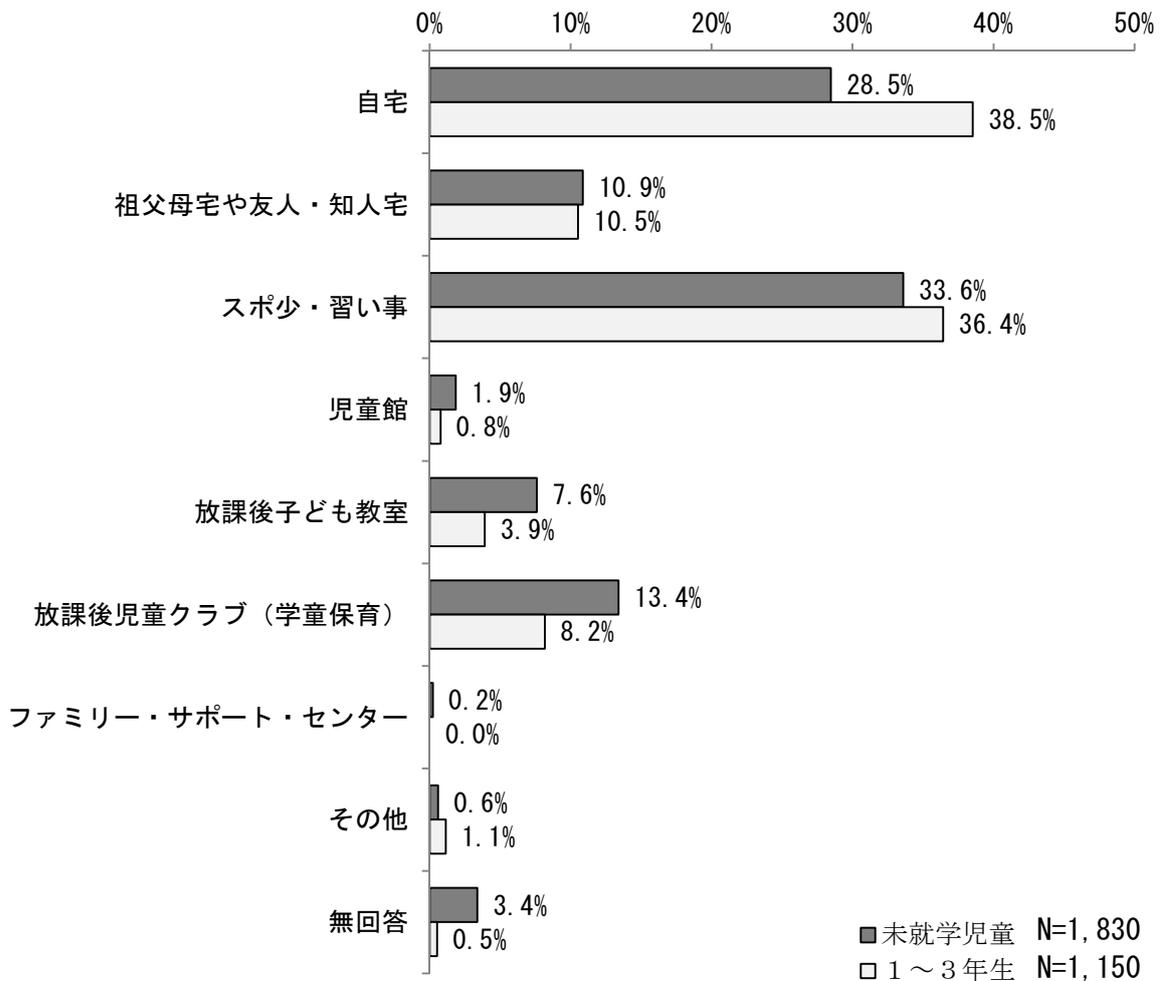
(仕方なく子どもだけで留守番をさせた)



問 22-1 問 22 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」
 問 18-1 と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。当
 てはまる番号 1 つに○をつけてください。

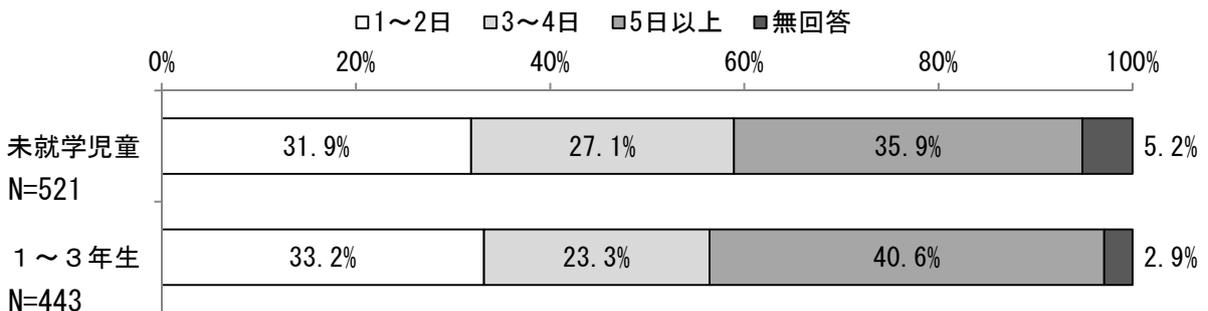


問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になった時、放
 問 13 課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと
 思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日
 数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望
 する時間をご記入ください。

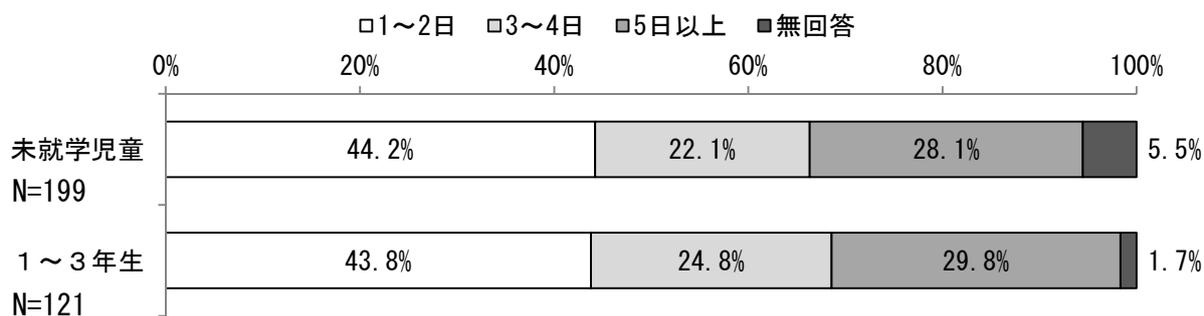


【放課後の過ごし方の希望日数】

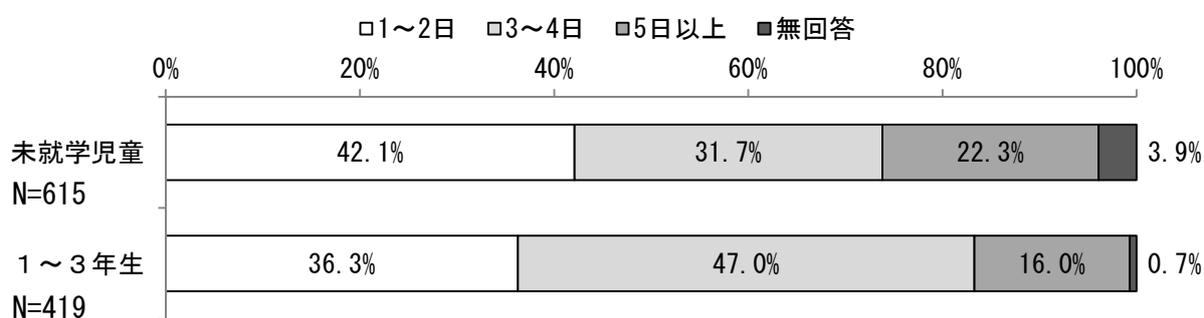
（自宅）



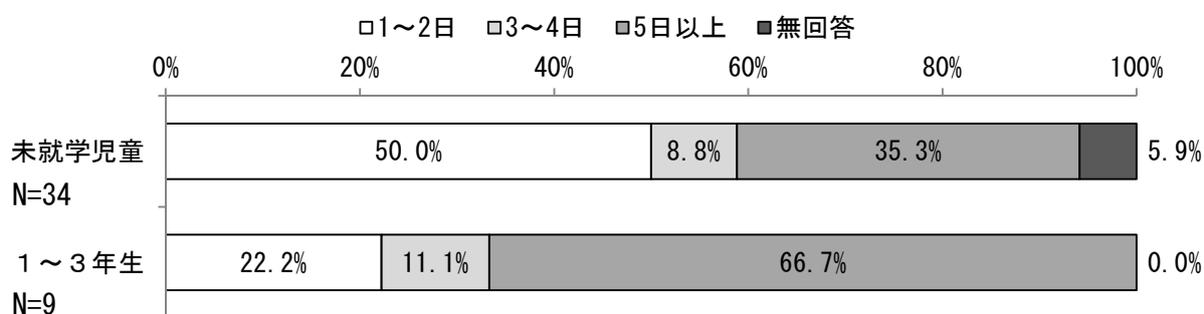
(祖父母宅や友人・知人宅)



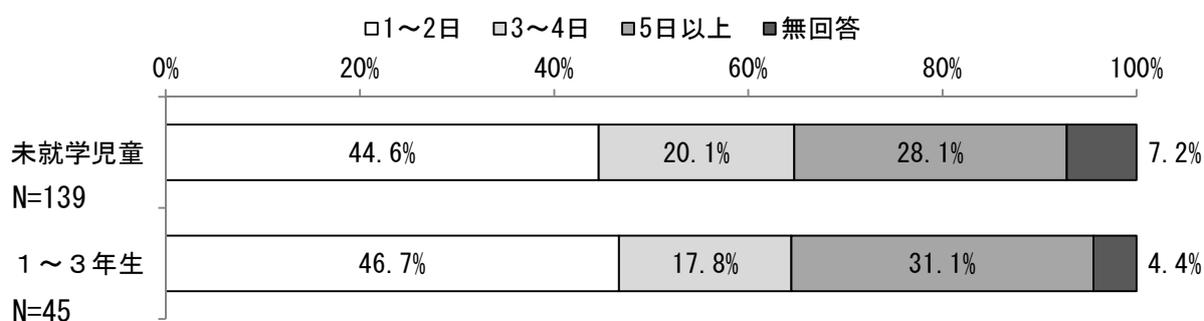
(スポ少・習い事)



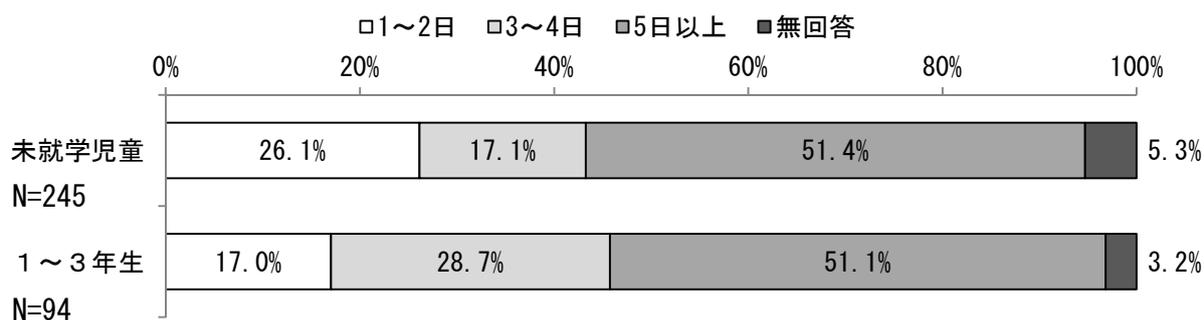
(児童館)



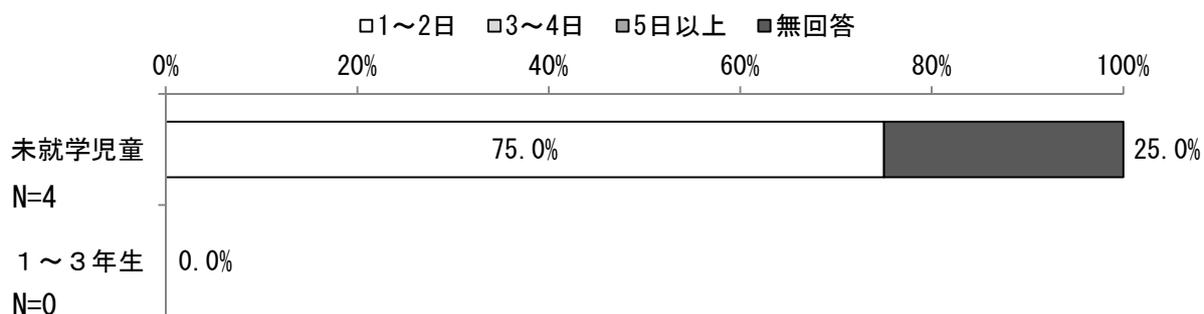
(放課後子ども教室)



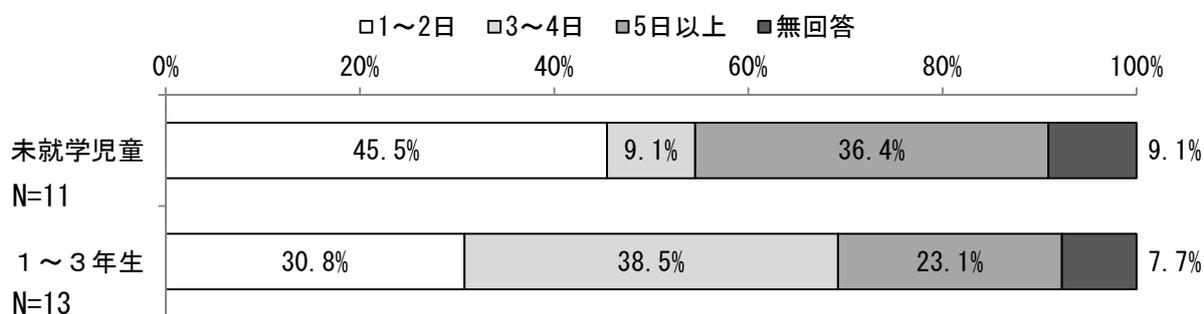
(放課後児童クラブ)



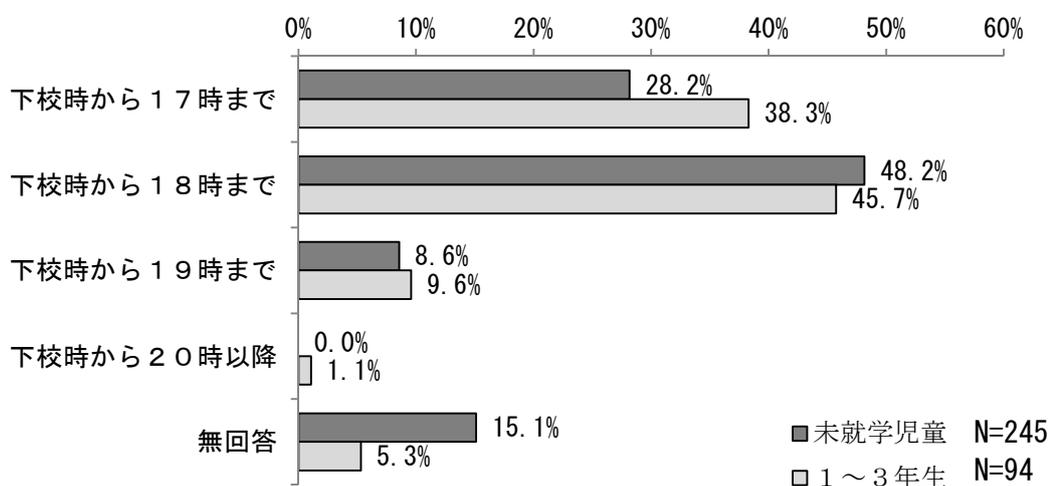
(ファミリー・サポート・センター)



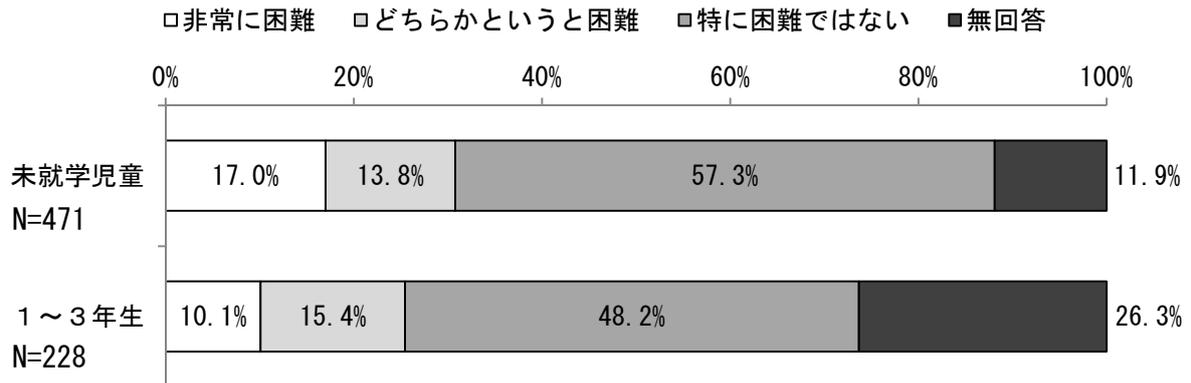
(その他)



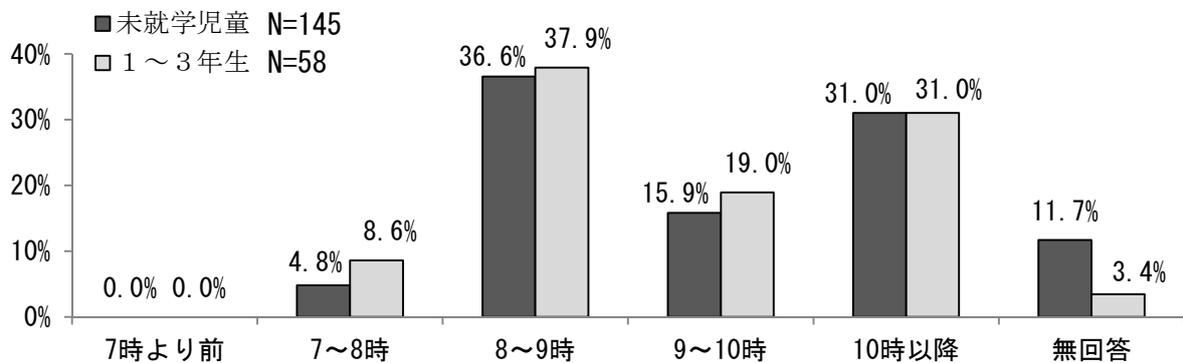
【放課後児童クラブを希望する場合の利用時間】



問 25 問 23 または問 24 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた
 問 14 方にお伺いします。宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、放課後
 児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけて
 ください。また利用したい時間帯をご記入ください。なお、事業の利用
 には、一定の利用料がかかります。



【利用したい時間帯の開始時刻】



【利用したい時間帯の終了時刻】

